

【別冊：事業管理シート】

恵庭市男女共同参画基本計画に基づく

令和4年度

事業実施概要書

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	1

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
	IV 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	I-1 性別による差別やあらゆる暴力の根絶
	IV-1 家庭における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	I-1-① 啓発活動を充実させます
	IV-1-① 従来からの男性重視の家族制度にとらわれない家庭環境の重要性について啓発します

事業名	男女共同参画情報誌の発行
-----	--------------

事業概要	事業目的	男女共同参画の社会実現に向けた啓発
	対象者	市民
	内容	○情報誌「さくらんぼ」の作成
	現状と課題	○情報誌「さくらんぼ」を庁内及び各会館・郵便局等に設置し周知している。 多くの市民に周知するため、設置場所の拡大が必要と考える。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民への男女共同参画社会への理解と普及啓発を図るため、情報誌を作成するとともに配布先をH28年度の43か所から157か所へ拡大し、多くの市民や企業に周知することができた。
課題	市民のほか、企業や団体など幅広く周知するため、配布方法などの工夫が必要と考える。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	発行／年2回(12月、3月)/2,000部 設置場所／43か所(本庁・地区会館・郵便局等) 事業費／73,440円
H29	発行／年2回/2,000部 設置場所／43か所(本庁・地区会館・郵便局等) 事業費／76千円
H30	◎事業名:情報紙「さくらんぼ」の発行 作成部数:年1回/1,500部 設置・送付場所:157箇所(本庁・地区会館・郵便局・市内企業等) 決算額:52千円
R1	◎事業名:情報紙「さくらんぼ」の発行 作成部数:年1回/1,500部 設置・送付場所:157箇所(本庁・地区会館・郵便局・市内企業等) 決算額:42千円
R2	◎事業名:情報紙「さくらんぼ」の発行 作成部数:年1回/500部 設置・送付場所:68箇所(本庁・市民会館・図書館・市内企業等) 決算額:28千円
R3	◎事業名:情報紙「さくらんぼ」の発行 作成部数:年1回/500部 設置・送付場所:68箇所(本庁・市民会館・図書館・市内企業等) 決算額:30千円
R4	◎事業名:情報紙「さくらんぼ」の発行 作成部数:年1回/500部 設置・送付場所:68箇所(本庁・市民会館・図書館・市内企業等) 決算額:30千円
R5 (実績・予定)	◎事業名:情報紙「さくらんぼ」の発行(R6.3発行予定) 作成部数:年1回/500部 設置・送付場所:68箇所(本庁・市民会館・図書館・市内企業等) 事業費(予算):30千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	2

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
	IV 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	I-1 性別による差別やあらゆる暴力の根絶
	IV-1 家庭における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	I-1-① 啓発活動を充実させます
	IV-1-① 従来からの男性重視の家族制度にとらわれない家庭環境の重要性について啓発します

事業名	facebookによる情報発信
-----	-----------------

事業概要	事業目的	男女共同参画の社会実現に向けた啓発
	対象者	市民
	内容	第2次恵庭市男女共同参画基本計画に定める基本目標をテーマに、フェイスブックを活用した周知活動を実施しています。
	現状と課題	難しい内容をいかにわかりやすく、簡潔に記事にしていかがが課題となっています。

重点課題に対する成果と課題

成果	SNSのツールを活用することで、市内外問わず多くの方に男女共同参画に関する情報発信を行うことが出来た。
課題	男女共同参画について、様々な情報をわかりやすく簡潔に情報発信するための工夫が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	掲載回数／月2回 計12回
H29	掲載回数／月1回 計12回
H30	掲載回数／10回
R1	掲載回数／8回
R2	掲載回数／7回
R3	掲載回数／7回
R4	掲載回数／7回
R5 (実績・予定)	掲載回数／8回

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	生活環境課
事業番号	3

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I -1性別による差別やあらゆる暴力の根絶
取り組み	I -1-②相談体制を充実させます

事業名	無料法律相談
-----	--------

事業概要	事業目的	法律全般に係る困りごとの解決
	対象者	市民
	内容	相続、遺言、金銭など、法律全般に関する弁護士による無料法律相談
	現状と課題	広報に掲載し周知しており、各回の稼働率が非常に高い。開催枠と開催時間の関係から、利用いただけない市民がいる。

重点課題に対する成果と課題

成果	離婚や家族関係などの法的支援が必要な方を対象に、専門的な助言をすることができた。
課題	相談者が利用しやすいように、さらなる相談窓口の周知と様々な情報を提供するとともに、庁内外の関係機関との連携を強化し、相談者が安心して相談できるような支援体制の整備が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人30分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,431千円	相談内容内訳：相続45名、不動産17名、家族関係52名、金銭46名、その他51名 （年間211名）
H29	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人30分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,441千円	相談内容内訳：相続40名、不動産23名、家族関係32名、金銭24名、その他62名 （年間205名）
H30	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人30分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,443千円	相談内容内訳：相続45名、不動産17名、家族関係60名、金銭28名、その他55名 （年間205名）
R1	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人30分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,448千円	相談内容内訳：相続48名、不動産23名、家族関係65名、金銭32名、その他37名 （年間205名）
R2	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人25分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,219千円	相談内容内訳：相続53名、不動産16名、家族関係53名、金銭27名、その他29名 （年間178名）
R3	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人25分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,215千円	相談内容内訳：相続54名、不動産26名、家族関係53名、金銭14名、その他42名 （年間189名）
R4	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人25分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,215千円	相談内容内訳：相続58名、不動産20名、家族関係31名、金銭22名、その他63名 （年間194名）
R5 （実績・予定）	◎事業名：無料法律相談 回数：36回（1人25分×6人/日×3回/月×12月） 事業費：1,215千円	

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	生活環境課
事業番号	4

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I -1性別による差別やあらゆる暴力の根絶
取り組み	I -1-②相談体制を充実させます

事業名	司法書士相談
-----	--------

事業概要	事業目的	民事トラブルの解決
	対象者	市民
	内容	相続、遺言、債務整理、悪徳商法、貸料・借家トラブル、成年後見人ほか、民事一般に関する司法書士による無料法律相談
	現状と課題	広報に掲載し周知しており、各回の稼働率が非常に高い。開催枠と開催時間の関係から、利用いただけない市民がいる。

重点課題に対する成果と課題

成果	調停などの法的支援が必要な方を対象に、助言をすることができた。
課題	相談者が利用しやすいように、さらなる相談窓口の周知と様々な情報を提供するとともに、庁内外の関係機関との連携を強化し、相談者が安心して相談できるような支援体制の整備が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	◎事業名：司法書士相談 回数：1人40分×4人/日×3回/年 相談人数：12名（相続2名、不動産3名、家族関係4名、金銭2名、その他1名） 事業費：3千円	
H29	◎事業名：司法書士相談 回数：1人40分×4人/日×3回/年 相談人数：10名（相続7名、不動産2名、その他1名） 事業費：3千円	
H30	◎事業名：司法書士相談 回数：1人40分×4人/日×4回/年 相談人数：16名（相続11名、不動産3名、金銭2名、その他2名） 事業費：4千円	
R1	◎事業名：司法書士相談 回数：4回※1人40分×4人/日×4回/年 相談人数：14名（相続12名、不動産2名） 事業費：4千円	
R2	◎事業名：司法書士相談 回数：3回※1人40分×4人/日×3回/年 相談人数：10名（相続4名、不動産4名、その他2名） 事業費：1千円	
R3	◎事業名：司法書士相談 回数：4回※1人40分×4人/日×4回/年 相談人数：14名（相続6名、不動産5名、金銭2名、その他1名） 事業費：2千円	
R4	◎事業名：司法書士相談 回数：4回※1人40分×4人/日×4回/年 相談人数：12名（相続8名、不動産3名、金銭1名） 事業費：2千円	
R5 （実績・予定）	開催回数：1回/4半期（定員4名/回、年間16名） ※開催月 4月、7月、11月、2月 事業費：3千円	

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	5

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I-1性別による差別やあらゆる暴力の根絶
取り組み	I-1-②相談体制を充実させます

事業名	配偶者等からの暴力に関する相談・情報提供
-----	----------------------

事業概要	事業目的	配偶者等からの暴力に関する相談に応じ、不安の解消及び情報提供を行う
	対象者	市民
	内容	北海道配偶者暴力相談支援センター(北海道立女性相談援助センター内)と連携し相談対応を行う
	現状と課題	相談内容の多様化・複雑化、法律に関する相談の増加

重点課題に対する成果と課題

成果	配偶者等からの暴力に関する相談・情報提供を行うことで、潜在化しやすいDV問題を早期に発見し、適切な措置を講ずることで被害の拡大を防止している。
課題	相談内容は年々、多様化・複雑化しているため、関係機関との連携がより一層必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:12件
H29	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:19件
H30	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:5件
R1	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:19件
R2	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:13件
R3	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:12件
R4	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:12件
R5 (実績・予定)	◎配偶者等からの暴力に関する相談件数 相談件数:15件

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	6

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I-2男女共同参画の視点に基づいた意識づくり
取り組み	I-2-①男女共同参画の視点に基づいた広報活動を進めます

事業名	男女共同参画啓発ポケットティッシュ配布
-----	---------------------

事業概要	事業目的	男女共同参画社会の実現に向けた広報活動
	対象者	市民
	内容	各種事業において随時配布して啓発を行っている。
	現状と課題	他の部署での実施事業への協力を検討したい。

重点課題に対する成果と課題

成果	イベント実施時等に配布することにより、普段男女共同参画に意識を向けていない市民への啓発に繋がった。
課題	より多くの市民への意識付けにつながるよう、配布方法などを検討していきたい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	●男女共同参画週間パネル展での配布 期間／平成28年6月14日～6月23日 場所／図書館ギャラリー ●女性に対する暴力をなくす運動パネル展での配布 期間／平成28年11月22日～11月30日 場所／総合体育館ロビー
H29	男女共同参画に係るイベント開催時に配布
H30	男女共同参画に係るイベント開催時に配布
R1	—
R2	—
R3	—
R4	総合案内・総務課窓口にて配布
R5 (実績・予定)	男女共同参画に係るイベント開催時に配布 (男女共同参画推進協議会フォーラム等を予定)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	7

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I-2男女共同参画の視点に基づいた意識づくり
取り組み	I-2-①男女共同参画の視点に基づいた広報活動を進めます

事業名	男女共同参画週間パネル展
-----	--------------

事業概要	事業目的	男女共同参画社会の実現に向けた広報活動
	対象者	市民
	内容	内閣府は、男女共同参画社会基本法の施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの一週間を、男女共同参画週間と位置づけています。 男性と女性が、職場や学校、地域、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、国や自治体だけでなく、一人ひとりの取り組みが必要です。その意識啓発のため男女共同参画週間に合わせパネル展を実施しています。
	現状と課題	多くの市民に周知するため、設置場所の検討が必要です。

重点課題に対する成果と課題

成果	平成30年度から恵庭駅西口の空中歩廊にて実施したことにより、通学・通勤時に多くの方に見ていただき、啓発に繋がった。
課題	パネルの掲載内容などについて更新をしていくなど検討が必要である

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	期間／平成28年6月14日～6月23日 実施場所／図書館ギャラリー パネル数／7枚	●恵庭市民憲章推進協議会主催事業でのパネル掲示 (実施日／平成28年10月10日 パネル数／3枚) ●男女共同参画フォーラムでのパネル掲示 (実施日／平成28年8月26日 パネル数／3枚)
H29	期間／平成29年6月23日～6月29日 実施場所／図書館ギャラリー パネル数／7枚	●男女共同参画フォーラムでのパネル掲示 (実施日／平成29年6月10日 パネル数／7枚) ●恵庭市民憲章推進協議会主催事業でのパネル掲示予定 (実施日／平成29年12月2日)
H30	期間／平成30年6月21日～6月29日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／7枚	●男女共同参画フォーラムでのパネル掲示 (実施日／平成30年6月16日 パネル数／8枚) ●恵庭市民憲章推進協議会主催事業でのパネル掲示 (実施日／平成30年9月1日)
R1	期間／令和元年6月21日～6月29日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／7枚	
R2	期間／令和2年6月22日～6月29日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／7枚	期間／令和3年3月1日～3月12日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚 ※デザインを一新
R3	期間／令和3年6月23日～6月29日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	
R4	期間／令和4年6月23日～6月29日 (男女共同参画週間啓発) 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	
R5 (実績・予定)	期間／令和5年6月23日～6月29日 (男女共同参画週間啓発) 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	8

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I-2男女共同参画の視点に基づいた意識づくり
取り組み	I-2-①男女共同参画の視点に基づいた広報活動を進めます

事業名	女性に対する暴力をなくす運動パネル展
-----	--------------------

事業概要	事業目的	配偶者・パートナー等からの暴力に悩む人への広報活動
	対象者	市民
	内容	暴力は、その対象の性別や、加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者からの暴力や性犯罪、売買春、人身取引、ハラスメント、ストーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。 内閣府では、毎年11月12日～11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」と定めており、これに合わせパネル展を行い広報活動を実施しています。
	現状と課題	多くの市民に周知するため、設置場所の検討が必要です。

重点課題に対する成果と課題

成果	平成30年度から通学・通勤者が多く通る恵庭駅西口の空中歩廊にて実施したことで、より啓発に繋がった。
課題	パネルの掲載内容などについて、更新をしていくなど検討が必要である

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	期間／平成28年11月22日～11月30日 実施場所／総合体育館ロビー パネル数／10枚	
H29	期間／平成29年11月12日～11月25日 実施場所／図書館2Fギャラリー パネル数／10枚	
H30	期間／平成30年11月12日～11月25日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	
R1	期間／令和元年11月12日～11月25日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	
R2	—	
R3	期間／令和3年11月12日～11月25日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	
R4	期間／令和4年11月12日～11月25日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	
R5 (実績・予定)	期間／令和5年11月12日～11月25日 実施場所／恵庭駅空中歩廊 パネル数／10枚	男女共同参画フォーラムでのパネル掲示 (予定日／令和5年11月8日 パネル数／8枚)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	9

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	I 男女の人権の尊重
重点課題	I-2男女共同参画の視点に基づいた意識づくり
取り組み	I-2-①男女共同参画の視点に基づいた広報活動を進めます

事業名	女性のための相談窓口パンフレット配置
-----	--------------------

事業概要	事業目的	配偶者・パートナー等からの暴力に悩む人への広報活動
	対象者	市民
	内容	各施設及び各事業へのパンフレットの配置しています。 ●困ったときの相談窓口(庁舎女子トイレに設置) ●デートDV(庁舎女子トイレに設置・成人式での配布)
	現状と課題	多くの市民に周知するため、設置場所の検討が必要です。

重点課題に対する成果と課題

成果	若年層への配布やトイレなど市民の手に取りやすいところに配置することで周知に繋がった。
課題	現在設置している箇所以外の設置やパンフレットの掲載内容の更新について検討が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	市役所・市民会館女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布
H29	市役所・市民会館女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布
H30	市役所・市民会館女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布
R1	<決算>39千円 市役所・市民会館女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布 市内高校の人権啓発に際し、DVパンフレットを送付
R2	市役所・市民会館女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布予定だったが、コロナの影響により延期 市内高校の人権啓発に際し、DVパンフレットを送付 ※R2においてはR1時に印刷したものを使用
R3	○デートDV啓発パンフレットを改訂 <決算>88千円 市役所・市民会館男子・女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人及び昨年延期していた新成人へ配布 市内高校・専門学校・大学の人権啓発に際し、DVパンフレットを送付
R4	市役所・市民会館男子・女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布 市内高校・専門学校・大学等の人権啓発に際し、DVパンフレットを送付
R5 (実績・予定)	市役所・市民会館男子・女子トイレ内に配置 成人式の配布物として新成人へ配布 市内高校・専門学校・大学等の人権啓発に際し、DVパンフレットを送付

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	10

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	II 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	II-1政策・方針決定過程等への女性の参画拡大
取り組み	II-1-①審議会等の委員へ女性を登用します

事業名	審議会委員等への女性登用の推進
-----	-----------------

事業概要	事業目的	男女共同参画社会の実現に向け、政策や方針等などの意志決定過程へ女性の意見を反映させるために、女性委員の積極的登用を推進します。
	対象者	市民(女性)
	内容	「審議会等委員への女性の登用推進要綱」で定められている女性登用率の目標期限を、第2次恵庭市男女共同参画基本計画の中間見直しとなる平成32年度まで延長し、目標値の40%を維持・継続します。
	現状と課題	対象となる附属機関への女性登用に係る意識向上を推進します。

重点課題に対する成果と課題

成果	審議会等の委員推薦時に積極的な女性委員の登用に係る依頼文を追加してもらうなど、各課における女性委員登用の意識啓発に繋がった。
課題	審議会の委員においては団体の役職で当て職となっていることが多く、女性委員登用に繋がりがづらい状況にある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	平成28年4月1日現在 女性登用率27.48% 附属機関数90機関(うち女性がいる附属機関71機関) ※参考 平成27年4月1日現在の女性登用率28.41%
H29	平成29年4月1日現在 女性登用率26.65% 附属機関数92機関(うち女性がいる附属機関71機関)
H30	平成30年4月1日現在 女性登用率27.42% 附属機関数91機関(うち女性がいる附属機関71機関)
R1	平成31年4月1日現在 女性登用率27.52% 附属機関数92機関(うち女性がいる附属機関75機関)
R2	令和2年4月1日現在 女性登用率25.63% 附属機関数97機関(うち女性がいる附属機関78機関)
R3	令和3年4月1日現在 女性登用率26.79% 附属機関数105機関(うち女性がいる附属機関89機関)
R4	令和4年4月1日現在 女性登用率28.32% 附属機関数97機関(うち女性がいる附属機関79機関)
R5 (実績・予定)	令和5年4月1日現在 女性登用率30.83% 附属機関数102機関(うち女性がいる附属機関86機関)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	職員課
事業番号	11

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-1政策・方針決定過程等への女性の参画拡大
	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-1-②女性職員を登用します
	Ⅱ-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	特定事業主行動計画の推進
-----	--------------

事業概要	事業目的	特定事業主行動計画の推進
	対象者	市職員
	内容	ワークライフバランスを実現する働きやすい職場環境づくり
	現状と課題	子育てや介護に関する制度は整備されていることから、誰もが仕事と家庭を両立できるよう、制度を利用しやすい職場風土を作りだすことが課題。

重点課題に対する成果と課題

成果	様々な制度の認知度や利用率、理解は上昇している(R2アンケート調査より)
課題	制度を活用しやすい風土づくりや、休んでいる間のフォロー体制の整備

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	特定事業主行動計画の策定・実施 取組み1:子育てや介護に関する休暇・休業制度などの利用促進 取組み2:妊娠中及び出産後における職場環境への配慮 取組み3:子どもの出生時における積極的な子育てを支援 取組み4:女性職員の活躍推進 取組み5:子育てや介護がしやすい職場環境づくり
H29	特定事業主行動計画策定・推進委員会の実施(年2回)・各取組みの実施。
H30	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○決算額 0円 ○実績 2回開催(H30.7 H31.2)
R1	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○決算額 0円 ○実績 2回開催(R1.7 R2.2)
R2	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年4回) ○決算額 0円 ○実績 4回開催(R2.7 R2.10 R3.1 R3.2)
R3	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○決算額 0円 ○実績 2回開催(R3.7 R4.2)
R4	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○決算額 0円 ○実績 2回開催(R4.7 R5.2)
R5 (実績・予定)	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	職員課
事業番号	12

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-①雇用の場における男女均等な機会と待遇の確保を進めます

事業名	男性の育児休業取得促進
-----	-------------

事業概要	事業目的	男性の育児参加
	対象者	男性職員
	内容	育児休業の取得
	現状と課題	男性の育児休業の取得者は2割後半以上を維持している。取得率3割達成(特定事業主行動計画数値目標)に向けて、更なる周知促進が課題となる。

重点課題に対する成果と課題

成果	男性の育児休業の取得者は2～3割を維持しており、直近の厚生労働省の調査(R2)での男性の育児休業取得割合12.65%を上回っている。
課題	さらに取得しやすい環境づくりの推進や、一人当たりの取得日数の増加

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	育児休業取得者3名(対象者14名 取得率21.4%)
H29	育児休業取得者6名(対象者17名 取得率35.3%)
H30	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○実績 男性職員の育児休業取得率 H30 25.0%
R1	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○実績 男性職員の育児休業取得率 R1 26.7%
R2	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年4回) ○実績 男性職員の育児休業取得率 R2 25.0%
R3	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○実績 男性職員の育児休業取得率 R3 24.0%
R4	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回) ○実績 男性職員の育児休業取得率 R4 34.8%
R5 (実績・予定)	○事業名 特定事業主行動計画推進委員会の開催(年2回)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども政策課
事業番号	13

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
	Ⅶ 女性の職業生活における活躍の推進
重点課題	Ⅱ-2 就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
	Ⅶ-1 雇用に関する女性登用の推進
取り組み	Ⅱ-2-② 男女が働きやすい就労環境づくりを進めます
	Ⅶ-1-② 就労環境づくりを進めます

事業名	学童クラブの充実
-----	----------

事業概要	事業目的	就労等により放課後、保護者が家庭にいない児童に対し、放課後や長期休暇中、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。
	対象者	本市の小学校に就学している児童
	内容	学校内や公共施設で、平日は放課後から18:30まで、土曜日・長期休暇は8:00～18:30まで、児童(小学校1～6年生)を保育士等の資格者の指導のもと安全・安心に預かる事業。利用者負担金:月4,500円 土曜日380円/回
	現状と課題	利用者のニーズが多様化していることもあり、質の向上が課題となっている。 平成29年度から試行として1箇所(島松学童クラブ)、平成30年度にはさらに2箇所(柏学童クラブ・柏第2学童クラブ)、令和元年度にはさらに3箇所(恵庭学童クラブ・恵庭第2学童クラブ・恵庭第3学童クラブ)を民間に運営委託し、試行3年間の検証を踏まえ、課題を整理した上で、令和2年度には2箇所(和光第2学童クラブ、松恵学童クラブ)を除く、全学童クラブの民間委託を実施した。令和4年度には、黄金ふれあいセンターの指定管理者管理の開始に伴い、1箇所(和光第2学童クラブ)が委託開始となったほか、民設民営学童クラブ1箇所も運営開始となり、市民の選択肢が増え、多様なニーズに対応できる足がかりとなった。残る松恵学童クラブも委託へ向けて協議・調整をすすめていくとともに、民設民営学童クラブへの運営支援も継続していく。

重点課題に対する成果と課題

成果	保護者が仕事などで日中家庭にいない児童を対象に、遊び及び生活の場を提供することで、保護者の就労機会を増進させ、男女共同参画を促進するための環境づくりに寄与している。
課題	例年、待機児童が出ている学童クラブがあり、入会を希望する児童をすべて受け入れるにはいっていない。そのため、保護者にとっては就労機会を制限されるということも懸念される。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	○開設箇所数 16箇所 ○入会児童数 564名(平成28年4月末) ○事業費 141,271千円(H28年度決算)
H29	○開設箇所数 16箇所 ○入会児童数 598名(平成29年4月末) ○事業費 141,881千円(H29年度決算)
H30	○開設箇所数 16箇所 ○入会児童数 642名(平成30年4月末) ○事業費 143,191千円(H30年度決算)
R1	○開設箇所数 17箇所 ○入会児童数 648名(平成31年4月末) ○事業費 155,871千円(R1年度決算)
R2	○開設箇所数 17箇所 ○入会児童数 644名(令和2年4月末) ○事業費 168,472千円(R2年度決算)
R3	○開設箇所数 19箇所 ○入会児童数 749名(令和3年4月末) ○事業費 193,145千円(R3年度決算)
R4	○開設箇所数 21箇所(民設民営1箇所含む) ○入会児童数(公設民営のみ) 735名(令和4年4月末) ○事業費 226,737千円(R4年度決算)
R5 (実績・予定)	○開設箇所数 21箇所(民設民営1箇所含む) ○入会児童数(公設民営のみ) 771名(令和5年4月末) ○事業費 252,618千円(予算額)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども政策課
事業番号	14

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
	Ⅶ 女性の職業生活における活躍の推進
重点課題	Ⅶ-1 雇用に関する女性登用の推進
	Ⅱ-2 就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-② 男女が働きやすい就労環境づくりを進めます
	Ⅶ-1-② 就労環境づくりを進めます

事業名	子育て応援企業表彰
-----	-----------

事業概要	事業目的	従業員や地域の若者の結婚支援等、子育て支援に積極的に取組んでいる企業を市が表彰することで、当該企業が社会的に評価される仕組みをつくるとともに、その取組みについて広く周知することにより市内の企業の次世代育成支援の推進及び子育てしやすい社会環境づくりのための意識の向上を図る。
	対象者	(事業所の所在地が恵庭市内にある)法人、NPO、団体(商工会議所等) ※市民団体、市民サークル、地方公共団体は対象外
	内容	従業員や地域の若者の結婚支援や仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり等に取り組む企業を「子育て応援企業」として表彰する。 ・表彰式の実施(表彰状授与、記念撮影 等) ・受賞企業について、以下の媒体で周知 (市ホームページ、えにわっこナビ、市facebook、市広報誌、フリーペーパー、新聞等)
	現状と課題	市民への周知・啓発が課題である。

重点課題に対する成果と課題

成果	子育て支援に積極的に取組んでいる企業を市が表彰し、その取組みについて周知することで、市民や他の企業等に対し、就業における男女共同参画を促進するための環境づくりを含め、子育て応援に対する機運を醸成することに繋がっている。
課題	事業自体の認知度が低いことから、周知を図っているもののそれほど市民・企業等に認知されていない。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	3団体を表彰 事業費:12,960円
H29	2団体を表彰 事業費:23,998円
H30	・日時:平成31年3月11日 ・表彰企業:株式会社 玉川組 ・事業費:15,300円
R1	・日時:令和元年10月10日(えにわ子育て応援隊講演会に併せて実施) ・表彰企業:街道建設株式会社、株式会社スバル建設、NPO法人まちづくりスボット恵み野 決算:24,120円
R2	・日時:令和2年10月15日(えにわ子育て応援隊講演会に併せて実施) ・表彰企業:有限会社中岡写真館、学校法人リズム学園あいおい子ども園、日生バイオ株式会社 決算:26,840円
R3	・日時:令和3年10月21日(えにわ子育て応援隊講演会に併せて実施) ・表彰企業:株式会社めもるホールディングス、尾崎設備工業株式会社、日重建設株式会社、株式会社けいしん水道設備 決算:35,160円
R4	・日時:令和4年11月12日(えにわ子育て応援隊講演会に併せて実施) ・表彰企業:特定非営利活動法人 えにわスマイル保育園、株式会社 きやろっと 決算:25,680円
R5 (実績・予定)	・日時:令和5年11月23日(えにわ子育て応援隊イベントに併せて実施) ・表彰企業:未定 予算:38,000円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども政策課
事業番号	15

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	ファミリー・サポート・センター事業
-----	-------------------

事業概要	事業目的	登録会員相互により行う育児援助により、仕事と育児を両立させ、安心して子育てすることができる環境を整備し、地域における子育て支援機能の充実を図る。
	対象者	協会員／市内に居住している者であって、20歳以上の心身ともに健康で積極的に援助活動を行うことができるもの 依頼会員／市内に居住又は勤務している者であって、0歳から小学校6年生までの子どもの保護者であるもの
	内容	登録会員相互により行う育児援助
	現状と課題	協会員数が少ないこと、地域に偏りがあることが、課題となっている。

重点課題に対する成果と課題

成果	依頼会員のニーズが多様化している中で、地域で安心して子育てができる環境を整備した。また、令和元年10月より、ファミリー・サポート・センター事業と病児・緊急預かり事業を一体的に行う事業として民間委託したことで利用者の利便性向上につながった。
課題	病児・緊急時の預かりについては、依頼会員数が増えているものの、病児に対応できる協会員が不足しており、会員確保が課題となっている。（令和2～4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止により、病児等預かりについては一部制限を設けて実施）

事業実績・事業予定

年度	事業実績 **事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	依頼会員／751人、協会員／130人、両方会員／87人、利用件数／1,182件 事業費／4,166千円(予算額) 執行額／3,973千円
H29	依頼会員／762人、協会員／137人、両方会員／80人、利用件数／542件 事業費／4,215千円(予算額) 執行額／4,151千円
H30	H30実績 依頼会員／772名、協会員／140名、両方会員／79名、利用件数／677件 事業費 3,754千円
R1	R1実績 依頼会員／731名、協会員／128名、両方会員／926名、利用件数／819件 事業費 5,615千円
R2	R2実績 (基本) 依頼会員／699名、協会員／109名、両方会員／66名、利用件数／489件 (病児等・緊急) 協会員／22名、利用件数／0件 事業費 8,612千円
R3	R3実績 (基本) 依頼会員／713名、協会員／123名、両方会員／59名、利用件数／979件 (病児等・緊急) 協会員／25名、利用件数／7件 事業費 8,836千円
R4	R4実績 (基本) 依頼会員／738名、協会員／131名、両方会員／55名、利用件数／1,115件 (病児等・緊急) 協会員／27名、利用件数／14件 事業費 8,813千円
R5 (実績・予定)	R5予定 (基本) 依頼会員／740名、協会員／135名、両方会員／60名、利用件数／1,100件 (病児等・緊急) 協会員／30名、利用件数／40件 事業費 9,118千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	幼児保育課
事業番号	16

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	一時保育・延長保育・休日保育事業
-----	------------------

事業概要	事業目的	多様な保育ニーズへ対応し、子育て環境の充実を図る。
	対象者	延長保育、休日保育／就労等により保育を必要とする児童 一時保育／一時的・緊急的に保育が必要となる児童
	内容	保育園、認定こども園、地域型保育事業所において19時15分までの延長保育を13園、一時保育を4園、休日保育を1園で実施。
	現状と課題	出生数は減少しているものの、保育ニーズは多様化しており、保育人材の確保が課題となっている。

重点課題に対する成果と課題

成果	多様な保育ニーズへ対応することで、仕事と家庭が両立しやすい環境の整備を行った。
課題	保育ニーズの高さに比べて、受け皿となる実施体制の不足が課題となっている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 **事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	〈一時保育 利用実人数/232人、利用日数/715日〉 〈延長保育 利用実人数/379人、利用日数/2,321日〉 〈休日保育 利用実人数/15人、利用日数/60日〉
H29	〈一時保育 利用実人数/238人、利用日数/915日〉 〈延長保育 利用実人数/419人、利用日数/2,261日〉 〈休日保育 利用実人数/8人、利用日数/61日〉
H30	〈一時保育 延べ人数/3,682人、利用日数/1,046日〉 〈延長保育 延べ人数/8,864人、利用日数/2,506日〉 〈休日保育 延べ人数/65人、利用日数/43日〉
R1	〈一時保育 延べ人数/2,043人、利用日数/812日〉 〈延長保育 延べ人数/7,390人、利用日数/2,487日〉 〈休日保育 延べ人数/202人、利用日数/66日〉
R2	〈一時保育 延べ人数/3,777人、利用日数/1,040日〉 〈延長保育 延べ人数/8,776人、利用日数/2,477日〉 〈休日保育 延べ人数/181人、利用日数/57日〉
R3	〈一時保育 延べ人数/2,151人、利用日数/784日〉 〈延長保育 延べ人数/6,867人、利用日数/2,387日〉 〈休日保育 延べ人数/224人、利用日数/66日〉
R4	〈一時保育 延べ人数/2,118人、利用日数/871日〉 〈延長保育 延べ人数/5,560人、利用日数/2,081日〉 〈休日保育 延べ人数/303人、利用日数/65日〉
R5 (実績・予定)	〈一時保育 延べ人数/2,118人、利用日数/871日〉 〈延長保育 延べ人数/5,560人、利用日数/2,081日〉 〈休日保育 延べ人数/303人、利用日数/65日〉

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	商工労働課
事業番号	17

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	男女雇用機会均等法・改正育児介護休業法の情報発信
-----	--------------------------

事業概要	事業目的	男女の均等な雇用機会の確保と働きやすい就労環境づくりへ繋がるよう啓発を行う。
	対象者	市民、市内企業
	内容	他課と連携し、情報収集に努め、男女雇用機会均等法や、改正育児・介護休業法の情報を市ホームページにて掲載。
	現状と課題	国や道からの情報を市のホームページに掲載。その他、市内企業に対し、参加者を募り、社会保険労務士などを講師にセミナーを実施。

重点課題に対する成果と課題

成果	北海道働き方改革推進企業に認定された市内企業もあり、働きやすい環境作りに繋がっている。
課題	比較的大規模の大きな企業では働きやすい就労環境作りのため様々な取り組みを行っているが、小規模事業所では取り組んでいない状況であるため、周知方法の工夫が必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信
H30	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信
R1	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信
R2	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信
R3	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信
R4	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信。セミナー実施(参加者9名)
R5 (実績・予定)	市ホームページにて、法改正などを適宜情報発信。セミナー実施(参加者16名)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	18

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業
-----	---------------------

事業概要	事業目的	ひとり親家庭の自立を促進するための就業支援を実施し、雇用の促進を図る
	対象者	母子家庭の母又は父子家庭の父で次のいずれにも該当する者 (1)児童扶養手当の支給を受けている者又は同等の所得水準にある者 (2)雇用保険法の規定による教育訓練給付金の受給資格を有していない者
	内容	教育訓練給付の指定教育訓練講座等、就労のための各種講座の受講料等の10割(上限80万円)助成。
	現状と課題	利用者の減少と周知

重点課題に対する成果と課題

成果	事業の実施により、ひとり親家庭の自立・就労におけるスキルアップを支援することができた。
課題	利用者が少ないため、周知方法を見直す必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:0名 事業費:0千円
H29	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:1名 事業費:59千円
H30	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 利用者:0名
R1	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:3名 事業費:145千円
R2	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:2名 事業費:52千円
R3	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:2名 事業費:152千円
R4	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:1名 事業費:53千円
R5 (実績・予定)	◎ひとり親家庭自立支援給付金事業 対象者:3名 事業費:462千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	19

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	II 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	II-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	II-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業
-----	---------------------

事業概要	事業目的	ひとり親家庭の自立を促進するための就業支援を実施し、雇用の促進を図る
	対象者	母子家庭の母又は父子家庭の父であって次のいずれにも該当する者 (1) 児童扶養手当の支給を受けている者又は同等の所得水準にある者 (2) 養成機関において6月以上のカリキュラムを修業し、資格の取得が見込まれる
	内容	資格取得のために6月以上の養成機関で修業する場合に給付金を支給する。 ＜訓練促進給付金＞市民税非課税世帯:月額100,000円、市民税課税世帯:月額70,500円 ＜修了支援給付金＞市民税非課税世帯:修了後50,000円、市民税課税世帯:修了後25,000円
	現状と課題	利用した者の就業につながっている

重点課題に対する成果と課題

成果	利用したひとり親の就業につながっている。
課題	利用者の増加に向け、周知方法を見直す。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:6名 事業費:6,835千円
H29	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:3名 事業費:2,121千円 (内修了給付金80千円)
H30	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:3名 事業費:3,128千円
R1	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:6名 事業費:6,937千円
R2	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:6名 事業費:6,991千円 (内修了給付金75千円)
R3	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:4名 事業費:5,187千円 (内修了給付金75千円)
R4	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:5名 事業費:3,938千円
R5 (実績・予定)	◎ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 対象者:7名 事業費:8,324千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	20

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	II 男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	II-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	II-2-②男女が働きやすい就労環境づくりを進めます

事業名	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業
-----	----------------------------

事業概要	事業目的	ひとり親家庭の自立を促進するための就業支援を実施し、雇用の促進を図る
	対象者	ひとり親家庭の自立や生活の安定を図るため、より良い条件での就職や転職を支援するため、親及び子どもの学び直しを支援する。 (1) 20歳未満の子どもを扶養しているひとり親家庭の親及び子ども (2) 児童扶養手当の支給を受けている者又は同等の所得水準にあること
	内容	対象講座を受講した際に受講費用の一部を助成し、受講終了後2年以内に全科目に合格した場合に受講費用の一部を助成します。 ＜対象講座＞高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座 ＜給付金＞受講開始時給付金:受講費用の5割(上限20万円)を受講開始時に支給。 受講修了時給付金:受講費用の3割(上限12万円)を受講修了後に支給。合格時給付金:受講修了後2年以内に全科目に合格した場合、受講費用の2割(受講開始時給付金及び受講修了時給付金と合わせて上限40万円)を支給。
	現状と課題	平成29年度から実施した新規事業であり、市民への周知・啓発が課題である。

重点課題に対する成果と課題

成果	事業を実施し、ひとり親家庭の就業を支援することで、自立と雇用促進につながる。
課題	申請者が僅かであるため、今後、事業自体のあり方について見直すことを検討したい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:0名 事業費:0千円
H30	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:1名 事業費:78千円
R1	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:0名 事業費:0千円
R2	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:0名 事業費:0千円
R3	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:0名 事業費:0千円
R4	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:0名 事業費:0千円
R5 (実績・予定)	◎ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援助成事業 対象者:1名 事業費:400千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	職員課
事業番号	21

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅱ男女が平等に社会参加するための環境づくり
重点課題	Ⅱ-2就業における男女共同参画を促進するための環境づくり
取り組み	Ⅱ-2-③女性の働く意識の向上と就業機会の拡大を進めます

事業名	職員研修の充実(女性職員リーダー研修)
-----	---------------------

事業概要	事業目的	女性職員の将来を見通した育成と積極的活用、登用
	対象者	女性職員
	内容	女性のキャリア意識の醸成及び能力開発機会の創出を目的として、外部講師を招き講義(グループワーク含む)を行う。
	現状と課題	女性職員の管理職の登用率の上昇

重点課題に対する成果と課題

成果	市職員として社会貢献、自己実現を目指していく意識を醸成する。
課題	実際の登用率上昇になかなか結びつかない。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	女性職員リーダー研修・1回・32名・会場費3,325円
H29	女性職員リーダー研修・1回・28名・会場費0円
H30	○事業名 女性職員リーダー研修 ○実績 15名参加 ○決算額 0円
R1	○事業名 女性職員リーダー研修(外部講師による講演・研修) ○実績 R2.2月実施 47名参加(うち女性28名) ○決算額 0円
R2	○事業名 女性職員リーダー研修 ○実績 R2.11に千歳市と合同開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○決算額 0円
R3	○事業名 女性職員リーダー研修 ○実績 R4.11に千歳市と合同開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○決算額 0円
R4	○事業名 女性職員リーダー研修(千歳市と合同開催:11月22日) 恵庭市民会館 ○実績 21名(恵庭市:10名、千歳市:11名) ○決算額 講師謝礼 132,200円 会場費 9,677円 合計141,877円
R5 (実績・予定)	○事業名 女性職員リーダー研修(千歳市と合同開催:9月13日) 千歳市福祉センター ○決算額 千歳市開催のため千歳市で負担

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども政策課
事業番号	22

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子どもの居場所づくりプランの推進
-----	------------------

事業概要	事業目的	すべての子どもたちや保護者が安全で安心して地域で過ごすことのできる場所づくりを目指し、子どもの居場所づくりプラン及び地区別整備計画に基づき、子どもの集う場所を計画的に整備する。
	対象者	子ども(0～18歳)とその保護者
	内容	「恵庭市子どもの居場所づくりプラン」に基づき、子どもひろばや学童クラブ、子育て支援センターの3つの機能をあわせ持った「子どもの集う場所」を平成24年度から概ね10年間で7地区にそれぞれ計画的に整備を進める。
	現状と課題	平成30年度までは計画どおり整備を進めてきた。令和3年度までには若草小学校区の整備について協議していく。

重点課題に対する成果と課題

成果	恵庭地区・和光地区については一体型として、島松地区・恵み野地区・柏地区については分散型として計画どおり整備を行った。松恵地区については、当初の計画より変更し、学童クラブ・子どもひろば機能を一体とする松恵子どもクラブを設置したが、子育て支援センター機能は整備しないこととした。また、若草地区については、当初令和3年度より分散型として整備する計画としていたが、複合施設の建設が遅れていることから、整備するにはいたっておらず、学童クラブ・子育て支援センターは分散型として設置しているものの、子どもひろばは整備できていない。
課題	若草小学校区の整備について計画どおりに進めることができていない。また、学童クラブにおいては入会を希望してもすぐに入れない・待機児童が発生している状況であり、市民ニーズに応じた新規開設を検討する必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	○柏子どもの集う場所(フーレかしわ)をかしわの境内に新規開設 ○利用者数:83,309人(H28年度実績 子どもひろば・児童館等56,036人、子育て支援センター27,273人) ○事業費:228,834千円(学童クラブ、子育て支援センター、子どもひろば・児童館等運営費)
H29	○事業費:236,390千円(H29年度決算:学童クラブ、子育て支援センター、子どもひろば・児童館等運営費) ○利用者数:98,394人(H29年度実績 子どもひろば・児童館等60,541人、子育て支援センター37,853人) ○平成30年度開設予定の「フーレえにわ」の開設準備
H30	○恵庭子どもの集う場所(フーレえにわ)をえにあす内に新規開設 ○事業費:240,218千円(学童クラブ、子育て支援センター、子どもひろば運営費)
R1	○恵み野第2学童クラブを恵み野小学校余裕教室に新規開設 ○事業費:245,105千円(学童クラブ、子育て支援センター、子どもひろば事業費)
R2	○和光第4学童クラブ閉鎖、恵み野第3学童クラブを恵庭RBパーク内に新規開設 ○事業費:269,151千円(学童クラブ、子どもひろば事業費、子育て支援センター)
R3	○4月より、若草第4学童クラブを柏陽会館内に、松恵学童クラブを東恵庭会館内に新規開設 ※R3年度より松恵子どもクラブを松恵学童クラブと松恵子どもひろばに分けて運営 ○10月より、島松第2学童クラブを島松公民館内に新規開設 ○事業費:307,770千円(学童クラブ、子どもひろば、子育て支援センター事業費)
R4	○事業費:322,280千円(学童クラブ、子どもひろば、子育て支援センター事業費)
R5 (実績・予定)	○事業費:354,658千円(学童クラブ、子どもひろば、子育て支援センター事業費)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	23

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	ひとり親家庭相談体制の充実
-----	---------------

事業概要	事業目的	ひとり親家庭に関する相談に応じ、不安の解消及び情報提供を行う
	対象者	市民
	内容	母子・父子自立支援員を設置し、相談体制の充実を図る
	現状と課題	相談内容の多様化・複雑化が一層強くなっている

重点課題に対する成果と課題

成果	ひとり親家庭の相談に応じ、その家庭の課題を整理し必要な支援につなぐことで、安心して子育てできる環境をつくっている。
課題	相談内容は年々、多様化・複雑化しているため、関係機関との連携がより一層必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 述べ1,471件
H29	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,320件
H30	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,323件
R1	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,400件
R2	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,473件
R3	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,480件
R4	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,416件
R5 (実績・予定)	◎ひとり親家庭相談 相談件数: 1,470件

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	24

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	家庭児童相談体制の充実
-----	-------------

事業概要	事業目的	子育てに関する相談に応じ、不安の解消及び情報提供を行う
	対象者	市民
	内容	家庭児童相談員を設置し、相談体制の充実を図る
	現状と課題	相談内容の多様化・複雑化が一層強くなっている

重点課題に対する成果と課題

成果	子育てに関する相談に応じ、その課題を整理し、情報提供や必要な支援につなぐことで、安心して子育てできる環境をつくっている。
課題	相談内容は年々、多様化・複雑化しているため、関係機関との連携がより一層必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎家庭児童相談 相談件数: 345件
H29	◎家庭児童相談 相談件数: 328件
H30	◎家庭児童相談 相談件数: 実364件 延2,985件
R1	◎家庭児童相談 相談件数: 延3,000件
R2	◎家庭児童相談 相談件数: 実327件 延2,616件
R3	◎家庭児童相談 相談件数: 実382件 延3,170件
R4	◎家庭児童相談 相談件数: 実422件 延3,460件
R5 (実績・予定)	◎家庭児童相談 相談件数: 実430件 延3,500件

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	25

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業
-----	--------------------

事業概要	事業目的	ひとり親家庭等の生活の安定を図る
	対象者	ひとり親家庭であって次のいずれかに該当する方 (1)社会通念上必要と認められる事由により一時的に生活援助又は保育サービスが必要な場合 (2)生活環境等が激変し、日常生活を営むのに、特に大きな支障が生じている場合 (3)未就学児を養育しているひとり親家庭であって、就業上の理由により、定期的に生活援助又は保育サービスが必要な場合
	内容	生活援助又は子育て支援とし、家庭生活支援員を派遣することにより行うもの 下記の内容のうち、必要と認められるもの (1)乳幼児の保育(2)児童の生活指導(3)食事の世話(4)住居の清掃(5)身の回りの世話(6)生活必需品の買い物(7)医療機関との連携 など
	現状と課題	乳幼児の保育を追加したが、受入体制が充分ではない。

重点課題に対する成果と課題

成果	生活環境の急変とうにより生活に困難が生じたひとり親家庭に対し、家庭生活支援員を派遣することで、生活の安定を図り、安心して子育てできる環境をつくっている。
課題	乳幼児の保育への対応が現時点でできない。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 実数:3名 延べ数:32回 利用時間数:36時間 事業費:66千円
H29	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 実数:1名 延べ利用時間数:6時間 事業費:9千円
H30	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 利用者:0名
R1	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 実数:2名 延べ利用時間数:8時間 事業費:12千円
R2	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 利用者:0名
R3	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 実数:1名 延べ利用時間数:2時間 事業費:4千円
R4	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 対象者:2名 延べ利用時間数:13時間 事業費:24千円
R5 (実績・予定)	◎ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業 対象者:10名 延べ利用時間数:46時間 事業費:85千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	26

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子育て支援短期利用事業
-----	-------------

事業概要	事業目的	児童及びその家庭の福祉の向上を図る
	対象者	家庭での養育が困難となった満1歳以上満18歳未満の児童の保護者
	内容	一時的に疾病等の社会的な理由によって養育が困難となった場合に、当該児童を児童福祉施設等において一時的に養育する(原則7日間)
	現状と課題	令和5年度より児童養護施設2ヵ所(北広島市)に加え、市内里親3ヵ所と委託契約を行う

重点課題に対する成果と課題

成果	一時的に疾病等の社会的な理由によって養育が困難となった場合に、当該児童を児童福祉施設等において一時的に養育を行うことで、地域で安心して子育てできる環境をつくっている。
課題	市内里親も、児童相談所からの措置児童等の預かりも行っているため、市民が利用希望日に受け入れが難しい時がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎子育て支援短期利用事業 申請件数:児童数3人 延べ利用日数:53日 事業費:280千円
H29	◎子育て支援短期利用事業 申請件数:児童数1人 延べ利用日数:2日 事業費:9千円
H30	◎子育て支援短期利用事業 利用者なし
R1	◎子育て支援短期利用事業 利用人数:1名 延べ利用日数:2日 事業費:9千円
R2	◎子育て支援短期利用事業 利用人数:2名 延べ利用日数:2日 事業費:11千円
R3	◎子育て支援短期利用事業 利用者なし
R4	◎子育て支援短期利用事業 利用人数:7名 延べ利用日数:75日 事業費:346千円
R5 (実績・予定)	◎子育て支援短期利用事業 利用人数:9名 延べ利用日数:96日 事業費:499千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	27

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子どもの生活・学習支援事業
-----	---------------

事業概要	事業目的	生活上の様々な困難を抱える子どもたちが地域とのつながりを持ち、安心して暮らすことが出来るよう、基本的な生活習慣の習得や学習支援、食事の提供などを行う地域の居場所づくりを進め、子どもの生活向上を図る。
	対象者	恵庭市に住所を有し、様々な困難や課題を抱える小・中学生 概ね小学4年生～中学1年生(各場所定員は10名程度)
	内容	週1回 学校下校時間以降に次の支援を行う。 (1)基本的な生活習慣の習得支援(食事の準備や後片付け、掃除等を子どもたちと一緒に行う等) (2)学習支援(学習習慣の定着や宿題の手伝い、遊びの提供等) (3)食事の提供
	現状と課題	児童、生徒の確保の難しさ 食材費、賃借料等経費の抑制

重点課題に対する成果と課題

成果	週1回学校の下校時間以降に、基本的な生活習慣の習得や学習支援、食事の提供などを行う地域の居場所をつくることで、子どもの生活向上を図っている。
課題	・課題を抱える児童・生徒への周知方法 ・高校進学を視野に入れた中学生に対する学習支援のニーズが高くなっているが、人件費や賃借料・食材費等の経費の課題があり、事業全体の見直しが必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	◎恵庭、若草、柏の3地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:853人 実施回数:145回 事業費:4,500千円
H30	◎恵庭、若草、柏の3地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:1,001人 実施回数:166回 事業費:4,500千円
R1	◎恵庭、若草、柏、恵み野の4地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:1,351人 実施回数:206回 事業費:6,400千円
R2	◎恵庭、若草、柏、恵み野の4地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:1,483人 実施回数:254回 事業費:6,400千円
R3	◎恵庭、若草、柏、恵み野の4地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:1,316人 実施回数:269回 事業費:6,400千円
R4	◎恵庭、若草、柏、恵み野、島松の5地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:1,727人 実施回数:305回 事業費:8,000千円
R5 (実績・予定)	◎恵庭、若草、柏、恵み野、島松の5地区での生活・学習支援事業委託 延べ利用児童数:1,727人 実施回数:305回 事業費:8,000千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	28

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子育て支援夜間養護等事業
-----	--------------

事業概要	事業目的	児童及びその家庭の福祉の向上を図る
	対象者	保護者が夜間に不在となり養育が困難となった満1歳以上満18歳未満の児童の保護者
	内容	一時的に仕事等の理由によって夜間の養育が困難となった場合に、当該児童を児童福祉施設等において一時的に養育する
	現状と課題	市内での委託先がないため、最寄の北広島市の施設を活用

重点課題に対する成果と課題

成果	一時的に仕事等の理由によって夜間の養育が困難となった場合に、当該児童を児童福祉施設等において一時的に養育することで、地域で安心して子育てできる環境をつくっている。
課題	市内に委託先がないため、北広島市の施設を活用しており、距離や送り方法等に課題がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	◎子育て支援夜間養護等事業 利用延べ日数:0人
H30	◎子育て支援夜間養護等事業 利用者なし
R1	◎子育て支援夜間養護等事業 利用者なし
R2	◎子育て支援夜間養護等事業 利用者なし
R3	◎子育て支援夜間養護等事業 利用者なし
R4	◎子育て支援夜間養護等事業 利用者なし
R5 (実績・予定)	◎子育て支援夜間養護等事業 利用者1名

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども政策課
事業番号	29

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	えにわ子育て応援隊事業
-----	-------------

事業概要	事業目的	恵庭で子どもを生み、育てたいという市民を応援し、次代を担う 子どもたちの健やかな成長を見守り、地域全体で子育てを支えあうことを目的とする。
	対象者	子育て応援隊会員及び市民
	内容	(1)子育てに関わるイベント・事業の周知・参加 (2)地域や職場での子育て支援の実践 (3)全体会への参加 (4)その他応援隊の目的達成に必要なこと
	現状と課題	応援隊の市民への認識度が低く、会員にとっても事業の内容がわかりづらい。

重点課題に対する成果と課題

成果	平成30年度の子育て応援隊発会時には145会員であったが、令和3年10月現在183会員と増加しており、少しずつではあるが拡大している。講演会についても年一回継続実施できていることから、安心して子育てができる環境整備を含め、子育て応援の機運を醸成することに寄与できている。
課題	応援隊の市民への認識度が低く、会員にとっても事業の内容がわかりづらい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	◎えにわ子育て応援隊 会員数:153(一般会員(90会員)・えにわこサポート協賛会員(53会員)・えにわこ応援タクシー会員(4会員)・子育て応援企業表彰会員(6会員)) ◎えにわ子育て応援セミナー 月曜、平成30年11月6日(水) 参加者:362名(応援隊40、一般168、市職員54)
R1	◎えにわ子育て応援隊 会員数:174(一般会員(92会員)・えにわこサポート協賛会員(69会員)・えにわこ応援タクシー会員(4会員)・子育て応援企業表彰会員(9会員)) ◎えにわ子育て応援隊講演会 日時:令和元年10月10日(水)
R2	◎えにわ子育て応援隊 会員数:177(一般会員(92会員)・えにわこサポート協賛会員(72会員)・えにわこ応援タクシー会員(4会員)・子育て応援企業表彰会員(12会員)) ◎えにわ子育て応援隊講演会 日時:令和2年10月15日(木) 講師:木村泰子氏(大阪市立大空小学校初代校長) ◎ホームページ立上げ、管理
R3	◎えにわ子育て応援隊 会員数:181(一般会員(92会員)・えにわこサポート協賛会員(72会員)・えにわこ応援タクシー会員(4会員)・子育て応援企業表彰会員(16会員)) ◎えにわ子育て応援隊講演会 日時:令和3年10月21日(木) 講師:高祖常子氏(NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事) ◎ホームページ管理、YouTube配信
R4	◎えにわ子育て応援隊 会員数:184(一般会員(93会員)・えにわこサポート協賛会員(74会員)・えにわこ応援タクシー会員(4会員)・子育て応援企業表彰会員(18会員)) ※5会員重複 ◎えにわ子育て応援隊講演会 日時:令和4年11月12日(土) 講師:寺田 明日香氏(東京五輪陸上女子100mハードル日本代表) ◎ホームページ管理
R5 (実績・予定)	◎えにわ子育て応援隊イベント 日時:令和5年11月23日(木) 予定 講師:未定 ◎ホームページ管理

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども政策課
事業番号	30

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子育て支援センター事業
-----	-------------

事業概要	事業目的	親同士や親子の交流、コミュニケーション、育児相談等が出来る場として開設することで、子育て家庭における育児支援を行う。
	対象者	就学前児童及びその保護者等
	内容	子育て支援センターを柏陽、恵み野、島松、黄金、柏、恵庭の市内6か所に設置し、育児相談のほか、親子で自由に遊びながら、他の親子と交流したり情報交換する場を設けています。
	現状と課題	子育て支援センターの事業内容等、子育て家庭に情報が行き渡るよう、広報活動実施の方法などを検討していくことが課題である。

重点課題に対する成果と課題

成果	子育て世代の親子が気軽に交流したり、日常の子育てについて相談できる場として、子育て家庭の孤立化を防ぎ、子育て全般の育児支援を行える場としての役割を果たしている。
課題	子育て支援センターでの事業や子育てに関する情報について、周知方法等の検討が必要

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業費/22,951千円(予算額) (利用延べ人数 保護者/18,510、子ども/22,488人、育児相談件数/718件) ●サンデーハベ・・・子育て支援センター柏陽、福祉屋内運動広場で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/365人) ●プレイセンター・・・子育て支援センター恵み野で実施。 (開催回数/130回、参加延べ人数/1,861人) ●のびのびベーク・・・戸外での遊びなどの活動体験による子育てですめる事業を子育て支援センター島松で開催。 (開催回数/44回、参加延べ人数/1,167人) ●Happyマッピーリフレッシュ・・・子育て支援センター黄金で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/437人) ●ももりクッキング・・・世代間地域交流の一環として、子育て支援センター柏で実施。 (開催回数/7回、参加延べ人数/187人) ●みんなの広場・・・市内2か所で開催。 (開催回数/57回、参加延べ人数/906人)

H29	事業費／23,681千円(予算額) (利用延べ人数 保護者/17,380人、子ども/20,473人、育児相談件数/798件) ●サンデーパパ・・・子育て支援センター柏陽、福祉屋内運動広場で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/277名) ●プレイセンター・・・子育て支援センター恵み野で実施。 (開催回数128回、参加延べ人数/1,739名) ●のびのびパーク・・・戸外での遊びなどの活動体験による子育てですめる事業を子育て支援センター島松で開催。 (開催回数/39回、参加延べ人数/1,076名) ●Happyマッピーリフレッシュ・・・子育て支援センター黄金で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/461名) ●もりもりクッキング・・・世代間地域交流の一環として、子育て支援センター柏で実施。 (開催回数/12回、参加延べ人数/352名) ●みんなの広場・・・市内2か所で開催。 (開催回数/42回、参加延べ人数/809名)
H30	事業費／25,592千円 (利用延べ人数 保護者/18,784人、子ども/22,290人、育児相談件数/1,078件) ●サンデーパパ・・・子育て支援センター柏陽、子育て支援センター恵庭(えにあす)で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/209名) ●プレイセンター・・・子育て支援センター恵み野で実施。 (開催回数98回、参加延べ人数/1,455名) ●のびのびパーク・・・戸外での遊びなどの活動体験を通じた交流事業を子育て支援センター島松で開催。 (開催回数/37回、参加延べ人数/959名) ●Happyマッピーリフレッシュ・・・子育て支援センター黄金で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/401名) ●もりもりクッキング・・・親子食育事業と世代間地域交流の一環として、子育て支援センター柏で実施。 (開催回数/12回、参加延べ人数/346名) ●ジムジム親子deスマイルFunFun!・・・親子の体力づくり事業として、子育て支援センター恵庭で開催。 (開催回数/12回、参加延べ人数/283名)
R1	事業費／23,309千円 利用延べ人数 保護者／14,472名 子ども／16,432名 育児相談／917件 【事業利用実績】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2月後半～3月の事業は中止 ●サンデーパパ 子育て支援センター柏陽、子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／11回 参加延べ人数／134名 ●プレイセンター 子育て支援センター恵み野で実施 開催回数／55回 参加延べ人数／717名 ●のびのびパーク 子育て支援センター島松で実施 開催回数／32回 参加延べ人数／741名 ●Happyマッピーリフレッシュ 子育て支援センター黄金で実施 開催回数／10回 参加延べ人数／204名 ●もりもりクッキング 子育て支援センター柏で実施 開催回数／11回 参加延べ人数／286名 ●ジムジム親子deスマイルFun!Fun! 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／11回 参加延べ人数／163名
R2	事業費／33,583千円 利用延べ人数 保護者／8,485名 子ども／9,970名 育児相談／825件 【事業利用実績】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4月後半～6月の事業は中止 ●サンデーパパ 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／10回 参加延べ人数／197名 ●プレイセンター 子育て支援センター恵み野で実施 開催回数／0回 参加延べ人数／0名 ●のびのびパーク 子育て支援センター島松で実施 開催回数／6回 参加延べ人数／110名 ●Happyマッピーリフレッシュ 子育て支援センター黄金で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／120名 ●もりもりクッキング(クッキングを中止し、代替事業を実施) 子育て支援センター柏で実施 開催回数／3回 参加延べ人数／59名 ●ジムジム親子deスマイルFun!Fun! 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／86名 ●親子であそぼう／9回 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／120名 ●子育てセミナー 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／110名

R3	事業費／38,134千円 利用延べ人数 保護者／8,908名 子ども／10,974名 育児相談／866件 【事業利用実績】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、5月後半～6月、9月の事業は中止 ●サンデーパパ 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／10回 参加延べ人数／292名 ●プレイセンター 子育て支援センター恵み野で実施 開催回数／0回 参加延べ人数／0名 ●のびのびパーク 子育て支援センター島松で実施 開催回数／6回 参加延べ人数／86名 ●Happyマッピーリフレッシュ 子育て支援センター黄金で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／125名 ●もりcafé 子育て支援センター柏で実施 開催回数／3回 参加延べ人数／59名 ●ジムジム親子deスマイルFun!Fun! 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／10回 参加延べ人数／132名 ●親子であそぼう／9回 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／111名 ●子育てセミナー 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／74名
R4 (実績・予定)	事業費／31,449千円 利用延べ人数 保護者／11,910名 子ども／13,810名 育児相談／732件 【事業利用実績】 ●サンデーパパ 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／20回 参加延べ人数／978名 ●プレイセンター 子育て支援センター恵み野で実施 開催回数／0回 参加延べ人数／0名 ●のびのびGO! 子育て支援センター島松で実施 開催回数／7回 参加延べ人数／124名 ●リラックス・リフレッシュ!リラママ 子育て支援センター島松で実施 開催回数／12回 参加延べ人数／136名 ●Happyマッピーリフレッシュ 子育て支援センター黄金で実施 開催回数／12回 参加延べ人数／97名 ●もりcafé 子育て支援センター柏で実施 開催回数／9回 参加延べ人数／88名 ●スマイルサンデー 子育て支援センター恵庭で実施 開催回数／4回 参加延べ人数／30名 ●親子であそぼう 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／12回 参加延べ人数／162名 ●子育てセミナー 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／10回 参加延べ人数／71名 ●母乳育児相談 子育て支援センター柏陽で実施 開催回数／6回 参加延べ人数／37名
R5 (実績・予定)	事業費／33,839千円 利用延べ人数 40名×開設日242日×稼働率50％×6か所＝29,040名(保護者14,520名、子ども14,520名) 事業実施回数 実施事業(計10事業)を実施。1事業につき、年間12回開催、参加延べ人数 1,800名を想定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	31

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	産後子育てサポート事業
-----	-------------

事業概要	事業目的	産後間もない子育て家庭において、強い不安や孤立感等を抱える養育者への支援を行うことで、精神的及び肉体的負担を軽減する。
	対象者	恵庭市内に住所を有する生後12ヶ月までの乳児のいる世帯
	内容	市内で母乳育児相談を実施している助産師による専門的相談・指導のための費用助成として、対象者からの申請により利用券の交付を行う。
	現状と課題	H29年度に実施した所得制限の緩和により、利用者実人数がおおよそ4倍程度増加した。

重点課題に対する成果と課題

成果	助産師による専門的相談・指導が受けられることにより、産後間もない子育て家庭の負担軽減や安心して子育てができることにつながっている。
課題	利用者は近年減少傾向にある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	利用者実人数／7名 事業費／500千円(予算額) 執行額／24千円
H29	利用者実人数／33名 事業費／500千円(予算額) 執行額／121千円 ※H29年度より、所得制限緩和を実施(対象要件の住民税所得割額を12万5,800円から18万円へ引上げ)
H30	【H30年度実績】 利用者実人数／33人 事業費／125千円
R1	【R元年度実績】 利用者実人数／24人 事業費／82千円
R2	【R2年度実績】 利用者実人数／21人 事業費／80千円
R3	【R3年度実績】 利用者実人数／18人 事業費／70千円
R4	【R4年度実績】 利用者実人数／14人 事業費／49千円
R5 (実績・予定)	【R5年度見込み】 利用見込み人数／38人 事業予算額／88千円(38人×46%×5,000円＝87,400円)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課
事業番号	32

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	ひとり親家庭等医療費の助成
-----	---------------

事業概要	事業目的	ひとり親家庭等への医療費自己負担額に対する助成
	対象者	ひとり親家庭の18歳未満(最大20歳未満)の子とその親
	内容	①子ども:未就学児及び住民税非課税世帯の場合、初診時一部負担のみの負担。住民税課税世帯の場合、医療費の1割分を負担。 ②親:住民税非課税の場合、初診時一部負担のみの負担。 住民税課税世帯の場合、医療費の1割分を負担。(但し入院以外は2割分を負担)
	現状と課題	受給者数や助成額については大きな変動はないが、親の通院助成は市の単独事業であり北海道からの助成は無いため、財源の確保が課題である。

重点課題に対する成果と課題

成果	ひとり親家庭等における経済的な負担の軽減と医療の充実によって、ひとり親家庭等医療費受給者の健康の保持と福祉の増進が図られ、ひとり親世帯の生活の安定と自立に寄与している。
課題	親の通院助成については市単独で実施している事業のため、北海道からの補助(1/2)が無く、財源の確保が課題である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	○医療費の助成 対象者:親 746人 子 1,120人 事業費(扶助費):42,296千円
H29	○医療費の助成 対象者:親 740人 子 1,112人 事業費(扶助費):41,297千円
H30	○医療費の助成 対象者:親 757人 子 1,135人 事業費(扶助費):44,763千円
R1	○医療費の助成 対象者:親 773人 子 1,179人 事業費(扶助費):44,189千円
R2	○医療費の助成 対象者:親 762人 子 1,167人 事業費(扶助費)41,422千円
R3	○医療費の助成 対象者:親 789人 子 1,194人 事業費(扶助費) 43,454千円
R4	○医療費の助成 対象者:親 756人 子 1,138人 事業費(扶助費) 43,137千円
R5 (実績・予定)	○医療費の助成 対象者:親 777人 子 1,189人 事業費(扶助費)予算: 46,704千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課
事業番号	33

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子ども医療費の助成
-----	-----------

事業概要	事業目的	子どもへの医療費自己負担額に対する助成
	対象者	中学校就学までの子
	内容	①未就学:住民税の課税非課税に係わらず初診時一部負担のみの負担。 ②小学生(通院・入院)及び中学生(入院のみ)に対する医療費を助成。 住民税非課税世帯の場合、初診時一部負担のみの負担。 住民税課税世帯の場合、医療費の1割分を負担。
	現状と課題	近隣他市において助成内容の拡充の動きがある。 H31.4より小学1〜3年生までの通院助成を開始し、R4.4からは小学4〜6年生までの通院助成を開始した。助成要件の拡充要請がある。

重点課題に対する成果と課題

成果	子育て世代の医療費を助成することで経済的負担の軽減が図られ、子どもを安心して生み育てられる環境づくりが促進された。
課題	近隣他市において、通院助成の対象年齢が拡大されているため、本市としては他市の状況や他の子育て施策状況を踏まえた検討が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	○医療費の助成 対象者:未就学 3,506人 小学生 444人 中学生 54人 事業費(扶助費):100,929千円	
H29	○医療費の助成 対象者:未就学 3,460人 小学生 414人 中学生 37人 事業費(扶助費):100,548千円	
H30	○医療費の助成 対象者:未就学 3,386人 小学生 371人 中学生 31人 事業費(扶助費):92,179千円	
R1	○医療費の助成 対象者:未就学 3,388人 小学生 1,803人 中学生 28人 事業費(扶助費):121,568千円	
R2	○医療費の助成 対象者:未就学 3,287人 小学生 1,738人 中学生 31人 事業費(扶助費)89,365千円	
R3	○医療費の助成 対象者:未就学 3,175人 小学生 1,670人 中学生 27人 事業費(扶助費) 110,355千円	
R4	○医療費の助成 対象者:未就学 3,079人 小学生 3,098人 中学生 37人 事業費(扶助費) 125,287千円 ※R4より医療助成対象を拡大 (小1〜小3⇒小1〜小6)	
R5 (実績・予定)	○医療費の助成 対象者:未就学 2,963人 小学生 3,130人 中学生 25人 事業費(扶助費) 予算: 143,101千円	

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課
事業番号	34

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	未熟児養育医療の助成
-----	------------

事業概要	事業目的	未熟児への医療費自己負担額に対する助成
	対象者	母子保健法等に基づき医師が入院養育を必要と認めた未熟児
	内容	医療費(健康保険適用分)の自己負担額のうち、一部を所得に応じて負担。 なお、負担金は恵庭市子ども医療費助成制度を利用することができる。
	現状と課題	受給者数や入院期間の推計が難しく、また大幅に助成額が変動するため、財源の確保が課題である。

重点課題に対する成果と課題

成果	心身の発育が未熟なま生まれた乳児が、心身ともに健やかに育つことを目的として、指定養育医療機関において、入院を必要とする乳児に対して必要な医療費の給付を行うことにより未熟児の健康保持及び増進、保護者の経済的負担の軽減が図られている。
課題	受給者数や入院期間の推計が難しく、また大幅に助成額が変動するため、財源の確保が課題である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	○医療費の助成 人数 15人 事業費(扶助費) 3,817千円	
H29	○医療費の助成 人数 10人 事業費(扶助費) 2,508千円	
H30	○医療費の助成 人数 18人 事業費(扶助費) 4,924千円	
R1	○医療費の助成 人数 20人 事業費(扶助費) 7,218千円	
R2	○医療費の助成 人数 17人 事業費(扶助費) 4,303千円	
R3	○医療費の助成 人数 20人 事業費(扶助費) 4,892千円	
R4	○医療費の助成 人数 19人 事業費(扶助費) 5,162千円	
R5 (実績・予定)	○医療費の助成 人数 19人 事業費(扶助費) 4,884千円	

事業管理シート【中間事業評価】	
担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	35

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
	Ⅳ男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
	Ⅳ-1家庭における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます
	Ⅳ-1-②家事や子育て、介護は、男女が平等に共同して担う意識を醸成させます

事業名	育児教室(乳幼児育児支援事業)
-----	-----------------

事業概要	事業目的	子どもが健康に発育・発達するために必要な、生活・栄養・歯科に関する知識と実施方法を親が身につけ、親子関係を育みながら育児ができるようにする。
	対象者	生後6～7か月の第1子がいる家庭、第2子以降の参加希望者
	内容	保健師・栄養士・歯科衛生士による健康教育等の実施
	現状と課題	生後6か月前後は離乳食や歯の萌出など重要な時期であり養育者へ食を通した健康づくりのための支援を実施

重点課題に対する成果と課題

成果	健康講話による知識の提供や育児相談により、保護者が安心して育児を行える一助になった。
課題	R5年より医師講話の代替として、生後6か月前後の生活リズム、運動発達、誤飲・窒息の事故予防について保健師講話を開始したため、参加者がより理解しやすい内容の組み立てや媒体の工夫に努めていく。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名:育児教室 年6回 87件
H29	事業名:育児教室 年6回 87件
H30	事業名:育児教室 年6回
R1	事業名:育児教室 年5回 参加組数79組 決算額:10千円
R2	事業名:育児教室 年4回 参加組数50組 決算額:14千円
R3	事業名:育児教室 年6回 参加組数69組 決算額:4千円
R4	事業名:育児教室 年6回 参加組数69組 決算額:19千円
R5 (実績・予定)	事業名:育児教室 年6回 予算額:30千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	36

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	乳幼児健康診査(3～4か月児健診・9～10か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診)
-----	--

事業概要	事業目的	乳幼児における身体発育、運動、精神発達の遅れを早期に発見し、適切な療育につなげ、発育・発達の病害の進行を未然に防止する。乳幼児が健康に成長できるように、母子関係が成立のもと親が適切な育児行動をとれるよう支援する。
	対象者	・満3～4か月児とその家族 ・満9～10か月児とその家族 ・満1歳6か月児(満1歳6か月を超え2歳に達しない幼児) ・満3歳児(満3歳をこえ、満4歳に達しない幼児)
	内容	<3～4か月児健診・9～10か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診> 健康診査:体格測定、問診・発達・育児相談、栄養相談、小児科医診察 (1歳6か月児健診・3歳児健診のみ) 歯科健康診査、歯科保健指導、発達相談
	現状と課題	未受診者に対してマニュアルに基づき支援を実施し、未受診家庭の状況把握に努めるとともに、受診勧奨を行い健診受診率の維持に努める。

重点課題に対する成果と課題

成果	乳幼児期の身体発育、運動、精神発達を保護者と一緒に確認し、必要な保健指導や支援に結び付けることで、保護者が安心して子育てができることにつながっている。
課題	未受診家庭の状況把握が困難な場合が多いため、未受診者マニュアルに基づきながら把握に努めていきたい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	3～4か月児健診 受診者数:478人 9～10か月児健診 受診者数:497人 1歳6か月児健診 受診者数:509人 3歳児健診 受診者数:579人	
H29	3～4か月児健診 受診者数:471人 9～10か月児健診 受診者数:464人 1歳6か月児健診 受診者数:503人 3歳児健診 受診者数:533人	
H30	3～4か月児健診 受診者数:449人 9～10か月児健診 受診者数:489人 1歳6か月児健診 受診者数:493人 3歳児健診 受診者数:554人	
R1	3～4か月児健診 受診者数:419人 開催回数:12回 9～10か月児健診 受診者数:427人 開催回数:12回 1歳6か月児健診 受診者数:444人 開催回数:12回 3歳児健診 受診者数:502人 開催回数:24回 事業費:3,308千円	
R2	3～4か月児健診 受診者数:427人 開催回数:11回 9～10か月児健診 受診者数:426人 開催回数:11回 1歳6か月児健診 受診者数:479人 開催回数:11回 3歳児健診 受診者数:547人 開催回数:22回 事業費:3,122千円	
R3	3～4か月児健診 受診者数:451人 開催回数:10回 9～10か月児健診 受診者数:462人 開催回数:11回 1歳6か月児健診 受診者数:442人 開催回数:11回 3歳児健診 受診者数:470人 開催回数:20回 事業費:3,070千円	
R4	3～4か月児健診: 受診者数 430人 開催回数:12回 9～10か月児健診: 受診者数 444人 開催回数:12回 1歳6か月児健診: 受診者数 478人 開催回数:12回 3歳児健診: 受診者数 461人 開催回数:24回 事業費:2,872千円	
R5 (実績・予定)	3～4か月児健診:見込み数 423人 開催回数:12回 9～10か月児健診:見込み数 449人 開催回数:12回 1歳6か月児健診:見込み数 453人 開催回数:12回 3歳児健診: 見込み数 502人 開催回数:24回 事業費:3,865千円	

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	37

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	妊産婦・乳幼児家庭訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業)
-----	--

事業概要	事業目的	・すべての乳児がいる家庭を訪問し、子どもの発育・発達、栄養、疾病予防など子育てに必要な支援を行う。産婦及び家族の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、家族全体の健康の保持・増進を図る。 ・子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な家庭に訪問し、子育てに必要な支援を行う。妊産婦及び家族の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、当該家庭における安定した子どもの養育を支援する。
	対象者	・概ね生後4か月までの乳児がいるすべての家庭 ・母子保健事業や保健医療その他の関係機関等から把握した養育支援を必要とする家庭の乳幼児及び養育者
	内容	保健師や赤ちゃん訪問指導員などの専門職による家庭訪問
	現状と課題	関係機関との連携を密に図り、必要な支援を充実させる。

重点課題に対する成果と課題

成果	出産後まもない時期に家庭訪問を行うことで、子どもの発育発達を確認し、育児相談を行うことで、保護者が安心して子育てができる一助になっている。
課題	子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な家庭もあることから、関係機関との連携を図りながら支援を図っていきたい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 :434件 事業名:養育支援訪問事業 :87件
H29	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 :472件 事業名:養育支援訪問事業 :94件
H30	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 426件 事業名:養育支援訪問事業 103件
R1	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 418件 事業名:養育支援訪問事業 84件 決算額:79千円
R2	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 430件 事業名:養育支援訪問事業 62件 決算額:64千円
R3	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 見込み数430件 事業名:養育支援訪問事業 見込み数92人 決算額:64千円
R4	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 420人 事業名:養育支援訪問事業 83件 決算額:84千円
R5 (実績・予定)	事業名:乳児家庭全戸訪問事業 見込み数416人 事業名:養育支援訪問事業 見込み数70件 予算額:64千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	38

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	来所相談(乳幼児育児支援事業)
-----	-----------------

事業概要	事業目的	育児に関する不安や悩みを軽減し、子どもの健やかな成長発達を促す。
	対象者	乳幼児及びその家族
	内容	・すくすく相談:月1回 ・来所相談:随時 保健師、栄養士などの専門職による乳幼児の健康や育児に関する相談
	現状と課題	訪問や健診などの母子保健事業での継続支援が受けられるよう、台帳管理や地区担当保健師への報告などの体制を整備

重点課題に対する成果と課題

成果	子どもの発育発達を確認し、育児相談を行うことで、保護者が安心して子育てができることにつながっている。
課題	訪問や健診などの母子保健事業での継続支援が受けられるよう、台帳管理や地区担当保健師への報告などの体制を整備していきたい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名:すくすく相談 年12回 延べ463件
H29	事業名:すくすく相談 年12回 400件
H30	事業名:すくすく相談 年12回
R1	事業名:すくすく相談 年11回 参加人数:375組 事業費:10千円
R2	事業名:すくすく相談 年9回 参加人数:119組 事業費:14千円
R3	事業名:すくすく相談 年12回 参加人数:228組 事業費:13千円
R4	事業名:すくすく相談 年12回 参加人数:212組 事業額:14千円
R5 (実績・予定)	事業名:すくすく相談 年12回 参加人数:220組 予算額:14千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	39

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	小児救急普及啓発事業
-----	------------

事業概要	事業目的	子どもの不調や病気、事故への対応に関して家族の不安を軽減し、適切な受診行動や家庭での対応ができるよう、小児救急や事故予防の普及啓発を図る。
	対象者	乳幼児及びその家族
	内容	・「こどもの救急」冊子を作成し、乳幼児全戸訪問時に配布及び各子育て支援センターなどに配置 ・出前講座「子どもに多いけがと病気」の実施 ・「こどもの救急」冊子の市ホームページへの掲載
	現状と課題	「こどもの救急」冊子については、啓発・周知の方法を変更予定。

重点課題に対する成果と課題

成果	乳幼児に起こりやすい不調や病気、事故への対応に関して家族の不安を軽減し、適切な受診行動や家庭での対応ができるよう、小児救急や事故予防の普及啓発を図ることで安心した子育てにつながっている。
課題	現在、乳幼児全戸訪問を中心に配布しているが、さらなる有効活用のために配布方法などを検討していきたい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:580冊
H29	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:472冊
H30	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:426冊
R1	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:497冊 決算額:17千円
R2	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:520冊 決算額:18千円
R3	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:430冊 決算額:18千円
R4	事業名:小児救急普及啓発事業 小児救急冊子:436冊 決算額:18千円
R5 (実績・予定)	事業名:小児救急普及啓発事業

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	40

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり Ⅴ生涯にわたる健康の支援
重点課題	Ⅴ-2ライフステージに応じた健康づくりの推進 Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます Ⅴ-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	各種予防接種事業
-----	----------

事業概要	事業目的	*予防接種の実施により、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上と健康の保持に寄与することを目的とする。
	対象者	*予防接種法等の法令で規定する対象者要件に該当する市民 (0歳～20歳未満)
	内容	*予防接種の種類 MRワクチン・麻しん・風疹・二種混合・三種混合・四種混合・BCG・不活化ポリオ・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌・水痘・子宮頸がん・日本脳炎・B型肝炎・ロタウイルス(ロタテック・ロタリックス) 自己負担額:無料
	現状と課題	*市広報、ホームページにより事業周知を行っており、状況に応じ民間情報誌の活用や接種対象者への個別勧奨を実施している。また、里帰り等の長期市外滞在者が接種機会を失うことがないよう、市外での接種にも対応しながら事業を進めている。 *事業周知等の適正実施と医療機関との連携による円滑な事業推進が重要となる。

重点課題に対する成果と課題

成果	予防接種の実施により、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上と健康の保持に寄与している。
課題	事業周知等の適正実施と医療機関との連携による円滑な事業推進が重要となる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	*事業名:予防接種事業費 *実績 124,359千円 *予防接種数:13種類 *予防接種延人数:15,099人(子供) 実績:14,082人
H30	*事業名:予防接種事業費 *H30実績 118,761千円 *予防接種数:13種類 *予防接種延人数:13,525人(子供)
R1	*事業名:予防接種事業費 *R1事業費 114,382千円 *予防接種数:14種類 *予防接種延人数:12,915人(子供)
R2	*事業名:予防接種事業費 *R2事業費 118,136千円 *予防接種数:16種類 *予防接種延べ人数:13,206人(子供)
R3	*事業名:予防接種事業費 *R3事業費 118,666千円 *予防接種数:16種類 *予防接種延べ人数:12,873人(子供)
R4	*事業名:予防接種事業費 *R4事業費 123,352千円 *予防接種数:16種類 *予防接種延べ人数:13,195人(子供)
R5 (実績・予定)	*事業名:予防接種事業費 *R5事業費 140,411千円 *予防接種数:16種類

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	41

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	5歳児相談
-----	-------

事業概要	事業目的	5歳児の成長、発達の確認、集団生活を体験する幼児期以降になってはじめて顕在化する軽度の発達障害を適正に発見し、就学前の子どもの円滑な就学移行を目指す。また子どもの発達に不安を持つ保護者に対し相談機会を増やし安心して育児できるよう支援する。
	対象者	恵庭市内に住民票を有する、年度内に5歳になる児
	内容	視力検査、身体計測、問診、発達相談、就学へ向けての講話等
	現状と課題	令和2年度新規事業。 関係機関と連携を図りながら事業が円滑かつ効果的に行われるよう実施を図る。

重点課題に対する成果と課題

成果	幼児期(3歳児健診以降)になって顕在化する軽度の発達障害を早期に発見するとともに、子どもの発達に不安を持つ保護者に対し、安心して相談できる機会とする
課題	発達や育児などで支援が必要な方がスムーズに継続支援が受けられるよう支援すると共に、就学への引継ぎ体制を整備していきたい。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	—	
H29	—	
H30	—	
R1	—	
R2	*事業名:5歳児相談(実施回数2回) *受診人数 15人	*R2決算額 445千円
R3	*事業名:5歳児相談(実施回数3回) *受診人数20人	*R3決算額 68千円
R4	*事業名:5歳児相談(実施回数3回) *受診人数25人	*R4決算額 107千円
R5 (実績・予定)	*事業名:5歳児相談(実施回数4回) *受診人数 24人	*R5予算額 123千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	社会教育課
事業番号	42

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり Ⅳ男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備 Ⅳ-1家庭における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます Ⅳ-1-③男女共同参画の視点に基づいた家庭教育に関する学習機会を提供します

事業名	家庭教育支援事業
-----	----------

事業概要	事業目的	家庭の教育力、コミュニケーションなど、家庭教育における様々な課題をテーマに取り上げ、解決のヒントを得る学習機会を提供します。
	対象者	子育て中の親等
	内容	親子参加型のイベントと緩やかな交流の場の提供等
	現状と課題	子育てに悩みを抱える親に対する広報活動充実の方策。

重点課題に対する成果と課題

成果	対面による実施に加え、オンラインを活用し、交流や学習の場を提供することができた。
課題	広く周知をすることができるよう工夫が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・「えにわまっぷⅡ～あそんで！出会って！恵庭の子育て楽しもう！ ※普段の子育てについて、講座などに来ることのできない保護者同士が緩やかに交流する場を作り、保護者同士で助け合う事ができ、互いに子育てを支え、子育てをより楽しめるようなつながりを作る。 ・2月26日 ・参加者数 60組 200名 ・経費 64,000円
H29	・「えにわまっぷⅡ～みんなで話そう衣食住のこと！」 ※普段の子育てについて、講座などに来ることのできない保護者同士が緩やかに交流する場を作り、保護者同士で助け合う事ができ、互いに子育てを支え、子育てをより楽しめるようなつながりを作る。 ・10月15日 ・参加者数 50組 150名 ・経費 61,000円
H30	「えにわまっぷ3～子育て世代の防災について～」 参加人数:親子等32組60名 経費:41,898円
R1	・「えにわまっぷ4～家族みんなで子育て楽しもう～」 参加人数:親子等28組64名 経費:55千円 ・学びカフェ推進事業 事業費 55千円 4千円/13回/64名
R2	学びカフェ推進事業 事業費 27千円 14回/84名
R3	学びカフェ推進事業 事業費 10千円 11回/58名
R4	・「えにわまっぷ5～えにわの子育て楽しもう～」 参加人数:親子等23組45名 経費:51千円 ・学びカフェ推進事業 事業費 6千円 9回/61名
R5 (実績・予定)	・「えにわまっぷ6」 11月23日開催 事業費(予算) 50千円 ・学びカフェ推進事業 事業費 13千円 12回予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	43

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1 安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-① 子育てを支援するための施策を進めます

事業名	支援対象児童等見守り強化事業
-----	----------------

事業概要	事業目的	子ども食堂等を行う民間団体等が食事の提供や学習支援を通じ、支援ニーズの高い子どもの状況把握を行い、見守り体制を強化し児童及びその家庭の福祉の向上を図る
	対象者	市に住所を有する者であって、18歳に達した日以降の最初の3月31日までにある者のうち、周囲から孤立している状態、食事面・衛生面・学習面・養育環境面・生活面に心配がある状態、市長が特に支援が必要と認める状態にある者
	内容	・概ね月1回以上NPO法人等の訪問により、対象児童の状況把握と見守りを行うとともに、必要に応じて、食事の提供、生活支援や学習支援を実施する。 ・状況に応じ、適切な相談支援機関の紹介や支援につなぐ。
	現状と課題	・対象児童の増加 ・人員の確保

重点課題に対する成果と課題

成果	食事の提供や学習支援を通じ、支援ニーズの高い子どもの状況把握を行い、見守り体制を強化し安心して子育てができる環境をつくっている。
課題	対象児童の増加にともなう、事業所や人員の確保

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	—
R3	—
R4	—
R5 (実績・予定)	◎NPO法人1ヵ所実施 補助金:1,500千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	44

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1 安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-① 子育てを支援するための施策を進めます

事業名	要保護家庭等緊急支援事業
-----	--------------

事業概要	事業目的	様々な理由で自宅に帰れない児童や家族が、次の支援先に繋がるまでの間、宿泊施設の費用を支給する。
	対象者	様々な事情で自宅に帰れない児童や家族
	内容	次の受入れ先に繋がるまでの間、短期間(3～4日)宿泊施設の費用を支給する。
	現状と課題	・宿泊施設の空き確保 ・次の受入れ先の調整

重点課題に対する成果と課題

成果	様々な理由で自宅に帰れない児童や家族に次の支援先に繋がるまでの間の宿泊施設の費用を支給し安心して子育てができる環境をつくっている。
課題	宿泊施設の空き確保と次の受入れ先の調整

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	—
R3	—
R4	—
R5 (実績・予定)	◎要保護家庭等緊急支援事業 利用人数:6名 日数:12日 事業費:96千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	45

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-1-①子育てを支援するための施策を進めます

事業名	子育て世帯訪問支援事業
-----	-------------

事業概要	事業目的	家事・育児等に対して不安・負担を抱えた家庭へ家事・育児等の支援を実施し、家庭や養育環境を整え、児童及びその家庭の福祉の向上を図る
	対象者	市に住所を有する者であって、要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦等を対象（支援を要するヤングケアラーを含む）
	内容	・家事支援（食事の準備、選択、掃除、買い物の代行支援等） ・育児支援（保育所等の送迎支援や地域母子保険政策・子育て支援施策等の情報提供も含む）
	現状と課題	・委託事業所の確保

重点課題に対する成果と課題

成果	家事・育児等に対して不安・負担を抱えた家庭へ家事・育児等の支援を実施し、家庭や養育環境を整え、安心して子育てができる環境をつくっている。
課題	委託事業所の確保

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	—
R3	—
R4	—
R5 (実績・予定)	◎子育て世帯訪問支援事業 件数:20件 事業費:312千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	介護福祉課
事業番号	46

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます

事業名	介護予防シニア体力測定会等の実施
-----	------------------

事業概要	事業目的	高齢者が体力の維持管理を図り、心身ともに健康で積極的に社会的生活の形成に寄与することを目的とする。
	対象者	市内に居住する概ね60歳以上の方 市内各老人クラブの会員
	内容	体力測定会やハイキングを通して、健康状態の把握、健康づくりや介護予防に向けた情報提供、相互交流の促進を図る。
	現状と課題	老人クラブにおいて会員の高齢化が著しく進行していることから、事業のあり方の検討が必要となっている。

重点課題に対する成果と課題

成果	市内高齢者に対して、スポーツを通じた体力維持・向上、相互交流の機会を提供し、心身の健康づくりと介護予防の推進を図ることができた。
課題	大型の大会形式の事業であることから、開催が天候に左右され、年間を通じた継続的な健康づくり・介護予防の機会とはなり難いことや参加者の高齢化に対応した種目見直しが課題となっている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	第42回恵庭市介護予防老人福祉スポーツ大会 H28年7月15日(金)開催 参加者 798人 事業費 1,083千円	第37回恵庭市介護予防老人健康ハイキング H28年6月29日(木)・30日(木) 参加者 372人 事業費 750千円
H29	第43回恵庭市介護予防老人福祉スポーツ大会 H29年7月27日(木)開催 参加者 796人 事業費 1,155千円	第38回恵庭市介護予防老人健康ハイキング H29年6月28日(木)・29日(木) 参加者 367人 事業費 923千円
H30	第44回恵庭市介護予防老人福祉スポーツ大会 H30年7月19日(木)開催 参加者 660人 事業費 1,206千円	第39回恵庭市介護予防老人健康ハイキング ※H30年6月27日(木)・28日(木)に計399人で実施を予定も雨天中止
R1	第45回恵庭市介護予防老人福祉スポーツ大会 ※R1年7月18日(木)に計603人で実施を予定も雨天中止となった。 ※事業費(予算額) 1,611千円	第40回恵庭市介護予防老人健康ハイキング R1年6月19日(木)・20日(木) 参加者数 323人 事業費 779千円
R2	第46回恵庭市介護予防老人福祉スポーツ大会 ※R2年7月16日(木)に実施を予定も新型コロナウイルスの影響により中止となった。 ※事業費(予算額) 1,588千円	第41回恵庭市介護予防老人健康ハイキング ※R2年6月17日(木)・18日(木)に実施を予定も新型コロナウイルスの影響により中止となった。 ※事業費(予算額) 1,085千円
R3	第47回恵庭市介護予防老人福祉スポーツ大会 ※R3年7月15日(木)に実施を予定も新型コロナウイルスの影響により中止とし、代替事業として介護予防啓発冊子いえかつ発行事業を行った。 ※事業費(予算額) 1,473千円(いえかつ印刷製本事業費:1,127千円)	第42回恵庭市介護予防老人健康ハイキング ※R3年6月16日(木)・17日(木)に実施を予定も新型コロナウイルスの影響により中止となった。 ※事業費(予算額) 1,059千円
R4	介護予防シニア体力測定会 ※新型コロナウイルス等を鑑み介護予防老人福祉スポーツ大会を中止。R4以降は体力測定会へ変更 ※開催日:R4.6.9 98人 ,R4.10.13 113人 ※事業費 1,050千円	第43回恵庭市介護予防老人健康ハイキング ※R4.6.29.6.30 241名 ※事業費 1,037千円
R5 (実績・予定)	介護予防シニア体力測定会 R5.6/15、10/12 ※事業費(予算額) 1,194千円	介護予防老人健康ハイキング R5.9.5、10.16、10.18、10.19予定 ※事業費(予算額):930千円

事業管理シート【中間事業評価】	
担当課	介護福祉課
事業番号	47

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます

事業名	地域包括支援センター事業
-----	--------------

事業概要	事業目的	地域包括支援センターは、介護保険法に基づき、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。
	対象者	65歳以上の市民またはその家族、およびそれらを支援する医療、介護、福祉等関係機関
	内容	地域包括支援センターは、3職種の専門職員が協働して包括的支援事業を実施することにより、各被保険者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、介護保険法第24条第2項に規定する介護給付等対象サービス、介護予防サービスその他の保健医療サービス又は福祉サービス、権利擁護のための必要な援助等を利用できるように導き、各被保険者が可能な限り、住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるように支援するものである。
	現状と課題	高齢者の増加に伴い、支援対象者が増えているまたは支援困難な事例が増えている。また、介護保険法の改正により、地域における地域包括支援センターの役割もより重要となり、業務増加に繋がっている。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民からの相談を随時受け付けることで、高齢者の生活・介護・権利擁護に対する支援が図られた
課題	相談数の増加、内容の複雑化による困難事例の増加などの要因により、業務量が増加している

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	高齢者の増加を背景に、第6期介護保険計画において従前の3箇所設置から4箇所設置とすることとなっている。これに則り、平成28年10月より新たに1箇所を増設、現在は4箇所の地域包括支援センターの運営によってさらなる相談支援の充実を図っている。
H29	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)
H30	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)
R1	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)
R2	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)
R3	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)
R4	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)
R5 (実績・予定)	4箇所の地域包括支援センターの運営を維持(3法人に委託)

事業管理シート【中間事業評価】	
担当課	介護福祉課
事業番号	48

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます

事業名	生活支援体制整備事業
-----	------------

事業概要	事業目的	本事業は、介護保険法(平成9年法律第123号)第115条の45第2項第5号に規定する事業を実施することにより、生活支援・介護予防サービスの充実を図るとともに地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。
	対象者	恵庭市民および市内関係機関または事業体
	内容	地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、次の各号に掲げる業務・取組(以下「コーディネート業務」という。)を総合的に実施する「生活支援コーディネーター(以下「コーディネーター」という。)」を地域の実情に応じて配置。そのコーディネート業務は委託することができる。業務内容は次のとおり。 (1) 地域の高齢者支援ニーズ及び地域資源の把握、問題提起 (2) 生活支援・介護予防サービスの資源開発(サービスの創出) (3) 関係者間のネットワーク化・連携・協働の体制づくり、働きかけ (4) 多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組の推進 (5) 支援やサービスの担い手となるボランティア等の養成 (6) 地域ニーズとサービスのマッチング
	現状と課題	「生活支援コーディネーター」という新たな仕組みの導入となるため、十分な周知活動をおこなうとともに、地域住民に対し、身近な地域における支えあいの体制が構築されるよう働きかけていく必要がある。

重点課題に対する成果と課題

成果	生活支援コーディネーターの地域ニーズの分析から、買い物支援ニーズの把握につながり、民間事業者による移動販売車の導入につながった
課題	市民ニーズの中には、介護保険制度では対応できないものもあり、今後は市民同士の助け合いや民間事業者によるサービスの導入について、検討が必要となる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	平成27年度より市内介護・医療・福祉事業者で構成する「包括ケア会議」の下部組織として「生活支援体制整備専門部会」を運営している。本専門部会において、今後の事業運営を協議するとともに、委託先の選定を行った。委託先は恵庭市社会福祉協議会となり、29年4月より本事業運営を開始する。
H29	高齢者の生活支援サービスを行う多様な事業主体(介護サービス事業所、民間企業、NPO、社会福祉法人等)と連携し、資源開発、ネットワーク構築を行う第1層コーディネーターを設置した。(恵庭市社会福祉協議会に委託) また市民を対象に地域づくり講演会を実施した。
H30	・えにお地域づくり委員会(第1層協議体)開催。 ・第2層生活支援コーディネーターを圏域毎に配置。 ・地域づくり講演会開催 参加者140名
R1	・えにお地域づくり委員会(第1層協議体)開催。 ・第2層生活支援コーディネーターを圏域毎に配置。
R2	・えにお地域づくり委員会(第1層協議体)開催。 ・第2層生活支援コーディネーターを圏域毎に配置。
R3	・えにお地域づくり委員会(第1層協議体)開催。(コロナのため書面開催、年1回) ・第2層生活支援コーディネーターを圏域毎に配置。
R4	・えにお地域づくり委員会(第1層協議体)開催。 ・第2層生活支援コーディネーターを圏域毎に配置。
R5 (実績・予定)	・えにお地域づくり委員会(第1層協議体)開催。 ・第2層生活支援コーディネーターを圏域毎に配置。 ・第2層協議体 3ヶ所 設置(島松、柏、柏陽)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課・保健課・介護福祉課
事業番号	49

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
	Ⅳ男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
	Ⅳ-1家庭における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます
	Ⅳ-1-③男女共同参画の視点に基づいた家庭教育に関する学習機会を提供します

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
-----	-----------------------

事業概要	事業目的	国民健康保険・後期高齢者医療制度の各制度毎に実施している特定健診・特定保健指導や健康診査等の結果から、生活習慣病重症化リスクや低栄養・フレイルリスクの状況に応じて、保健事業から介護予防事業、又は、介護予防事業から保健事業への介入につなぎ、制度間・担当部署間における切れ目のない包括的支援を実施する。
	対象者	後期高齢者医療制度加入者
	内容	主に75歳以上の高齢者に対し、健康診査や保健事業・介護予防事業をとおして制度間・担当部署間における切れ目のない包括的支援を実施する。具体的事業と内容については下記事業実績・事業予定参照。
	現状と課題	低栄養防止・生活習慣病重症化予防事業、健康状態不明者への訪問相談事業、プレミアム健康度チェック事業、通いの場等におけるフレイル予防普及啓発等を実施している。令和3年度からは新たにえにわウェルカム75を実施した。

重点課題に対する成果と課題

成果	健康リスクがある対象者を選別して実施するハイスコアアプローチ事業では、必要な健康指導を行い、リスク悪化の防止を行った。対象を限定しないポピュレーションアプローチ事業では、多くの参加者に対し、健康講話等による意識付けを行った。
課題	保健事業全般に当てはまることだが、事業実施の結果として、客観的な効果の評価が難しい。客観的な数値が表出するまで長期的な事業継続が必要となる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
R2	※生活習慣病重症化予防事業 実施数 11人 健診結果から合併症や重症化リスクの高い方に対して、保健指導を行い適切な医療や生活改善につなげる。 ※低栄養・フレイル予防事業 実施数 20人 健診結果から低栄養やフレイルのリスクが高い方に対して、栄養や生活改善の支援を行うことで高齢による心身機能の低下を防ぎ、自立した生活が送れるよう支援する。 ※健康状態不明者訪問 実施数 13人 医療機関・健康診査未受診で、要支援・要介護認定を受けていない者に対し、訪問等により健康状態を把握し、必要に応じてサービスへつなぐ。 ※ミニ健康度チェック 実施数 44人 保健師・管理栄養士・歯科衛生士による健康チェック及び個別相談。

R3	ハイスコアアプローチ ※低栄養予防事業 実施数 18人 ※口腔機能低下予防事業 実施数 38人 ※糖尿病性腎症重症化予防事業 実施数 10人 ※その他生活習慣病等重症化予防事業 実施数 17人 ※健康状態不明者への支援事業 実施数 24人 ポピュレーションアプローチ ※栄養・口腔の健康教育事業 実施数 19箇所566人 ※リハビリテーション専門職による健康講話事業 実施数 12箇所214人 ※プレミアム健康度チェック事業 実施数 4箇所64人 R2「ミニ健康度チェック」から事業名を変更 ※えにわウェルカム75事業 実施数 5箇所60人 新たに75歳を迎える人を対象に、後期高齢者医療制度の概要や、75歳からの健康づくりについての講話を行う。
R4	ハイスコアアプローチ ※低栄養予防事業 実施数 45人 ※口腔機能低下予防事業 実施数 29人 ※糖尿病性腎症重症化予防事業 実施数 9人 ※その他生活習慣病等重症化予防事業 実施数 29人 ※健康状態不明者への支援事業 実施数 11人 ポピュレーションアプローチ ※歯科医師の健口教室事業 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ※栄養・口腔の健康教育事業 実施数 24箇所561人 ※リハビリテーション専門職による健康講話事業 実施数 15箇所266人 ※プレミアム健康度チェック事業 実施数 6箇所167人 ※えにわウェルカム75事業 実施数 6箇所102人 ※一体的実施シンポジウム 参加者数 352人 事業開始3年目の節目として、ゲストを招いての特別講演や恵庭市の取組の発表等を行った。
R5 (実績・予定)	ハイスコアアプローチ ※低栄養予防事業 実施見込み数 70人 ※糖尿病性腎症重症化予防事業 実施見込み数 10人 ※その他生活習慣病等重症化予防事業 実施見込み数 30人 ※健康状態不明者への支援事業 実施見込み数 10人 ※二次骨折予防事業 実施見込み数 121人 ポピュレーションアプローチ ※歯科医師の健口教室事業 実施見込み数 4箇所100人 ※栄養・口腔の健康教育事業 実施見込み数 20箇所600人 ※リハビリテーション専門職による健康講話事業 実施見込み数 16箇所320人 ※プレミアム健康度チェック事業 実施見込み数 6箇所120人 ※えにわウェルカム75事業 実施見込み数 6箇所130人

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	介護福祉課
事業番号	50

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます

事業名	シニア向けポータルサイト作成事業
-----	------------------

事業概要	事業目的	健康と社会参加に関する情報を一元的に提供することで、健康維持、増進および介護予防につながる支援の手段とする。
	対象者	シニア世代(50歳代後半から60歳代)の市民
	内容	健康、スポーツ・イベント、社会参加に関する情報および他サイトへのリンクを掲載する。また、介護・医療・年金に関する情報の市HPへのリンクも掲載する。
	現状と課題	令和2年3月に、サイト名を「えいわ百歳生活のコツ」へリニューアルコンテンツの充実と市民への周知方法の検討

重点課題に対する成果と課題

成果	高齢者が主体的に健康づくり・介護予防に取り組めるよう、健康・スポーツ等に関する情報を発信することができた。
課題	コンテンツの充実と市民への周知の強化が課題。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 ウェルネススペース えいわ(H29.3.22公開) 事業費 486千円
H29	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 ウェルネススペース えいわ 閲覧数 5,905 事業費 46千円
H30	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 ウェルネススペース えいわ 閲覧数 8,900 事業費 46千円
R1	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 ウェルネススペース えいわ 閲覧数 7,560 事業費 46千円
R2	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 ウェルネススペース えいわ(3月にサイト名を「えいわ百歳生活のコツ」へリニューアル) 閲覧数 6,241 事業費 46千円
R3	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 えいわ百歳生活のコツ 閲覧数 8,000 事業費 46千円
R4	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 えいわ百歳生活のコツ 閲覧数 5,007 事業費 46千円
R5 (実績・予定)	事業名 恵庭市シニア向けポータルサイト作成事業 サイト名 えいわ百歳生活のコツ 閲覧数 7,500 事業費 46千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	商工労働課
事業番号	51

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-①高齢社会を生き生きと健康で暮らすための施策を進めます

事業名	恵庭市シルバー人材センター事業費補助金
-----	---------------------

事業概要	事業目的	就業を援助して、高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図ることにより、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与する恵庭市シルバー人材センターの実施事業に対する助成を行う。
	対象者	恵庭市シルバー人材センター
	内容	恵庭市シルバー人材センターは、市内在住の原則60歳以上の健康で働く意欲のある方でセンターの趣旨に賛同した方を会員とするが、その会員を企業へ派遣する派遣事業と企業・家庭から作業等を請け負う、請負事業を行っており、その事業費に対して助成を行っている。
	現状と課題	高齢化社会・人口減少等による労働力不足から、高齢者の就労は人材が不足している企業等の課題解消への一助となっており、会員数や受注件数・契約金は増加傾向にある。今後は、高齢者の生きがいが多種多様となっている現代社会に合ったセンターの取り組みが必要である。

重点課題に対する成果と課題

成果	高齢者の生きがいが作りや社会参加が図られている。
課題	高齢者の生きがいが多種多様となっている現代社会に合ったセンターの取り組みが必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	H29年度(H30.3月末現在) ○請負事業 受注件数3,610件 受注金額243,843千円 ○派遣事業 受注件数144件 受注金額31,714千円 ○会員数 618名
H30	決算額:10,130,000円
R1	決算額:12,129,000円
R2	決算額:12,129,000円
R3	決算額:12,129,000円
R4	決算額:14,129,000円
R5 (実績・予定)	予算額:19,304,000円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	介護福祉課
事業番号	52

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
	Ⅳ男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
	Ⅳ-1家庭における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	Ⅲ-2-②介護を支援するための施策を進めます
	Ⅳ-1-②家事や子育て、介護は、男女が平等に共同して担う意識を醸成させます

事業名	家族介護支援事業
-----	----------

事業概要	事業目的	本事業は、在宅で高齢者を介護している家族等に交流会等の機会を提供し、介護疲れを癒し、元気回復をして貰い、介護力の持続を図ることを目的とする。
	対象者	市内に居住を有する者で、高齢者を介護している家族等
	内容	本事業は高齢者及びその家族の総合的な相談機関である、地域包括支援センターを受託する法人に委託して実施する。実施にあたり、恵庭市は万全の支援体制をとるものとする。
	現状と課題	毎年実施している中で事業自体は定着しているものの、より広く参加者を募っているよう周知を図っていく必要がある。

重点課題に対する成果と課題

成果	介護者同士の交流の機会を設けることで、レスパイトを図ることができた
課題	新規の参加者の増加を図る必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	合同交流 開催回数:4回 随時交流 開催回数:9回	参加者数:35人 参加者数:71人
H29	合同交流 開催回数:6回 随時交流 開催回数:10回	参加者数:44人 参加者数:64人
H30	合同交流会 開催回数:6回 随時交流会 開催回数:12回	参加者:66名 参加者81名
R1	合同交流会 開催回数:5回 随時交流会 開催回数:12回	参加者:47名 参加者72名
R2	合同交流会 開催回数:4回 随時交流会	参加者:41名 コロナウィルスにより開催無
R3	合同交流会 開催回数:2回 随時交流会 開催回数:5回	参加者:23名 参加者:36名
R4	合同交流会 開催回数:4回 随時交流会 開催回数:12回	参加者:42名 参加者:85名
R5 (実績・予定)	合同交流会は4回、随時交流会は12回開催予定	

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども発達支援センター
事業番号	53

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	保育所等訪問支援事業
-----	------------

事業概要	事業目的	発達に心配のある子どもや障がいのある子どもへ、1人ひとりのニーズに応じた質の高い支援を行い、保育園や幼稚園等を安定して利用できるよう支援を行う。
	対象者	保育園、幼稚園等、集団生活の場で発達支援が必要な児童。
	内容	発達支援が必要な児童の所属機関に訪問支援員が訪問し、集団生活適応のための専門的な発達支援及び、所属機関に対する支援を実施している。
	現状と課題	保育園、幼稚園等、集団生活の場で発達支援が必要な児童への専門的な発達支援の推進及び、所属機関への支援を実施している。

重点課題に対する成果と課題

成果	関係機関に訪問して発達支援を実施。対象児童への発達支援のほか、機関先スタッフに対し、助言をおこなっている。具体的な対応を伝えることで、児童の生活支援や連携の強化につながっている。支援を要望する関係機関や保護者が増えている。
課題	子ども発達支援センターに通所が困難な児童が利用するケースが多い。共働き世帯が多いことから今後も需要は増えていくと推測するが、訪問するスタッフの人数や支援回数に限りがある。需要と供給のバランスが課題となっている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	契約者数:4人 延べ利用者数:47人 事業費:481,070円
R2	契約者数:3人 延べ利用者数:49人 事業費:489,540円
R3	契約者数:3名 延べ利用数:44人 事業費:454,000円
R4	契約者数:4名 延べ利用数:70人 事業費:668,210円
R5 (実績・予定)	契約者数:3名 延べ利用数:51人 事業費:527,850円

事業管理シート【中間事業評価】

	担当課	子ども発達支援センター
	事業番号	54
＊1事業1つのシートで作成下さい		
基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり	
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備	
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます	

事業名	居宅訪問型児童発達支援事業
-----	---------------

事業概要	事業目的	障害児通所支援を利用するために外出が困難な児童に対し、児童の居宅を訪問し、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与、生活能力の向上のために必要な訓練をおこなう。
	対象者	重症心身障害児等の重度の障害児であって、児童発達支援等の障害児通所支援を受けるために外出することが困難な児童。
	内容	発達支援が必要な児童の自宅に訪問支援員が訪問し、基本的な生活動作や訓練など専門的な発達支援を実施する。
	現状と課題	平成30年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律および児童福祉法の一部を改正する法律」が施行され、厚生労働省令で定める状態にある障害児で外出が著しく困難な児童につき居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、生活能力向上のために必要な支援を実施。

重点課題に対する成果と課題

成果	過去2年間（R2～R3）は、利用契約者はなく実績は0人であった。今年度に入り、利用を希望する中に対象児童がいたため、利用契約を結び5月から1名が利用した。
課題	「市町村中核子ども発達支援センター」となり、地域への支援を重視していくことを踏まえると、この事業を担う役割がセンターと考える。対象児童が限定されるため、保健課や医療機関（医療から地域への引継ぎ）との情報共有などをおこなうなど、さらなる連携を求められる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ＊事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	契約者数：0人 延べ利用数：0人 事業費：0円
R3	契約者数：0人 延べ利用数：0人 事業費：0円
R4	契約者数：1人 延べ利用数：9人 事業費：181,730円
R5 （実績・予定）	契約者数：1人 予定利用数：24人 事業費：248,400円

事業管理シート【中間事業評価】

	担当課	子ども発達支援センター
	事業番号	55
＊1事業1つのシートで作成下さい		
基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり	
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備	
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます	

事業名	市町村中核子ども発達支援センター事業
-----	--------------------

事業概要	事業目的	発達に心配のある児童とその家族を対象に身近な地域で適切な相談支援および発達支援を受けられるよう、子どもの発達支援機能を整備する。 （北海道地域づくり総合交付金 地域づくり推進事業）
	対象者	発達に心配のある児童とその家族
	内容	○発達にかかる基本相談・評価（センター発達相談、1歳6か月児・3歳児健診発達相談） ○個別の発達支援（乳幼児発達支援教室） ○関係機関への訪問・連絡調整（巡回発達相談、発達支援推進協議会）
	現状と課題	発達に心配や遅れのある児童とその家族が、早期に適切な相談および支援を受けられるよう、北海道より同事業を実施するセンターとして指定を受け、地域での発達支援体制の整備を行っている。（平成31年2月13日北海道より市町村中核子ども発達支援センターとして認定）

重点課題に対する成果と課題

成果	早期から身近な場で相談や適切な支援を受けられるよう、発達相談および乳幼児発達支援教室を実施。また、市町村中核子ども発達支援センターとして、巡回発達相談による保育園・幼稚園・認定こども園への支援、発達支援についての関係機関職員研修等を実施することで、地域全体への支援に取り組んでいる。
課題	発達に心配のある児童とその家族に対する地域支援体制について、恵庭市発達支援協議会（子ども発達支援センター事務局）において継続的に協議していく必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ＊事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・基本相談：延べ利用数105件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数65件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数83件 ・地域子ども支援：延べ対象児童数 14人 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催1回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施1回 参加者 150名 【事業費 決算額83,581円】
H29	・基本相談：延べ利用数157件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数70件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数86件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催2回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施1回 参加者 169名 ・公開ケース会議：実施1回 参加者 92名 ・子どもの発達講座：実施1回 参加者 88名 【事業費 決算額4,412,331円】
H30	・基本相談：延べ利用数107件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数69件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数82件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催2回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施1回 参加者 187名 ・発達支援事例検討会（公開ケース会議）：実施1回 参加者 71名 【事業費 決算額4,478,595円】
R1	・基本相談：延べ利用数95件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数77件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数109件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催2回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施1回 参加者 133名 ・発達支援事例検討会（公開ケース会議）：実施1回 参加者 77名 【事業費 決算額4,519,086円】
R2	・基本相談：延べ利用数90件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数64件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数103件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催1回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施0回（コロナウイルス感染拡大予防のため中止） ・発達支援事例検討会（公開ケース会議）：実施1回 参加者 44名 【事業費 決算額336,754円】
R3	・基本相談：延べ利用数97件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数75件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数74件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催0回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施0回（コロナウイルス感染拡大予防のため中止） ・発達支援事例検討会（公開ケース会議）：実施0回（コロナウイルス感染拡大予防のため中止） 【事業費 決算額527,000円】
R4	・基本相談：延べ利用数124件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数75件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数120件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催1回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施1回 参加者 100名 ・北海道文教大学理学療法支援連携事業：実施10回 【事業費 決算額603,774円】
R5 （実績・予定）	・基本相談：延べ利用数120件 ・健診（1歳6ヶ月、3歳）：延べ利用数70件 ・乳幼児発達支援教室：延べ利用数100件 ・恵庭市発達支援推進協議会：開催2回 ・恵庭市子どもの発達講演会：実施1回 参加者 138名 ・北海道文教大学理学療法支援連携事業：年12回 ・北海道文教大学作業療法支援連携事業：年12回 【事業費 予算額772,000円】

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども発達支援センター
事業番号	56

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	相談支援事業
-----	--------

事業概要	事業目的	発達に心配のある子どもや障がいのある子どもが、一人ひとりのニーズに応じた質の高い支援を受けられる場を提供し、安心して生活できるように支援を行う。
	対象者	発達支援が必要な児童とその家族
	内容	障害福祉サービス利用にかかわる計画相談等、幅広い利用者ニーズに対する相談を実施している。
	現状と課題	平成24年9月に「恵庭市子ども相談支援室え〜る」を開設し、障害児相談支援、特定相談支援の事業所指定を受け、幅広い利用者ニーズに対する相談を実施している。

重点課題に対する成果と課題

成果	利用者が安心して生活できるような支援を受けるために、相談や利用計画作成、事業所調整等を行ない、障がい福祉サービス等の支援の円滑な利用につながっている。
課題	18歳以降の利用者がライフステージに合わせた支援を利用できるように、相談支援体制について市内2ヶ所の相談支援事業所と継続した検討を行っていく必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	計画相談(障害児、特定) 契約者数228名 延べ利用数587件 事業費(決算額):157,488円
H29	計画相談(障害児、特定) 契約者数286名 延べ利用数671件 事業費(決算額):3,897,161円
H30	計画相談(障害児、特定) 契約者数:297名 延べ利用数:662件 事業費(決算額):3,871,048円
R1	計画相談(障害児、特定) 契約者数:260名 延べ利用数:630件 事業費(決算額):3,924,000円
R2	計画相談(障害児、特定) 契約者数:297名 延べ利用数:872件 事業費(決算額):89,914円
R3	計画相談(障害児、特定) 契約者数:289名 延べ利用数:788件 事業費(決算額):31,043円
R4	計画相談(障害児、特定) 契約者数:345名 延べ利用数:973件 事業費(決算額):65,793円
R5 (実績・予定)	計画相談(障害児、特定) 契約者数:340名 延べ利用数:950件 事業費(予算額):156,000円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども発達支援センター
事業番号	57

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	児童発達支援事業
-----	----------

事業概要	事業目的	発達に心配のある子どもや障がいのある子どもが、一人ひとりのニーズに応じた質の高い支援を受けられる場を提供し、安心して生活できるように支援を行う。
	対象者	発達に心配のある、または障がいのある未就学児。
	内容	発達に心配のある、または障がいのある未就学児への基本的動作への指導、知識技能への付与、集団生活への適応訓練等を実施し、1人ひとりのニーズに応じた質の高い支援を実施している。
	現状と課題	平成24年4月の法改正により、根拠法令が「障害者自立支援法」から「児童福祉法」になり、障害児支援の強化が求められた。それに伴い、児童発達支援事業が創設され、発達支援が必要な未就学児への専門的な発達支援を推進している。

重点課題に対する成果と課題

成果	発達に心配がある子どもやその家族にとって、子育て・発達支援の拠点としての役割を果たしている。新型コロナウイルス感染症対策や、状況に合わせた支援体制で実施した。休止や欠席など影響はあったが、利用実績は前年度を若干上回る結果となった。
課題	近年、就園時期の低年齢化傾向が見られ、特に就園後や就学が近くなってきたからのニーズが利用契約数の微増につながっている。来年度以降も状況に合わせた支援体制を考え、質を担保しつつ関係機関と連携を図りながら支援を継続していく必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	契約者数:85名 延べ利用数:3,300人 事業費:18,533,761円
H29	契約者数:93名 延べ利用数:5,104人 事業費:8,715,077円
H30	契約者数:99名 延べ利用数:4,685人 事業費:9,174,595円
R1	契約者数: 106名 延べ利用数:4,826人 事業費:9,316,834円
R2	契約者数: 107名 延べ利用数:4,107人 事業費:20,739,270円
R3	契約者数: 104名 延べ利用数:3,311人 事業費:23,818,000円
R4	契約者数: 101名 延べ利用数:3,577人 事業費:26,254,400円
R5 (実績・予定)	契約者数: 100名 予定利用数: 3,960人 事業費: 25,006,633円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	子ども発達支援センター
事業番号	58

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	小児神経医による子ども発達相談
-----	-----------------

事業概要	事業目的	発達に心配のある児童や障がいのある児童及び、その保護者に対し、小児神経医による身近で気軽に相談できる場を提供し、子育てや家庭での関わり方の助言を行うとともに、医療や福祉のサービスへの橋渡しを行う。
	対象者	恵庭市に在住している0歳から15歳未満の発達に心配のある児童や障がいのある児童及び、その保護者
	内容	小児神経医による子どもの状態像の確認及び、保護者への問診を行ない、子育てや家庭での関わり方等の助言を行う。また、医療機関や福祉のサービスの利用についてのアドバイスを行う。
	現状と課題	平成28年4月より小児神経医による発達についての相談事業を実施。市ホームページ、広報えにわへの掲載やパンフレットを庁内や関係機関に配布し、周知している。

重点課題に対する成果と課題

成果	身近な場で専門医から子どもの発達についてのアドバイスを受けることができる事業として利用者より評価を得ている。また、医師からの指示で、同行セラピスト(作業療法士)による運動発達の相談・評価を実施することで、専門的視点からの日常の家庭での関わりや発達支援に活かすことができている。
課題	利用について社会情勢に合わせた継続的な周知を図っていく。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	小児神経医による相談 延べ利用数:21件 事業費(決算額):633,840円
H29	小児神経医による相談 延べ利用数:21件 事業費(決算額):633,840円
H30	小児神経医による相談 延べ利用数:33件 事業費(決算額):777,940円
R1	小児神経医による相談 延べ利用数 22件 同行セラピストによる支援 延べ利用数 12件 開催回数:12回 事業費(決算額):896,400円
R2	小児神経医による相談 延べ利用数 21件 同行セラピストによる支援 延べ利用数 25件 開催回数:小児神経医 11回(コロナウイルス感染拡大予防のため令和2年5月中止) セラピスト 12回 事業費(決算額):857,040円
R3	小児神経医による相談 延べ利用数 20件 同行セラピストによる支援 延べ利用数 24件 開催回数:小児神経医 11回(コロナウイルスの影響により令和3年1月中止) セラピスト 12回 事業費(決算額):849,540円
R4	小児神経医による相談 延べ利用数 19件 同行セラピストによる支援 延べ利用数 22件 開催回数:小児神経医 11回(コロナウイルスの影響により令和4年8月中止) セラピスト 12回 事業費(決算額):849,540円
R5 (実績・予定)	小児神経医による相談 延べ利用予定数 24件 同行セラピストによる支援 延べ利用数予定 24件 開催回数:小児神経医 12回 セラピスト 12回 事業費(予算額):908,000円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	59

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	障がい児通所支援サービス事業
-----	----------------

事業概要	事業目的	障がいや発達に心配のある児童の発達支援
	対象者	障がいや発達に心配のある児童
	内容	児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 利用者の支給決定
	現状と課題	利用者数・事業所数の増加により今後も給付費の増加が見込まれる。障がい児福祉計画に基づき体制確保に努める。

重点課題に対する成果と課題

成果	R1年度7ヵ所⇒R2年度10ヵ所⇒R3年度11ヵ所⇒R4年度12ヵ所⇒R5年度13ヵ所と事業所の増加により、市内でのサービス提供体制が向上し、利用者の利便性の向上に繋がっている。
課題	利用者数・事業所数の増加により今後も給付費の増加が見込まれる。 R3年度末で重症心に対応する事業所が1ヵ所閉鎖したため、選択肢が減少した。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎障がい児給付費 児童発達支援:346件、医療型児童発達支援:0件、放課後等デイサービス:1,185件、保育所等訪問支援:1件 事業費:150,220千円
H29	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:5,711回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:15,541回、保育所等訪問支援:23回 事業費:174,530千円
H30	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:5,130回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:15,925回、保育所等訪問支援:26回 事業費:192,731千円
R1	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:6,143回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:17,249回、保育所等訪問支援:47回 事業費:222,089千円
R2	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:5,418回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:18,060回、保育所等訪問支援:50回 事業費:230,273千円
R3	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:6,618回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:21,417回、保育所等訪問支援:45回 事業費:284,798千円
R4	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:8,407回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:25,092回、保育所等訪問支援:86回 居宅訪問型児童発達支援:17回 事業費:347,714千円
R5 (実績・予定)	◎障がい児給付費 ※延べ利用数に変更 児童発達支援:13,700回、医療型児童発達支援:0回、放課後等デイサービス:35,000回、保育所等訪問支援:90回 居宅訪問型児童発達支援:3回 事業費:525,087千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	60

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	相談支援事業
-----	--------

事業概要	事業目的	障がい児の発達の支援や適切なサービス利用につなげる
	対象者	障がい児通所支援を申請した障害児
	内容	障がい児通所給付決定に関わる障がい児通所支援事業者との連絡調整を行うとともに、障がい児通所支援の種類及び内容等を記載した障がい児支援利用計画を作成する
	現状と課題	市内の相談支援事業所は市内3事業所(児童は主に子ども相談支援室えへんに集中)

重点課題に対する成果と課題

成果	障がい児通所給付決定にかかる計画相談事業所の利用は100%となっており、障がい児の発達や支援の適切なサービスの利用に繋がっている。
課題	利用者数の増加により今後も事業費の増加が見込まれる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎障がい児相談支援費 計画相談:222件、モニタリング:299件 事業費:7,724千円
H29	◎障がい児相談支援費 計画相談:259件、モニタリング:324件 事業費:8,660千円
H30	◎障がい児相談支援費 計画相談:275件、モニタリング:315件 事業費:8,832千円
R1	◎障がい児相談支援費 計画相談:281件、モニタリング:442件 事業費:10,696千円
R2	◎障がい児相談支援費 計画相談:312件、モニタリング:445件 事業費:11,633千円
R3	◎障がい児相談支援費 計画相談:432件、モニタリング:286件 事業費:11,540千円
R4	◎障がい児相談支援費 計画相談:395件、モニタリング:516件 事業費:14,265千円
R5 (実績・予定)	◎障がい児相談支援費 計画相談:611件、モニタリング:713件 事業費:20,964千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	61

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	地域生活支援事業
-----	----------

事業概要	事業目的	障がい児の福祉の向上を図る
	対象者	障害者総合支援法第4条に基づく障がい児
	内容	・移動支援事業:社会生活上必要不可欠であるための外出、余暇活動等の社会参加のための外出において移動の介護を行う者を派遣する事業 ・日中一時支援事業:日中における活動の場を確保する事業 ・訪問入浴サービス事業:重度の身体障がいの方に居宅を訪問し、浴槽等を提供することによって行う事業
	現状と課題	医療的ケアを必要とする障がい児を受け入れる事業所が少ない

重点課題に対する成果と課題

成果	計画相談事業所で作成された計画案をもとに、利用者の実情に応じたサービスを提供することで、適切なサービスの提供に繋がっている。
課題	医療的ケアを必要とする障がい児を受け入れる事業所が少ない。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎地域生活支援事業 移動支援事業:1,303件、日中一時支援事業:89件、日中一時支援事業(重度心身入浴型):118件、 訪問入浴サービス事業:0件 事業費:7,611千円
H29	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:1,028回、日中一時支援事業:108回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):225回、 訪問入浴サービス事業:3回 事業費:7,573千円
H30	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:1,064回、日中一時支援事業:77回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):233回、 訪問入浴サービス事業:27回 事業費:8,488千円
R1	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:866回、日中一時支援事業:93回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):211回、 訪問入浴サービス事業:22回 事業費:7,131千円
R2	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:717回、日中一時支援事業:58回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):102回、 訪問入浴サービス事業:25回 事業費:4,810千円
R3	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:883回、日中一時支援事業:27回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):58回、 訪問入浴サービス事業:8回 事業費:4,608千円
R4	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:1,073回、日中一時支援事業:30回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):44回、 訪問入浴サービス事業:0回 事業費:5,031千円
R5 (実績・予定)	◎地域生活支援事業 ※延べ利用数に変更 移動支援事業:1,020回、日中一時支援事業:30回、日中一時支援事業(重度心身入浴型):44回、 訪問入浴サービス事業:0回 事業費:4,982千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	障がい福祉課
事業番号	62

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	障がい者総合相談支援センターの設置運営
-----	---------------------

事業概要	事業目的	障がい者にとって地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、相談しやすい窓口体制の構築及び身近な地域における就労支援等を行い、障がい者が地域で自立した生活が送れるように支援することを目的とする。
	対象者	市内に居住する障がい者または保護者・家族等
	内容	障がい種別や各種ニーズに対応できる総合的な相談支援及び専門的な相談支援、住宅入居等支援、就労相談・就労支援、障がい者虐待防止に関する相談を総合的に実施している。
	現状と課題	今後は、多様化する個々のニーズや障がいの特性に対応できる相談窓口の充実が必要。

重点課題に対する成果と課題

成果	個々のニーズに対応した相談支援を実施し、令和4年度の相談総件数は4,923件となった。
課題	令和2年度に実施した障がい者向けアンケート調査結果では、希望の暮らしをするために必要な支援として相談対応等の充実が31.5%となっていることから、今後も更なる相談対応等を充実する取組が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間H28.4.1～H29.3.31） 31,469,000円
H29	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間H29.4.1～H30.3.31） 31,469,000円
H30	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間H30.4.1～H31.3.31） 決算額 31,469,000円
R1	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間H31.4.1～R2.3.31） 決算額 31,594,000円
R2	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間R2.4.1～R3.3.31） 決算額 31,594,000円
R3	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間R3.4.1～R4.3.31） 決算額 31,594,000円
R4	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間R4.4.1～R5.3.31） 決算額 31,594,000円
R5 （実績・予定）	恵庭市障がい者総合相談支援センター運営委託料（委託期間R5.4.1～R6.3.31） 委託費予算額 31,594,000円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	障がい福祉課
事業番号	63

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	障がい理解促進・普及啓発事業
-----	----------------

事業概要	事業目的	障がいのある人の暮らしづらさの解消のため、障がいや障がいのある人に対する理解を促進するとともに、障がいのある人の権利擁護や障がい者の虐待防止を図ることを目的とする。
	対象者	一般市民、市内障がい福祉施設・事業所等
	内容	障がいのある人に対する理解を深めるために、講演会などのイベントの開催、講習会などの研修等各種啓発活動を実施している。
	現状と課題	令和4年度は発達障がいの理解促進のため講演会を開催し、普及啓発活動を実施した。今後も更なる障がい者理解を推進する取り組みが必要。

重点課題に対する成果と課題

成果	令和4年度に実施した理解促進講演会におけるアンケート調査では、講演会参加者の内、障がいに対する理解を深められた、と回答した人の割合は94%となった。
課題	令和2年度に実施した障がい者向けアンケート調査結果では、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがある人の割合が39.5%となっていることから、今後も更なる障がい者理解を推進する取り組みが必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・障がい者差別解消法講演会 H28.10.19開催 参加人数153名 事業費40,800円 ・障がい者差別解消法パンフレット作成 事業費49,711円 ・障がい者差別解消法職員対応要領説明会 事業費6,350円 ・職員手話講座 事業費7,150円
H29	・障がい者差別解消法講演会 H30.2.18開催 参加人数65名 事業費44,975円 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会 H30.3.27に2回開催 事業費3,675円
H30	・障がい者差別解消法講演会 決算額 40,675円 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会
R1	・障がい者差別解消法普及啓発用ポケットティッシュ配布 1,000個/39,270円 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会（新人職員研修会 20名・新任管理職員研修会 ①7名②6名）全3回 ・職員向け手話講座 全20回/128名参加
R2	決算額 48,643円 ・市民向けイベント（理解促進講演会 R2.11.26開催 参加人数20名） ・手話出前講座 0件 ・学校教育における手話への理解促進に対する取組（恵庭中学校・恵み野小学校・恵み野中学校） 全3回実施 ・救急要請対応手話講習会 全4回実施 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会（新人職員研修会・新任管理職員研修会） 全2回 ・職員向け手話講座 全17回

R3	決算額113,095円 ・市民向けイベント(理解促進講演会R3.11.19開催 参加人数34名) ・手話出前講座(企業、一般向け) 0件 ・学校教育における手話への理解促進に対する取組(恵庭中学校、島松小学校、恵み野中学校)全3回 ・救急要請対応手話講習会 全2回実施 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会(新人職員研修会・新任管理職員研修会) 全2回 ・職員向け手話講座 全19回
R4	決算額 103,343円 ・市民向けイベント(理解促進講演会R4.11.4開催 参加人数54名) ・手話出前講座(企業、一般向け) 1件 ・学校教育における手話への理解促進に対する取組(恵庭中学校、島松小学校、恵み野中学校)全3回 ・救急要請対応手話講習会 全2回実施 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会(新人職員研修会・新任管理職員研修会) 全2回 ・職員向け手話講座 全15回
R5 (実績・予定)	予算額212千円 ・市民向けイベント(理解促進講演会) ・手話出前講座(企業、一般向け) ・学校教育における手話への理解促進に対する取組 ・救急要請対応手話講習会 ・職員向け障がい者差別解消法職員講習会(新人職員研修会・新任管理職員研修会) ・職員向け手話講座 全15回予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	障がい福祉課
事業番号	64

* 1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-2高齢者や障がい者等が生き生きと安心して暮らせる環境の整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	障がい者就労支援事業
-----	------------

事業概要	事業目的	関係機関との連携強化や情報の共有化を図り、障がいのある人の雇用の拡大に向けた周知・啓発を目的とする。
	対象者	障がい者等・市内企業等・市内農業者等
	内容	障がい者雇用の促進、就労継続支援事業所の受注拡大のための優先調達の推進を実施。また就労機会の拡大を目指し、農福連携事業を実施している。
	現状と課題	農福連携事業を継続し、今後も雇用の促進と農福連携事業の充実を目指すことが必要。

重点課題に対する成果と課題

成果	令和4年度は収穫体験会を2回実施し、17名の参加となったほか、新たな作業事例を取りまとめた農福連携成功事例集(追加版)を発行し、農福連携の普及・啓発を図った。
課題	農福連携事業を継続し、今後も雇用の促進と農福連携事業の充実を目指すことが必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・恵庭市農福連携ネットワーク会議 H28.9.15開催 参加人数20名 H29.3.23開催 参加人数26人 事業費10,000円 ・農福連携先進地視察 H28.11.17開催 参加人数18名 事業費78,840円 ・恵庭市農福連携シンポジウム H29.2.1開催 参加人数198名 事業費103,165円
H29	・恵庭市農福連携ネットワーク会議 H30.2.16開催 参加人数28名 H30.3.26開催 参加人数25名 事業費3,150円
H30	・恵庭市農福連携ネットワーク会議 2回開催 決算額 0円 ・恵庭市農福連携シンポジウム 2回開催 決算額 99,170円
R1	農福連携ネットワーク会議 全2回開催、24名参加(参加人数第1回11名、第2回13名) 農福連携収穫体験会 全3回開催(参加人数第1回9名、第2回6名、第3回6名) 農福連携成功事例集及びビーマン収穫に関する研究冊子各200部作成(決算額21,864円)
R2	決算額:81,329円 農福連携ネットワーク会議 1回開催 農福連携収穫体験会 全5回開催(参加人数第1回5名、第2回4名、第3回34名、第4回3名、第5回5名) 農福連携成功事例集及び恵庭市農福連携ネットワーク冊子各200部作成 恵庭市農福連携シンポジウム 1回開催
R3	決算額:70,570円 農福連携ネットワーク会議 1回開催 農福連携収穫体験会 全3回開催(参加人数第1回12名、第2回6名、第3回3名) 農福連携成功事例集(追加版)作成(関係機関へデータ送付) 恵庭市農福連携研修会 1回開催

R4	予算額:75,314円 農福連携ネットワーク会議 1回開催 農福連携収穫体験会 全2回開催(参加人数第1回9名、第2回8名) 農福連携成功事例集(追加版)作成(関係機関へデータ送付) 恵庭市農福連携研修会 1回開催
R5 (実績・予定)	予算額:119千円 農福連携ネットワーク会議 1回開催予定 農福連携収穫体験会 農福連携成功事例集(追加版)作成 恵庭市農福連携研修会 1回開催予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課
事業番号	65

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-1安心して子育てができる環境整備
取り組み	Ⅲ-2-③障がい者の生活支援と住みよいまちづくりを進めます

事業名	重度心身障がい者医療費の助成
-----	----------------

事業概要	事業目的	重度心身障がい者への医療費自己負担額に対する助成
	対象者	身体障害者手帳1～3級をお持ちの方、療育手帳AまたはBで医師より「重度」と診断された方、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方
	内容	住民税非課税の場合、初診時一部負担のみの負担。 住民税課税世帯の場合、医療費の1割または2割分を負担。
	現状と課題	受給者数や助成額については大きな変動はないが、身障手帳3級の外部障害は市の単独事業であり北海道からの助成は無いため、財源の確保が課題である。

重点課題に対する成果と課題

成果	重度心身障がい者の医療費に係る経済的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図ることともに医療費助成を行うことにより、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与している。
課題	身障手帳3級の外部障害の方については市単独で実施している事業のため、北海道からの補助(1/2)が無く、財源の確保が課題である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。		
H28	○医療費の助成 対象者:身体障がい1～2級、3級内部 身体障がい3級外部 知的障がい 精神障がい 事業費(扶助費) 129,749千円	1,100人 330人 203人 10人	
H29	○医療費の助成 対象者:身体障がい1～2級、3級内部 身体障がい3級外部 知的障がい 精神障がい 事業費(扶助費) 132,699千円	1,109人 311人 202人 13人	
H30	○医療費の助成 対象者:身体障がい1～2級、3級内部 身体障がい3級外部 知的障がい 精神障がい 事業費(扶助費) 119,639千円	1,108人 307人 202人 18人	
R1	○医療費の助成 対象者:身体障がい1～2級、3級内部 身体障がい3級外部 知的障がい 精神障がい 事業費(扶助費) 115,689千円	1,103人 289人 202人 19人	
R2	○医療費の助成 対象者:身体障がい1～2級、3級内部 身体障がい3級外部 知的障がい 精神障がい 事業費(扶助費) 104,747千円	1,068人 285人 199人 19人	

R3	○医療費の助成 対象者:身体障がいⅰⅰ～2級、3級内部 身体障がいⅰⅰ3級外部 知的障がいⅰⅰ 精神障がいⅰⅰ 事業費(扶助費) 105,769千円	1,083人 282人 198人 18人
R4	○医療費の助成 対象者:身体障がいⅰⅰ～2級、3級内部 身体障がいⅰⅰ3級外部 知的障がいⅰⅰ 精神障がいⅰⅰ 事業費(扶助費) 102,695千円	1,056人 266人 206人 18人
R5 (実績・予定)	○医療費の助成 対象者:身体障がいⅰⅰ～2級、3級内部 身体障がいⅰⅰ3級外部 知的障がいⅰⅰ 精神障がいⅰⅰ 事業費(扶助費) 110,116千円	1,056人 266人 206人 18人

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	生活環境課
事業番号	66

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	Ⅲ-3地域社会における男女共同参画の推進
取り組み	Ⅲ-3-①地域コミュニティ活動における男女平等と男女が共に参加することを促進します

事業名	市民活動センター推進事業
-----	--------------

事業概要	事業目的	市民団体の支援・活動の拠点として、市民活動の活性化による市民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的とする。
	対象者	市民、町内会・自治会、市民活動団体、NPOなど
	内容	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会と市の協働により①情報の収集・発信機能、②相談機能、③コーディネート機能、④人材育成・研修機能、⑤活動支援機能、⑥支援品貸出機能を主な事業として実施
	現状と課題	市民活動センター運営協議会がH30年12月にNPO法人化されたことから、市民活動をされている団体の活動支援や活動拠点となる業務を同法人に業務委託し、協働のまちづくりの推進を図っている。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民活動センターを整備したことにより、市民活動団体の活動拠点となり施設を気軽に借りることが出来るようになった。また、運営協議会がNPO法人になったことにより、組織の安定性及び社会的信用性の確立を図ることができた。
課題	知恵ネットに登録している団体や会員の加入拡大を図ると共に、市民活動センター情報誌を通した情報発信の更なる強化に努め市民活動により関心を持ってもらえるようにする。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	会員数 101団体個人(H29.3.31現在) 事業に要する費用:4,972千円、施設の維持管理に要する費用:6,235千円 主な主催・共催事業:ツナガルフェスタ6月開催 約300名参加、カンタン！チラシ作成講座共催 24名参加 会議等:総会33名、全員会議34名出席、役員会8回開催(役員構成:男性7名、女性4名)
H29	事業に要する費用:6,276千円 施設の維持管理に要する費用:5,410千円 主な主催事業:市民活動センターまつり～ツナガルフェスタ2017～7月開催 約300名参加 協賛企業10社 会議等:総会39名、全員会議35名及び役員会8回開催(役員構成:男性7名、女性4名) 各種問合せ 2,980件
H30	事業に要する費用:6,308千円 施設の維持管理に要する費用:82,364千円(民間施設 緑と語らいの広場えにあすに移転(H30.4月より) 主な主催事業:市民活動センターまつり～ツナガルフェスタ・イルミネーション点灯式12月開催、えいわ知恵ネットホームページリニューアル 会議等:総会、NPO法人設立総会(全員会議を兼ねる)及び役員会の開催
R1	事業に要する費用:97,089千円 ○R2.3.31時点での会員数:132(団体78 個人17 企業37) ○機器貸出:242件 ○印刷利用:517件 ○ロッカー:8件 ○生活情報誌「ちゃん」とを活用した情報発信
R2	事業に要する費用:99,465千円 ○R3.3.31時点での会員数:118(団体72 個人14 企業32) 市民活動センター情報誌の発行 作成部数:月1回/5,000部(町内会2,000部 指定拠点3,000部) 設置場所:(本庁・地区会館・駅・市内公共施設等)
R3	事業に要する費用:100,552千円 ○R4.3.31時点での会員数:118(団体70 個人15 企業33) 市民活動センター情報誌の発行 作成部数:月1回/5,000部(町内会2,000部 指定拠点3,000部) 設置場所:(本庁・地区会館・駅・市内公共施設等)
R4	事業に要する費用:102,143千円 ○R5.3.31時点での会員数:114(団体72 個人12 企業30) 市民活動センター情報誌の発行 作成部数:月1回/5,000部(町内会2,000部 指定拠点3,000部) 設置場所:(本庁・地区会館・駅・市内公共施設等)
R5 (実績・予定)	事業に要する費用:104,301千円 市民活動センター情報誌の発行 作成部数:月1回/5,000部(町内会2,000部 指定拠点3,000部) 設置場所:(本庁・地区会館・駅・市内公共施設等)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	基地・防災課
事業番号	67

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	4 防災分野・防災現場への参画推進
取り組み	① 防災意識向上の学習機会を提供します

事業名	防災環境の充実
-----	---------

事業概要	事業目的	出前講座の開催
	対象者	市民
	内容	大規模災害が発生した際に、被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」が重要である。そのため、出前講座を開催し、恵庭市に起こりうる災害や平常時からの備えについて、知識の普及及び防災意識の向上を図る。
	現状と課題	女性や、高齢者、障がい者等の団体から依頼があり、今後も引き続き実施していく

重点課題に対する成果と課題

成果	平常時から、市民に対し、防災対策等の啓発に努めており、防災意識の向上に貢献している。
課題	自助の観点により、個人が、平常時にどれだけ災害への備えができているか。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	【開催実績】 22団体延べ491名
H29	【開催実績】 28団体延べ906名
H30	【開催実績】 36団体約延べ1,161名
R1	【開催実績】 31団体約延べ801名
R2	【開催実績】 9団体約延べ421名
R3	【開催予定】 12団体役延べ390名
R4	【開催予定】 34団体役延べ1,900名
R5 (実績・予定)	【開催予定】 18団体役延べ900名

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	基地・防災課
事業番号	68

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	4 防災分野・防災現場への参画推進
取り組み	① 防災意識向上の学習機会を提供します

事業名	自主防災組織の育成支援
-----	-------------

事業概要	事業目的	自主防災組織等の活動支援
	対象者	町内会・自治会、自主防災組織等
	内容	大規模な災害が発生した場合には、個人やその家族だけの対応では限界があるため、地域防災力の要となる住民同士の結びつきが大変重要となる。恵庭市では、地域住民による自主防災組織の組織率が全国に比べ低い状況にあることから、自主防災組織設立に要する費用や、その後の活動のための資機材の整備及び訓練・研修会の実施等に要する費用を助成し、自主防災組織の組織率向上及びその活動の活性化を図る。
	現状と課題	自主防災組織の組織率向上及び活動活性化の推進

重点課題に対する成果と課題

成果	啓発の成果により、自主防災組織率は全国平均(84.1%)を上回る86.9% (令和5年3月末時点)となっている。
課題	各町内会等における防災訓練等活動のさらなる活性化。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	【組織率】 29団体 66.7%※平成29年3月末現在 【自主防災組織等活動支援金事業】 1,485千円/19団体 防災活動支援(ハード)1,200千円/4団体 防災活動支援(ソフト)198千円/10団体 設立準備支援 87千円/5団体
H29	【組織率】 31団体 68.8%※平成29年3月末現在 【自主防災組織等活動支援金事業】 3,338千円/21団体 防災活動支援(ハード)2,996千円/10団体 防災活動支援(ソフト)255千円/13団体 設立準備支援 57千円/3団体 倉庫設置支援 30千円/2団体
H30	【組織率】 39団体 83.0%※平成30年4月現在 【自主防災組織等活動支援金事業】 3,383千円/30団体 防災活動支援(ハード)3,000千円/10団体 防災活動支援(ソフト)300千円/17団体 設立準備支援 60千円/0団体 倉庫設置支援 60千円/3団体

R1	【組織率】 39団体 86.9%※令和2年6月現在 【自主防災組織等活動支援金事業】(決算額/補助団体) 全体額1,574千円 防災活動支援(ハード) 1,199千円/4団体 防災活動支援(ソフト) 360千円/18団体 設立準備支援 実績なし 倉庫設置支援 15千円/ 1団体
R2	【組織率】 42団体 86.9%※令和2年6月現在 【自主防災組織等活動支援金事業】(申請額/補助団体) 全体額1,745千円 防災活動支援(ハード) 1,500千円/5団体 防災活動支援(ソフト) 215千円/12団体 設立準備支援 実績なし 倉庫設置支援 30千円/ 2団体
R3	【組織率】 42団体 86.9%※令和4年3月現在 【自主防災組織等活動支援金事業】(申請額/補助団体) 全体額507千円 防災活動支援(ハード) 300千円/1団体 防災活動支援(ソフト) 207千円/12団体 設立準備支援 実績なし 倉庫設置支援 実績なし
R4	【組織率】 42団体 86.9%※令和5年3月現在 【自主防災組織等活動支援金事業】(申請額/補助団体) 全体額282千円 防災活動支援(ハード) 0千円/0団体 防災活動支援(ソフト) 273千円/15団体 設立準備支援 9千円/1団体 倉庫設置支援 0千円/0団体
R5 (実績・予定)	【組織率】 42団体 86.9%※令和5年3月現在 【自主防災組織等活動支援金事業】(申請額/補助団体) 全体額500千円 防災活動支援(ハード) 300千円/1団体 防災活動支援(ソフト) 200千円/10団体 設立準備支援 0千円/0団体 倉庫設置支援 0千円/0団体

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	基地・防災課
事業番号	69

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	4 防災分野・防災現場への参画推進
取り組み	① 防災意識向上の学習機会を提供します

事業名	防災学習会の開催
-----	----------

事業概要	事業目的	防災学習会の開催
	対象者	町内会・自治会、自主防災組織役員、地域防災マスター、市民
	内容	小学校区に居住する地域住民や児童が参加し、対象の小学校や地域に特化した防災学習会を開催している。
	現状と課題	女性や児童の参加を促す

重点課題に対する成果と課題

成果	平常時から、市民に対し、防災対策等の啓発に努めており、防災意識の向上に貢献している。
課題	さらなる啓発及び、実際の災害の際に、避難所等自主的に運営ができるような体制を、平常時に整える。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	【恵み野小学校 防災学習会】 平成29年2月25日(土) 参加者36名 講師 安田 睦子氏 DIG,HUG等
H29	【柏陽中学校 防災学習会】 ①平成29年9月26日(火) 参加者31名 ②平成29年11月11日(土) 参加者22名 ③平成30年2月17日(土) 参加者30名 講師 安田 睦子氏 DIG,HUG等
H30	【恵庭中学校 防災学習会】 平成30年10月・12月・平成31年2月実施(計3回) 参加者延べ76名 講師 安田 睦子氏 HUG等
R1	開催予定回数3回、参加人数80人 島松小学校版の避難所運営マニュアルの完成 事業費:90千円

R2	開催回数2回、参加人数68人 島松公民館版の避難所運営マニュアルの完成。島松公民館において避難所開設運営訓練の実施。
R3	開催回数5回、参加人数90人 柏小学校、恵み野小学校版の避難所運営マニュアルの作成。
R4	開催回数1回、参加人数7人 恵み野旭小学校版の避難所運営マニュアルの作成。
R5 (実績・予定)	予定回数3回、予定人数90人 恵み野旭小学校版の避難所運営マニュアルの作成。

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	基地・防災課
事業番号	70

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり
重点課題	4 防災分野・防災現場への参画推進
取り組み	② 防災分野での女性人材の登用を進めます

事業名	地域防災計画の推進
-----	-----------

事業概要	事業目的	恵庭市防災会議の開催及び地域防災計画の修正
	対象者	市民及び恵庭市防災会議委員
	内容	恵庭市防災会議は、恵庭市の地域にかかる防災に関し、予防、応急及び復旧等の災害対策を実施するため、恵庭市地域防災計画を作成している。また、恵庭市地域防災計画には、女性や高齢者、障がい者など地域における生活者の視点を反映させるため、恵庭市防災会議の委員には地域団体や女性団体の代表者が参画している。
	現状と課題	女性や高齢者、障がい者など様々な視点を取り入れた計画の修正

重点課題に対する成果と課題

成果	恵庭市防災会議には女性団体の代表者が委員として参加しており、修正の観点として、女性等の視点を取り入れている。
課題	さらなる防災意識の向上に繋がることが今後の課題。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	平成28年11月14日開催/恵庭市地域防災計画の修正
H29	平成30年2月15日開催/恵庭市地域防災計画の修正
H30	平成31年2月開催/恵庭市地域防災計画の修正
R1	○委員数 32名 ○R1.8.6 恵庭市防災会議開催 22名出席 ○R2.2.12 恵庭市防災会議開催 26名出席 事業費:85千円
R2	○委員数 32名 ○R3.3.8 恵庭市防災会議開催 書面開催 事業費:12千円
R3	○委員数 32名 ○R4.3.11 恵庭市防災会議開催 書面開催 事業費:36千円
R4	○委員数 32名 ○R5.3.20 恵庭市防災会議開催 事業費:24千円
R5 (実績・予定)	○開催予定回数 2回 ○委員数 32名 事業費:48千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	教育総務課
事業番号	71

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-2学校における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-2-①男女共同参画における教職員の研修機会を充実させます

事業名	教職員の女性管理職登用
-----	-------------

事業概要	事業目的	女性教職員の管理職への登用を促進する
	対象者	市内小中学校の女性教職員
	内容	女性教職員の管理職への登用を促進するため、任命権者である北海道教育委員会や市内校長会等と連携して人材の発掘等に努める。
	現状と課題	平成30年度は女性管理職が5名(校長2名・教頭3名)となり、28年度・29年度の3名に比べ増加した。今後も、任命権者である北海道教育委員会や恵庭市校長会等と連携して、人材の発掘等に努めていきたい。

重点課題に対する成果と課題

成果	令和4年度女性管理職人数/校長1名(小1名) 教頭2名(中2名)
課題	令和4年度は、令和3年度同様、女性管理職が3名(校長1名・教頭2名)である。任命権者である北海道教育委員会や恵庭市校長会等と連携して、人材の発掘等に努める。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	平成28年度女性管理職人数/校長2名(小・中各1名) 教頭1名(中学)
H29	平成29年度女性管理職人数/校長2名(小・中各1名) 教頭1名(小学)
H30	平成30年度女性管理職人数/校長2名(小・中各1名) 教頭3名(小2名、中1名)
R1	令和元年度女性管理職人数/校長2名(小・中各1名) 教頭2名(小・中各1名)
R2	令和2年度女性管理職人数/校長2名(小・中各1名) 教頭1名(小1名)
R3	令和3年度女性管理職人数/校長2名(小・中各1名) 教頭1名(小1名)
R4	令和4年度女性管理職人数/校長1名(小1名) 教頭2名(中2名)
R5 (実績・予定)	令和5年度女性管理職人数/校長2名(小2名) 教頭1名(中1名)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	教育総務課
事業番号	72

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-2学校における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-2-③男女共同参画の視点に基づいた学校運営を進めます

事業名	社会科副読本の発行
-----	-----------

事業概要	事業目的	恵庭市が取組む男女が平等に共に歩むまちづくりへの興味と関心を高める
	対象者	小学校第3・第4学年の児童と教職員
	内容	恵庭市の歴史や産業、暮らし等を学ぶ副読本に「恵庭市の男女共同参画」を掲載することで、男女が平等に共に歩むまちづくりへの興味と関心を高める。
	現状と課題	平成29年度から使用している改編13訂版より、男女共同参画の内容が掲載されている。令和2年度から14訂版を使用しており、次回の改訂(改編14訂版)は令和6年度を予定。

重点課題に対する成果と課題

成果	平成29年度から使用している改編13訂版より、男女共同参画の内容が掲載されている。14訂版においても引き続き男女共同参画の内容を掲載。
課題	引き続き14訂版の修正内容を検討し、改編14訂版発行への準備を進める。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	次年度配布版の印刷製本費2,852千円(2,200冊)
H29	◎小学校社会科副読本「のびゆく恵庭」の発行 ※H28年度に現行版の使用期間(H31年度まで)の必要部数印刷済みにつきH29は新規発行なし ※H29年度は改訂作業年でないため編集委員会のみ実施(委員11名、3回) 決算額:編集関係(謝金等)59千円
H30	◎小学校社会科副読本「のびゆく恵庭」の発行 ※H28年度に現行版の使用期間(H31年度まで)の必要部数印刷済みにつきH30は新規発行予定なし ※H30年度は編集委員会および改訂作業の実施予定(委員11名、5回) 予算額:編集関係(謝金・取材旅費等)298千円
R1	◎小学校社会科副読本「のびゆく恵庭」の発行 ※R2以降使用分の14訂版をR1に発行 ※R1年度は編集委員会および改訂作業を実施予定(委員16名、8回) 事業費:編集関係(謝金・取材旅費等)3,520千円
R2	R2社会科副読本編集委員会を経てワークシートを作成(委員11名、4回) 事業費:329千円
R3	R3社会科副読本編集委員会を経て14訂版の修正内容を確定し、R4～R5配布分の増刷を実施(委員10名、2回※全て書面会議) 事業費:2,940千円
R4	R4社会科副読本編集委員会を経て、本書のデータや資料のチェックを行い、R5年度の印刷(R6～R7年度配布分)に向けた修正作業を行う予定(委員10名、4回) 事業費:41千円
R5 (実績・予定)	R5社会科副読本編集委員会を経て、改編14訂版のデータや資料・ワークシートの修正作業を行い、R6～R7年度配布分の印刷を行う予定(委員11名、4回) 事業費見込:3,226千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	教育総務課
事業番号	73

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-2学校における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-2-③男女共同参画の視点に基づいた学校運営を進めます

事業名	中学「社会科」
-----	---------

事業概要	事業目的	男女が共同して家庭を築いていくという意識を育てる教育を実践する
	対象者	中学校の生徒
	内容	中学「社会科」の公民分野で、個人の尊厳と両性の本質的平等に気づかせる学習を行うことで、男女共同参画への意識を涵養する。
	現状と課題	現学習指導要領(R3完全実施)で社会科の公民分野で両性の本質的平等について学習することが定められている。

重点課題に対する成果と課題

成果	現学習指導要領で定められているとおり、各学校の社会科の公民分野で両性の本質的平等についての学習を実践した。
課題	両性の本質的平等について引き続き学習を行い、男女共同参画への意識を涵養する。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	(各学校の社会科授業で実践)
H29	(各学校の社会科授業で実践)
H30	(各学校の社会科授業で実践)
R1	(各学校の社会科授業で実践)
R2	(各学校の社会科授業で実践)
R3	(各学校の社会科授業で実践)
R4	(各学校の社会科授業で実践)
R5 (実績・予定)	(各学校の社会科授業で実践)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	教育総務課
事業番号	74

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実 V生涯にわたる健康の支援
重点課題	IV-2学校における男女共同参画教育・学習の推進 V-1性と生殖について、その健康と自由に選択する権利の普及
取り組み	IV-2-③男女共同参画の視点に基づいた学校運営を進めます V-1-①普及のための啓発と情報提供を行います V-1-②性と生殖について、その健康と自由に選択する権利の教育を進めます

事業名	道徳教育・性教育
-----	----------

事業概要	事業目的	男女が共同して家庭を築いていくという意識を育てる教育を実践する
	対象者	小学校・中学校の生徒
	内容	「道徳」および「保健体育」において、個人の尊厳と両性の尊重に気づかせる学習を行うことで、男女共同参画への意識を涵養する。
	現状と課題	現学習指導要領で両性の理解・尊重等について学習することが定められている。現在の学習指導要領が完全実施となった年度は下記のとおり。 【道徳】小学校・・・H29 中学校・・・H30 【保健体育】小学校・・・R2 中学校・・・R3

重点課題に対する成果と課題

成果	現学習指導要領で定められているとおり、各学校の道徳・保健体育授業で両性の本質的平等についての学習を実践した。
課題	両性の本質的平等について引き続き学習を行い、男女共同参画への意識を涵養する。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)
H29	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)
H30	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)
R1	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)
R2	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)

R3	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)
R4	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)
R5 (実績・予定)	(各学校の道徳・保健体育授業で実践)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	教育支援課
事業番号	75

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-2学校における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-2-③男女共同参画の視点に基づいた学校運営を進めます

事業名	CAP教育プログラム事業
-----	--------------

事業概要	事業目的	いじめを含めた様々な暴力から「自分を守る」ための教育を行い、人権を尊重し、共に生きる意識を育てる。
	対象者	市内の小学4年生と中学1年生、保護者、教員、地域の方々
	内容	北海道CAPをすすめる会によるワークショップ
	現状と課題	保護者ワークの参加者が少ないため、周知方法や開催時間等を見直す必要がある。

重点課題に対する成果と課題

成果	暴力から身を守るための行動や子どもの権利(人権)について、子どもと大人がそれぞれの立場から学ぶことで、子どもの「生きる力」を引き出す教育プログラムとなっている。
課題	保護者ワークの参加者が少ないため、周知方法や開催時間等を見直す必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎事業名：CAP教育プログラム事業 ◎決算額：418,800円 ◎子どもワーク：計20回、726人参加 教職員ワーク：計9回、63人参加 保護者ワーク：1回、7人参加
H29	◎事業名：CAP教育プログラム事業 ◎決算額：408,900円 ◎子どもワーク：計20回、708人参加 教職員ワーク：計9回、94人参加 保護者ワーク：1回、6人参加
H30	◎事業名：CAP教育プログラム事業 ◎事業費：462,000円 ◎実施予定回数：子どもワーク～計21回、教職員ワーク～計9回、保護者ワーク～1回
R1	決算額586,000円、開催回数31回、参加人数754人 【内訳】子どもワーク：21クラス、689人参加／教職員ワーク：9回、57人参加 保護者ワーク：1回、8人参加
R2	決算額0円 新型コロナウイルス感染症対策により、R2年度においては事業実施を中止とした。 各校においては、事業目的に沿う代替の取組を実施。
R3	決算額500,500円、開催回数28回、659人参加 【内訳】子どもワーク：19クラス、593人参加／教職員ワーク：8回、54人参加 保護者ワーク：1回、12人参加
R4	決算額487,500円、開催回数29回、597人参加 【内訳】子どもワーク：20クラス、561人参加／教職員ワーク：8回、30人参加 保護者ワーク：1回、6人参加
R5 (実績・予定)	予算額518,000 円、開催回数29回、660人(予定) 【内訳】子どもワーク：20クラス、617人(予定)／教職員ワーク：8回、28人(予定) 保護者ワーク：1回、15人(予定)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	76

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-2学校における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-2-③男女共同参画の視点に基づいた学校運営を進めます

事業名	男女共同参画に関するキャッチフレーズの募集
-----	-----------------------

事業概要	事業目的	義務教育段階の子どもたちを対象に、男女共同参画の意識を高めるとともに、性別にとらわれず自立した個人を育てます。
	対象者	市内中学校に通う生徒
	内容	市内各中学校から内閣府主催の平成29年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集事業の応募を募り、応募作品は内閣府へ応募するとともに、平成29年度の恵庭市男女共同参画事業のポスターなど、周知・啓発に活用します。
	現状と課題	今年度、内閣府が募集するキャッチフレーズのテーマが、中学生には難しい内容であったことから、次年度以降、内閣府の事業への応募を継続していくか、市独自の事業を展開するか検討が必要です。

重点課題に対する成果と課題

成果	参加する生徒の男女共同参画の意識を高めるとともに、性別にとらわれず自立した個人の育成の助長に繋がった。
課題	内閣府が実施する事業においては年度によりテーマが中学生には難しい内容のときもあるため、中学校への依頼時に工夫が必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	応募依頼先／市内中学校5校の生徒会から計15作品の応募
H29	応募依頼先／市内中学校5校の生徒会から計18作品の応募
H30	応募依頼先／市内中学校5校から計14作品の応募
R1	応募依頼先／市内中学校2校から計6作品の応募 ※新型コロナウイルス感染症による休校の時期と重なり、応募が少ない結果となった。
R2	応募依頼先／市内中学校5校の生徒会から計20作品の応募
R3	応募依頼先／市内中学校5校の生徒会から計18作品の応募
R4	応募依頼先／市内中学校5校の生徒会から計32作品の応募
R5 (実績・予定)	令和6年1月中旬頃に校長会を通して依頼予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	広報課
事業番号	77

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-3社会における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-3-①地域や職場において、男女共同参画社会づくりへの意識を高めます

事業名	出前講座
-----	------

事業概要	事業目的	学習機会の提供を通して、市政等への理解と関心を深めてもらう
	対象者	恵庭市内に在住、在勤または在学する5人以上の団体やグループ
	内容	市民の皆さんが自主的に開催する学習会などに講師を派遣
	現状と課題	ごみの分別方法の変更などの制度変更や防災意識等の高まりから、年々依頼件数が増えている。課題は依頼の多い講座と依頼が全くない講座の2極化が進んでいることから、全ての講座に興味を持っていただけるよう工夫が必要。

重点課題に対する成果と課題

成果	新施設の建設や制度改正などへ依頼要望が増えており、市政等への理解、関心につながっていると考える
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼回数が減り学習機会が減少している。依頼の多い講座と依頼が少ない講座の2極化が進んでいることから、全ての講座に興味を持っていただけるよう工夫が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	出前講座の開催 実施回数: 106回 参加人数: 2,779人
H29	出前講座の開催 実施回数: 113回 参加人数: 2,589人
H30	全72講座 依頼回数: 155回 参加者合計: 3,551人
R1	全73講座 依頼回数: 118回 参加者合計: 2,326人
R2	全83講座 依頼回数: 60回 参加者数: 1,869人
R3	全85講座 依頼回数: 58回 参加者数: 1,362人
R4	全89講座 依頼回数: 131回 参加者数: 4,085人
R5 (実績・予定)	全91講座 依頼回数: 130回 参加者数: 4,000人

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	社会教育課
事業番号	78

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-3社会における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-3-②男女共同参画の視点に基づいた社会教育を進めます

事業名	学習活動団体の育成支援
-----	-------------

事業概要	事業目的	主に町内会女性部で構成される団体の各種自主活動の助長を図るとともに、女性の地位向上に努める。
	対象者	恵庭市地域女性連絡会 会長 神田美佐子
	内容	補助金の交付 48,000円
	現状と課題	①団体の並びに構成員数の減少 ②会員の高齢化

重点課題に対する成果と課題

成果	活動の推進強化が図られた。
課題	高齢化に伴う、若年層の確保が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人 28名
H29	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人 27名
H30	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人27名
R1	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人27名
R2	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人27名
R3	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人24名
R4	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人25名
R5 (実績・予定)	補助金の交付 48,000円 3町内会及び個人25名

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	社会教育課
事業番号	79

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-3社会における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-3-②男女共同参画の視点に基づいた社会教育を進めます

事業名	女性団体活動者研修会
-----	------------

事業概要	事業目的	地域における女性活動の活発化を図るため、広い視野での情報・知識習得の機会を展開します。
	対象者	女性活動者・一般市民
	内容	講演・ワークショップ等
	現状と課題	恵庭市地域女性連絡会との共催で実施。

重点課題に対する成果と課題

成果	それぞれの団体に係る活性化が図られた。
課題	様々な立場の女性参加者がより参加しやすい開催時期の検討が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・テーマ 「これからの人生 部屋も頭もスッキリ!!」 ～終活、心安らぐ笑顔のために～ ・講師 高田ファシリティーズ㈱ 代表取締役 高田英季さん ・参加者数 76名 ・経費 10,000円
H29	・テーマ 「よりよい人間関係をつくるためのコミュニケーション」～自分も相手も大切にできていますか?～ ・講師 MIW工房 コミュニケーション・ナビゲーター 姉帯美和子 氏 ・参加者数 76名 ・経費 36,000円
H30	・テーマ 「自分も相手も大切にするさわやかなコミュニケーション」 ～アサーティブ・トレーニング～ ・講師 りえぞんセンター札幌代表 濱田 康 氏 ・参加者数 38名 ・経費 33,000円
R1	・テーマ 香りで癒されるだけじゃない～暮らしに役立つアロマ活用術～ ・講師 douceur+n* 鈴木亜季子 氏 ・参加者数 参加45名 ・経費 70,000円
R2	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・事業費(予算) 40千円
R3	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・事業費(予算) 40千円
R4	・テーマ アロマを使ってセルフケア～コロナ禍で役立つアロマ活用術～ ・講師 douceur+n* 鈴木亜季子 氏 ・参加者数 19名 ・経費 46千円
R5 (実績・予定)	・テーマ 暑い夏を爽やかに～アロマの香りとハーブで彩る、簡単手ごねせっけんで気分もリフレッシュ～ ・講師 douceur+n* 鈴木亜季子 氏 ・参加者数 26名 ・経費 39千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	社会教育課
事業番号	80

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-3社会における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-3-②男女共同参画の視点に基づいた社会教育を進めます

事業名	女性の学び支援事業
-----	-----------

事業概要	事業目的	地域で様々な活動に関わる女性に、より充実した活動を進めていただけるよう広い視野での情報・知識・技術を提供し、育成・支援を図る。
	対象者	市内の各種女性団体や地域で活動する女性等
	内容	女性人材育成セミナー（講演、ワークショップ等）
	現状と課題	①男女共同参画の視点にも配慮した事業形成 ②開催回数及び開催時期の検討

重点課題に対する成果と課題

成果	個々のスキルアップが図られた。
課題	様々な立場の女性参加者がより参加しやすい開催時期の検討が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・テーマ 「女性の視点を生かした避難所の運営」～配慮の必要な地域の人々とその対応例～ ・講師 ㈱インタラクション研究所 代表 安田 睦子さん ・参加者数 30名(男性7名) ・経費 41,000円
H29	・テーマ 第1回 正しい言葉づかいで好感度アップ!! ～今さら聞けない正しい話し方～ 第2回 空気を読んで行動していますか? ～人間関係をより円滑にする方法～ ・講師 株式会社S.PLANET 代表取締役 瀬川 弘絵 氏 ・参加者数 延べ43名(女性) ・経費 91,000円
H30	・第1回 子どもとメディアの良い関係～大人のできること・すべきこと～ 講師:中谷通恵 氏 参加者数:18名 ・第2回 次の災害に備える地域の防災リーダー～洞爺湖有珠火山マイスターの活動～ 講師:川南恵美子 氏 参加者数:15名 ・経費 65,000円
R1	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 *事業費(予算)80千円
R2	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 *事業費(予算)80千円
R3	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 *事業費(予算)80千円
R4	・テーマ 体験しよう!色彩自然学「色彩のチカラを借りてこころを元気に!」 ・講師 (一社)色彩自然学の学校 岸 泉氏 ・参加者数 16名 ・経費 56千円
R5 (実績・予定)	・テーマ 未定 ・講師 未定 ・事業費(予算) 60千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	81

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	IV男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実
重点課題	IV-3社会における男女共同参画教育・学習の推進
取り組み	IV-3-②男女共同参画の視点に基づいた社会教育を進めます

事業名	男女共同参画フォーラム
-----	-------------

事業概要	事業目的	市民が地域でつながり、地域で生きていくうえで何をすべきか、男女共同参画の視点から様々な分野で活動している団体、一般市民が集い、貴重な学習の機会となるようフォーラムを実施しました。
	対象者	市民
	内容	「第2次恵庭市男女共同参画基本計画」の施行に伴い、地域社会における男女共同参画の推進のため、地域でつながり、地域で生きていく上で、何ができるのか、男女共同参画の視点から学習するためのフォーラムを実施しました。
	現状と課題	「女性ネットワークえにわ」と共催事業として実施していますが、市民意識の向上のために事業内容の検討に苦慮しています。

重点課題に対する成果と課題

成果	様々な視点からの男女共同参画に関するフォーラムを開催し、参加者のアンケートにおいても「満足した」との回答が多くあり、男女共同参画の意識啓発に繋がった。
課題	市民意識の向上のために事業内容の検討に苦慮している。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	開催日時・会場／平成28年8月26日(金)15時～ 市民会館中ホール 事業名／男女共同参画フォーラム ～地域でつながり 地域で生きる～ (講師)北海道医療大学准教授 長谷川 聡氏 同時開催／女性ネットワークえにわ構成団体(7団体)の活動紹介パネル展 周知方法／広報紙・市ホームページ・タウン情報誌に掲載 女性団体・子育てサークル・各町内会・恵庭工業クラブ・恵庭地区連合へ案内送付 参加者数／86人 事業費／講師謝礼30千円、会場使用料(備品使用料含)19千円、消耗品(リフレット等)作成8千円 計57千円
H29	開催日時・会場／平成29年6月10日(土)13時30分～ 市民会館大会議室・中会議室 事業名／男女共同参画フォーラム『女のキャリア・男のキャリアー・ジェンダーの視点でみる現代社会～』 (講師)摩女子大学教授 木崎 奈智子氏 同時開催／女性ネットワークえにわ構成団体(7団体)の活動紹介及びパネル展 周知方法／広報紙・市ホームページ・タウン情報誌に掲載 女性団体・子育てサークル・各町内会・恵庭工業クラブ・恵庭地区連合へ案内送付 参加者数／60人 事業費／講師謝礼20千円、会場使用料(備品使用料含)11千円、消耗品 6千円 計37千円
H30	開催日時・会場／平成30年6月10日(土)13時30分～ 市民会館大会議室・中会議室 事業名／男女共同参画フォーラム『男女共同参画に係るアンガーマネジメントについて』 (講師)officeエトス 代表 岡本 真なみ氏 同時開催／女性ネットワークえにわ構成団体(7団体)の活動紹介及びパネル展 周知方法／広報紙・市ホームページ・タウン情報誌に掲載、女性団体等へ案内送付 参加者数／79人 事業費／会場使用料(備品使用料含)11千円 託児館費7.2千円 消耗品 2千円 計20.2千円 ※講師謝金については道立女性プラザの助成金事業を活用

R1	開催日時・会場／令和元年12月7日(土)13時30分～ 市民会館大会議室・中会議室 事業名／男女共同参画フォーラム『もっとラクに楽しく自分らしく ー片づけでストレスフリーに生きる！ー』 (講師)㈱OPT LIFE 代表取締役 戸井 由貴子氏 同時開催／女性ネットワークえいわ構成団体(7団体)の活動紹介 周知方法／広報紙・市ホームページに掲載、女性団体等へ案内送付 参加者数／55人 事業費／30千円
R2	新型コロナウイルス感染症により代替事業を実施(※令和3年3月にパネル展を実施)
R3	新型コロナウイルス感染症により代替事業を実施 (※令和3年12月にデートDV啓発パンフレットを改訂し、関係各所へ配布) 決算額／88千円
R4	新型コロナウイルス感染症により代替事業を実施 (※令和4年10月にデートDV啓発ポスターを新規作成し、関係各所へ配布) 決算額／65千円
R5 (実績・予定)	開催日時・会場／令和5年11月8日(水)13時30分～ 市民会館大会議室・中会議室 事業名／男女共同参画フォーラム 『女も男も、誰もが介護する時代に向けて～介護する/される人のどちらも犠牲にならない社会とは～』 (講師)北海道立女性プラザ 館長 笹谷 泰美氏 同時開催／女性ネットワークえいわ構成団体(6団体)の活動紹介及びパネル展 周知方法／広報紙・市ホームページ等に掲載、女性団体・長寿大学受講者等へ案内送付 予算額／講師謝礼100千円、託児報償費5千円 会場使用料(備品使用料含)12千円、消耗品 16千円 計133千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	82

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	妊娠期の健康づくり事業(妊婦相談・妊婦教室及び両親教室)
-----	------------------------------

事業概要	事業目的	・母子の健康維持・向上の為に個性に応じた保健指導を行う。 ・妊婦の健康増進に関わる情報や恵庭市の健康・育児に関わる情報を提供し、妊婦及び父親の育児準備性を高める。 ・妊婦や父親及び家族の健康、その他育児に関する相談を受け、必要な情報を提供し、妊娠期から継続した相談支援を行なう。 ・養育環境の情報を得て、妊娠期から継続した乳幼児虐待予防の取り組みを行う。
	対象者	妊婦、父親及びその家族
	内容	・妊婦相談:母子健康手帳交付時に全ての妊婦に対する保健師による相談支援 ・妊婦教室及び両親教室:健康教育及び参加者同士の交流
	現状と課題	妊娠中や産後の母体の心身の変化を理解し、家族が協力して円滑に育児開始を図れるよう支援する。妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病など、低出生体重児のリスクとなる疾患の予防など健康的な妊娠期を過ごせるよう生活習慣を含め保健指導を実施。

重点課題に対する成果と課題

成果	相談や教室に参加することで、妊婦やその父が妊娠中や出産の情報提供を得ることで、安心した妊娠期、出産期を送ることができると共に、継続した相談支援をおこなうことができる。
課題	参加者がより理解しやすい内容の組み立てや媒体の工夫。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	妊婦相談:543件 両親教室:年6回 78組 延147人 妊婦教室:年15回 実51人 延120人
H29	妊婦相談:497件 両親教室:年6回 154人 妊婦教室:年12回 113人 プレママ相談日:年12回 17人
H30	妊婦相談:430件 両親教室:年6回 妊婦教室:年12回 プレママ相談日:年16回
R1	妊婦相談:405件 両親教室:年3回 参加組数:44組 妊婦教室:年9回 参加延べ人数:104人 プレママ相談日:年14回 利用人数:30人(20組) 決算額:66千円
R2	妊婦相談:459件 両親教室:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 妊婦教室:年3回 参加延べ人数:28人 プレママ相談日:18回(定例12回 定例外6回) 参加延人数:92人 決算額:9千円

R3	妊婦相談:448件 両親教室:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 妊婦教室:年3回 参加延人数:25人 プレママ相談日:年22回(定例12回 定例外10回) 参加延人数:89人 決算額:9千円
R4	妊婦相談:421件 両親教室:中止 妊婦教室:年8回 参加延人数:52人 プレママ相談日:年19回(定例11回 定例外8回) 参加延人数:73人 決算額:62千円
R5 (実績・予定)	妊婦相談:430件 両親教室:年3回 妊婦教室:年8回 プレママ相談日:年12回 予算額:137千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	83

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	妊婦に優しい環境づくり推進事業
-----	-----------------

事業概要	事業目的	外見上妊娠していると判断しにくい妊娠初期の女性や妊産婦が「マタニティマーク」を活用することで、安心して外出することができるよう、市民に対する「マタニティマーク」の普及啓発を行い、周囲が妊産婦に対する配慮などができるやさしい環境づくりを推進していく。
	対象者	妊娠の届出をした妊婦
	内容	マタニティマークストラップの配布;母子保健手帳交付時、転入手続き時 普及啓発ポスターの掲示:JR駅、交通機関(エコバス)、市内高等学校、市内大学など
	現状と課題	公共交通機関や市内高等学校、市内大学などのポスター掲示や市ホームページなどを通じマタニティマークの普及啓発を図る

重点課題に対する成果と課題

成果	外見上妊娠していると判断しにくい妊娠初期の女性や妊産婦が「マタニティマーク」を活用することで、安心して外出することができる。
課題	公共交通機関や市内高等学校、市内大学などのポスター掲示や市ホームページなどを通じおこなっているマタニティマークの普及啓発の効果について

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:580個
H29	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:447個
H30	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:430個
R1	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:405個
R2	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:459個
R3	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:422個
R4	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:377個
R5 (実績・予定)	事業名:妊婦に優しい環境づくり推進事業 マタニティストラップ:427個

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	84

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	妊婦健康診査・産婦健康診査支援事業
-----	-------------------

事業概要	事業目的	妊産婦の健康診査の徹底を図るため、医療機関に委託して行うことにより、妊産婦が定期的な健康診査を受け、健康管理の向上を図る。母子の健康維持・向上の為に個別性に応じた保健指導を行う。
	対象者	住民登録のある妊娠の届出をした妊婦・産婦
	内容	妊娠届出をした際に受診票を交付(母子手帳交付時) ・妊婦一般健康診査:妊娠時期に応じ14回分 ・超音波検査:妊娠時期に応じ6回分 ・産後健康診査:産後2回分
	現状と課題	妊産婦の健康の保持及び増進を図るため必要時医療機関と連携し適切な受診勧奨を図る。

重点課題に対する成果と課題

成果	妊婦健康診査受診券等の交付により、妊婦が適切に健康診査を受け、母子が安全安心に出産を迎えるための保健指導につなげることができる。
課題	医療機関からの結果の記載が不明確で、保健指導に上手くつながらないこともあり、検討課題となっている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	事業名:妊婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 5,521件 超音波検査:6回 2,159件
H29	事業名:妊婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回(5,635件) 超音波検査:6回(2,494件)
H30	事業名:妊婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 超音波検査:6回
R1	事業名:妊婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 超音波検査:6回 人数:4,798人 決算額:32,092千円
R2	事業名:妊産婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 超音波検査:6回 産婦健診:2回 決算額:36,454千円
R3	事業名:妊産婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 超音波検査:6回 産婦健診:2回 決算額:35,937千円
R4	事業名:妊産婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 超音波検査:6回 産婦健診:2回 決算額:33,254千円
R5 (実績・予定)	事業名:妊産婦健康診査支援事業 回数:妊婦健診14回 超音波検査:6回 産婦健診:2回 予算額:37,460千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	85

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	産後ケア事業
-----	--------

事業概要	事業目的	退院直後の心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援を必要とする母子に対して、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が、健やかな育児ができるよう支援することを目的とする。
	対象者	恵庭市に住民登録がある産後5か月未満の母親とその乳児で、家族のサポートが十分に受けられず、心身の不調や育児不安のある産婦
	内容	産後ケア事業(宿泊型):助産院に利用者を宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、支援を行う(恵庭市の事業として他に補完する事業のないもの) ケアの内容 ① 母親の身体的ケア及び保健指導、栄養指導 ② 母親の心理的ケア ③ 適切な授乳が実施できるためのケア(乳房ケア含む。) ④ 育児の手技についての具体的な指導及び相談 ⑤ 生活の相談、支援 *家族への支援含む(例:夫への沐浴指導など)
	現状と課題	令和2年度新規事業。令和5年度から委託事業所が2か所から3か所になった。母子健康手帳交付時や乳児家庭訪問時に事業の周知を図り、対象者への利用を促す。

重点課題に対する成果と課題

成果	出産後の母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児が出来るようになることにつながる。
課題	市内に委託できる助産院がないため、利用者は市外の助産院を利用しているため、移動の負担がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	*事業名:産後ケア事業 *R2決算額 378千円 *延利用数:4人
R3	*事業名:産後ケア事業 *R3決算額 752千円 *見込み数:20人
R4	*事業名:産後ケア事業 *R4決算額 1,013千円 *延利用数:27人
R5 (実績・予定)	*事業名:産後ケア事業 *R5予算額 1,350千円 *見込み数:25人

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	えにわっこ応援センター
事業番号	86

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	子育て世代包括支援センター（Coconetえにわ）事業
-----	-----------------------------

事業概要	事業目的	恵庭市子育て世代包括支援センター事業は、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じ、妊娠期から子育て期にわたるまで、利用者の目線と専門的知見の両方の視点を活かした切れ目ない支援体制を構築することを目的とする。
	対象者	市内に住所を有する妊産婦並びに乳幼児とその保護者及び支援を必要とする者
	内容	①妊産婦及び乳幼児等の実情を把握すること ②妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行うこと ③支援プランを策定すること ④保健医療又は福祉の関係機関との連携調整を行うこと
	現状と課題	令和元年10月開始。令和5年度からえにわっこ応援センターとなり、母子保健と児童福祉の一体的支援を実施。 関係機関と連携を図りながら事業が円滑かつ効果的に行われるよう実施を図る。

重点課題に対する成果と課題

成果	妊娠・出産・育児期の切れ目ない支援のために、母子健康手帳交付時や乳幼児全戸訪問、乳幼児健診等においてサポートファイルを活用し、見通しをもった育児を行えるよう支援している。
課題	母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供できるよう、関係機関と連携を図りながら実施していく。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	事業名：子育て世代包括支援センター（Coconetえにわ）事業 相談件数 延べ31件 子育てプラン作成数 3,130件 支援プラン作成数 4件 決算額 351千円
R3	事業名：子育て世代包括支援センター（Coconetえにわ）事業 相談件数 延べ43件 子育てプラン作成数 1,539件 支援プラン作成数 139件 決算額 326千円
R4	事業名：子育て世代包括支援センター（Coconetえにわ）事業 相談件数 延べ220件 子育てプラン作成数 1,330件 支援プラン作成数 165件 決算額 315千円
R5 （実績・予定）	事業名：子育て世代包括支援センター（Coconetえにわ）事業 相談件数 延べ30件 子育てプラン作成数 1,528件 支援プラン作成数 140件 予算額 316千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課
事業番号	87

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	特定健康診査等実施計画の推進
-----	----------------

事業概要	事業目的	国民健康保険加入者の生活習慣病発症予防及び重症化抑制に向けた特定健康診査受診率向上に対する取組を定めて計画
	対象者	恵庭市国民健康保険加入者の40歳以上
	内容	診療報酬明細書（レセプト）の分析による疾病状況を把握と特定健康診査受診状況の検証を基に実施計画を策定し、更なる特定健康診査受診率の向上に向けた取組を推進する。
	現状と課題	国は特定健康診査受診率を実施計画最終年度において60％と定め、本市の受診率も年々上昇し30％台を推移していたが、新型コロナウイルスの影響による被保険者の受診控えについても回復傾向になったが、依然受診率が低迷している。。

重点課題に対する成果と課題

成果	未受診者への勧奨通知を実施。それぞれの特性に合わせた勧奨内容に細分化することにより、受診者への意識付けを行った。昨年に引き続き新型コロナウイルスにより、対象者の医療機関への受診控えが影響したが、受診率は前年より微増となった。
課題	今後の受診率は年々増加傾向と見込むも、未だ国の目標値とは乖離している。みなし検診の実施を継続し未受診者の掘り起こしを行うこととする。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	第2期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間：平成25年度～平成29年度 特定健康診査受診率 24.4％（実績報告2,769人/11,318人） 特定保健指導受診率 50.9％（実績報告189人/371人）
H29	第2期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間：平成25年度～平成29年度 特定健康診査受診率 24.7％（実績報告2,702人/10,920人） 特定保健指導受診率 62.6％（実績報告231人/369人）
H30	第3期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間：平成30年度～平成35年度 特定健康診査受診率目標値 60％ ／ 平成30年目標値 30％ 特定保健指導受診率目標値 60％ ／ 平成30年目標値 40％ 特定健康診査受診率：30.3％（法定報告値）／特定保健指導受診率：43.3％（法定報告値）
R1	第3期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間：平成30年度～平成35年度 特定健康診査受診率目標値 60％ ／ 令和元年目標値 36％ 特定保健指導受診率目標値 60％ ／ 令和元年目標値 44％ 特定健康診査受診率：32.4％（法定報告値）／特定保健指導受診率：50.0％（法定報告値）

R2	第3期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間:平成30年度～平成35年度 特定健康診査受診率目標値 60% / 令和2年目標値 42% 特定保健指導受診率目標値 60% / 令和2年目標値 48% 特定健康診査受診率:25.2%(法定報告値)/特定保健指導受診率:57.3%(法定報告値)
R3	第3期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間:平成30年度～平成35年度 特定健康診査受診率目標値 60% / 令和2年目標値 48% 特定保健指導受診率目標値 60% / 令和2年目標値 52% 特定健康診査受診率:26.3%(法定報告値)/特定保健指導受診率:58.1%(法定報告値)
R4	第3期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間:平成30年度～平成35年度 特定健康診査受診率目標値 60% / 令和2年目標値 54% 特定保健指導受診率目標値 60% / 令和2年目標値 56% 特定健康診査受診率:27.3%(速報値)/特定保健指導受診率:58.7%(速報値)
R5 (実績・予定)	第3期恵庭市国民健康保険特定健康診査等実施計画 計画期間:平成30年度～平成35年度 特定健康診査受診率目標値 60% / 令和2年目標値 60% 特定保健指導受診率目標値 60% / 令和2年目標値 60%

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	国保医療課
事業番号	88

＊1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	特定健診・脳ドック等各種検診事業
-----	------------------

事業概要	事業目的	恵庭市国民健康保険加入者の健康増進に向け、各種検診事業を実施し、強いては医療費の抑制につなげていく。
	対象者	恵庭市国民健康保険加入者の40歳以上
	内容	特定健康診査:生活習慣病の危険因子の保有者の発見と保有者の生活習慣改善の必要性を認識させ改善に向けた行動の実行支援を行う特定保健指導を実施。 脳ドック:脳血管疾患の発症予防に向けたMRI検診の実施
	現状と課題	特定健康診査:健診受診率の低さ。受診率向上策が課題。 脳ドック:令和3年度より年275人を定員として実施。毎年受診から隔年受診に変更。今後定員数・事業内容について更なる検討が必要。

重点課題に対する成果と課題

成果	特定検診は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じている中での健診であったが、未受診者への勧奨通知を行い受診者数の増加につなげた。脳ドック事業は、これまでの毎年受診から隔年受診に変更したことにより申込者数が減少した。
課題	特定検診は、現在の勧奨方法では国の目標値の達成が難しいことから、みなし健診の強化など未受診者対策の検討が必要。脳ドック事業は、年1回の受付実施に変更、申請者全員が受診できる体制となっている。定員数、事業内容に関して他市の状況を調査の上精査する必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ＊事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診者:2,769人 事業費:28,672千円	脳ドック 受診期間5月～2月 受診者:529人 事業費:8,458千円
H29	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診者:2,702人 事業費:28,040千円	脳ドック 受診期間5月～2月 受診者:434人 事業費:6,902千円
H30	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診者数:3,017人 事業費:29726千円	脳ドック 受診期間5月～2月 受診者数:410人 事業費:6,507千円
R1	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診者数:3,129人 事業費(委託料)39,794千円(決算)	脳ドック 受診期間5月～2月 助成者数:247人 事業費:3,910千円(決算)
R2	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診者数:2,478人 事業費(委託料)33,231千円(決算)	脳ドック 受診期間6月～2月 受診定員数:206人 事業費:3,248千円(決算)

R3	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診見込み者:2,507人 事業費(委託料)28,396千円(決算)	脳ドック 受診期間6月～2月 受診定員数:107人 事業費:1,691千円(決算)
R4	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診見込み者:2,671人 事業費(委託料)28,468千円(決算)	脳ドック 受診期間6月～2月 受診定員数:185人 事業費:2,917千円(決算)
R5 (実績・予定)	特定健康診査 受診期間6月～2月 受診見込み者:2,899人 事業費(委託料)31,730千円(予算)	脳ドック 受診期間6月～2月 受診定員数:275人 事業費:4,400千円(予算)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	89

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V 生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	訪問指導事業
-----	--------

事業概要	事業目的	療養上の保健指導が必要であると認められるもの及び家族に対して、保健師等が訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、市民の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的とする。
	対象者	40歳以上64歳以下で、要介護者等を除く心身の状況、その置かれている環境に照らして療養上の保健指導が必要と認められる者。
	内容	生活習慣病予防、療養方法、介護予防、栄養・運動・口腔衛生などの相談・指導
	現状と課題	心身の状況を把握しながら、継続的な訪問支援を実施している。 (障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの充実による、事業対象者の減少により、機能訓練事業についてはH29年度で事業廃止)

重点課題に対する成果と課題

成果	健康診査・がん検診等保健指導が必要である方に対しての訪問の他、心身に関する相談での訪問を実施し、継続相談支援を行っている
課題	対象者の把握や健康課題の難しい方への支援について困難が多い

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H29	(機能訓練) 実施回数 14回 参加者数 25人(延べ) 事業費 220千円(機能訓練・訪問指導合算)	(訪問指導) 対象者数 5人 実施人数 11人(延べ)
H30	(機能訓練) 事業廃止	(訪問指導) 対象者数 7人 実施人数 15人(延べ)
R1		(訪問指導) 対象者数 29人 実施人数 41人(延べ) 事業費 11千円
R2		(訪問指導) 対象者数 12人(延べ16人) 事業費 11千円
R3		(訪問指導) 対象者数 19人(延べ29人) 事業費 10千円
R4		(訪問指導) 対象者数 48人(延べ52人) 事業費 10千円
R5 (実績・予定)		(訪問指導) 対象者数 17人(延べ29人) 事業費 42千円

事業管理シート【中間事業評価】		
	担当課	健康スポーツ課・保健課
	事業番号	90
※1事業1つのシートで作成下さい		
基本目標	V生涯にわたる健康の支援	
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進	
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します	

事業名	健康教育・健康相談事業
-----	-------------

事業概要	事業目的	生活習慣病及び介護予防について正しい知識の普及を図るとともに、適切な指導や支援を行うことにより、壮年期からの健康の保持増進を図る。
	対象者	市民
	内容	健康教育(講演会、結果説明会、出前講座、普及啓発、ウォーキング普及啓発、高齢者健康教育他)、健康相談(訪問指導、来所相談、電話相談他)
	現状と課題	恵庭市健康づくり計画に基づき、市民の積極的な健康づくりに取り組んでいます が、健康への関心が薄い市民も多い。少子高齢化の進展を見据え、若い世代からの生活習慣病の発症予防、重症化予防に重点をおき、健康づくりを推進する。また、市民が集まる場に出向き、健康に関する情報提供や啓蒙普及の充実を図る。

重点課題に対する成果と課題

成果	生活習慣病予防のための健康・運動に関する正しい知識の情報提供や日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発として、気軽に参加が可能な講演会や健康相談を実施しました。
課題	働き盛り世代や健康無関心者層などが参加するような内容の充実や事業の周知が必要です。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H28	健康教育 63回1,695人 健康相談 777回1,440人 事業費 2,021千円	
H29	健康教育 63回1,555人 健康相談 632回1,445人 事業費 895千円	
H30	健康教育 63回1,550人計画 健康相談 600回1,450人計画 事業費 983千円(予算)	H30実績 健康教育 69回1,737人 健康相談 555回1,053人 事業費 884千円(決算額)
R1	健康スポーツ課: 健康教育(ウォーキング) 9回429人 マップ2,000部 保健課:健康教育(講演会・セミナー・出前講座等) 83回 2434人 計92回、2,863人 健康相談 954回 1,934人 事業費:913千円(健康スポーツ課 612千円、保健課301千円)	
R2	健康スポーツ課: 健康教育(ウォーキング) 9回903人 マップ2,200部 保健課:健康教育(講演会・セミナー・出前講座等) 126回 2,227人 計135回、3,130人 健康相談 704回 1,083 事業費:1,014千円(健康スポーツ課 588千円、保健課426千円)	
R3	健康スポーツ課: 健康教育(ウォーキング) 10回1,065人 マップ2,000部 保健課:健康教育(講演会・セミナー・出前講座等) 153回 2,627人 計163回、3,692人 健康相談 589回 1,154人 事業費:806千円(健康スポーツ課 577千円、保健課229千円)	
R4	健康スポーツ課: 健康教育(ウォーキング) 10回630人 マップ1,900部 保健課:健康教育(講演会・セミナー・出前講座等) 121回 3,747人 計131回、4,377人 健康相談 753回 1,550人 事業費:806千円(健康スポーツ課 577千円、保健課229千円)	
R5 (実績・予定)	健康スポーツ課: 健康教育(ウォーキング) 10回800人 マップ2,000部 保健課:健康教育(講演会・セミナー・出前講座等) 66回 1,610人 健康相談 600回 1,200人 事業費:3,351千円(健康スポーツ課 577千円、保健課2,774千円)	

事業管理シート【中間事業評価】		
	担当課	保健課
	事業番号	91
※1事業1つのシートで作成下さい		
基本目標	V生涯にわたる健康の支援	
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進	
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します	

事業名	健康診査事業
-----	--------

事業概要	事業目的	健診・保健指導は、内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行い、糖尿病等の有病者・予備群を減少させることが目的となる。生活習慣病は自覚症状がないまま進行するため、健診は個人が生活習慣を振り返る絶好の機会と位置づけ、行動変容につながる保健指導を行う。
	対象者	恵庭市民で以下の条件にあてはまる者 ・35歳～39歳の国民健康保険加入者及び国保以外の方、35歳以上の生活保護受給者、後期高齢者医療制度加入者～国保医療課が実施している特定健康診査事業は40歳以上の国民健康保険者が対象
	内容	・身体計測、血圧測定、血液検査(脂質、血糖、肝機能、腎機能)、尿検査、心電図検査等
	現状と課題	健康診査は、いわゆる「メタボリックシンドローム」に着目した健診であり、生活習慣病の有病者および予備群に対する改善や予防に対して有効な手段であるが、受診者、特に若い世代の関心は決して高いとはいえない。これらの方々を含めた広い世代の方に関心を持ってもらえるような取り組みが必要である。

重点課題に対する成果と課題

成果	健診・保健指導については、個人が生活習慣を振り返る機会として機能しており、行動変容につなげることができている。
課題	若い世代の関心が高いとは言えず、幅広い世代に向けて関心をもらえる取組が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。	
H29	健診形態 ・集団検診(年10回) ・バス健診(年12回) ・レディース検診(年3回)	・H29事業費～1,580千円
H30	健診形態 ・集団検診(年11回) ・バス健診(年12回) ・レディース検診(年4回) ・レディースバス検診(年2回)	・H30事業費～1,366千円
R1	健診形態 実施回数28回 ・集団検診(年11回) ・バス健診(年12回)※新型コロナウイルス感染拡大により1回中止 ・レディース検診(年4回) ・レディースバス検診(年2回)	・R1事業費～1,680千円 ・参加人数:50名(延べ)
R2	健診形態 実施回数26回 ・集団検診(年11回) ・バス健診(年10回) ・レディース検診(年4回) ・レディースバス検診(年1回)※新型コロナウイルス感染拡大により1回中止	・R2事業費～1,566千円

R3	・事業名:健康診査事業費 実施回数24回 < 健診形態 > ・集団検診(年10回) ※新型コロナウイルス感染拡大により2回中止 ・バス検診(年8回) ・レディース検診(年4回) ・レディースバス検診(年2回)	・R3事業費～1,501千円
R4	・事業名:健康診査事業費 実施回数25回 < 健診形態 > ・集団検診(年11回) ・バス検診(年8回) ・レディース検診(年4回) ・レディースバス検診(年2回)	・R4事業費～1,575千円
R5 (実績・予定)	・事業名:健康診査事業費 実施回数25回 < 健診形態 > ・集団検診(年11回) ・バス検診(年8回) ・レディース検診(年4回) ・レディースバス検診(年2回)	・R5事業費～1,969千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	92

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V 生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	がん検診推進事業
-----	----------

事業概要	事業目的	市が実施するがん検診において、特定の年齢に達した者に対して、子宮頸がん、乳がんに関する検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付し、がん検診の受診促進を図るとともに、がん検診の早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図り、もって健康保持及び増進を図ることを目的とする。
	対象者	恵庭市民で下記の条件にあてはまる者 ・子宮頸がん～20歳 ・乳がん～40歳
	内容	・対象者に対し無料クーポン券を送付し、がん検診の受診を促進しようとするもの。
	現状と課題	・クーポンは毎年6月に発送しており、関心の高い市民は早い段階でクーポンを利用しているが、関心の低い市民はクーポンの利用期限終了間際で利用する場合が多く、定員オーバーで受診できないという事例がまれに見受けられる。また若い女性のがんに関する意識が低く、受診者が伸び悩んでいる。

重点課題に対する成果と課題

成果	がん検診無料クーポン券の送付によって、対象者の健康意識の向上や健康保持及び増進を支援している。
課題	クーポン券送付直後は対象者の高い関心を得ることができるが、徐々に薄れていくため、再勧奨などを積極的に行っていく。 また、若い女性のがんに関する意識が低く、受診者が伸び悩んでいる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績	*事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	H29クーポン発送件数 ・子宮がん～418件 ・乳がん～501件	・H29実績～1,842千円
H30	H30クーポン発送件数 ・子宮がん～427件 ・乳がん～491件	・H30実績～1,795千円
R1	R1クーポン発送件数 ・子宮がん～364件 ・乳がん～462件	・R1事業費～1,887千円
R2	R2クーポン発送件数 ・子宮がん～351件 ・乳がん～454件	・R2事業費～1,797千円
R3	R3クーポン発送件数 ・子宮がん～387件 ・乳がん～431件	・R3事業費～1,818千円
R4	R4クーポン発送件数 ・子宮がん～407件 ・乳がん～429件	・R4事業費～1,804千円
R5 (実績・予定)	R5クーポン発送件数 ・子宮がん～370件 ・乳がん～432件	・R5事業費～1,911千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	93

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	各種がん検診事業
-----	----------

事業概要	事業目的	がんを早期発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることを目的とする。
	対象者	恵庭市民
	内容	- 胃がん検診(胃部X線) - 大腸がん検診(便潜血反応) - 肺がん検診(胸部X線) - 乳がん検診(視触診、マンモグラフィ) へ以上ともに35歳以上が対象 - 子宮がん検診(内診、子宮頸部細胞診) へ20歳以上が対象
	現状と課題	がん検診は、保健センター等で行う集団検診および各医療機関・検診機関等で行う個別検診、無料送迎バスによる検診等様々な選択肢があり、健康カレンダー、市広報、HP、民間情報誌等で広く周知に努めているが、受診者増に結びついていないのが現状である。

重点課題に対する成果と課題

成果	集団検診等を平日だけでなく土日にも行うことで市民の受診機会の確保を行い、がんの早期発見を支援している。
課題	健康カレンダー等により広く周知に努めているが、受診者の大幅増には結びついていないため、過去に受診歴がある方への再勧奨を含めて幅広い周知を行っている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	(各種検診の回数) 32回 ・集団検診～10回 ・バス検診～15回 ・子宮・乳がん検診～5回 ・レディース検診～3回 ・H29実績～22,350千円
H30	(各種検診の回数) 32回 ・集団検診～11回 ・バス検診～14回 ・子宮・乳がん検診～4回 ・レディース検診～4回 ・H30実績～21,092千円
R1	(各種検診の回数) 32回 ・集団検診～11回 ・バス検診～14回※新型コロナウイルス感染拡大により1回中止 ・子宮・乳がん検診～4回 ・レディース検診～4回 ・R1事業費～22,982千円
R2	(各種検診の回数) 31回 ・集団検診～11回 ・バス検診～11回(※新型コロナウイルス感染症の影響により3回中止) ・子宮・乳がん検診～5回 ・レディース検診～4回 ・R2事業費～15,106千円

R3	(各種検診の回数) 32回 ・集団検診～10回 ・バス検診～13回 ・子宮・乳がん検診～5回 ・レディース検診～4回 ・R3事業費～24,411千円 ※新型コロナウイルス感染拡大により2回中止
R4	(各種検診の回数) 33回 ・集団検診～11回 ・バス検診～13回 ・子宮・乳がん検診～5回 ・レディース検診～4回 ・R4事業費～19,720千円
R5 (実績・予定)	(各種検診の回数) 33回 ・集団検診～11回 ・バス検診～13回 ・子宮・乳がん検診～4回 ・レディース検診～5回 ・R5事業費～24,391千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	94

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	こころの健康づくり普及啓発事業
-----	-----------------

事業概要	事業目的	こころの健康づくり・自殺予防の知識を普及啓発し、推進をはかる。
	対象者	市民
	内容	国の自殺予防週間・自殺対策強化月間に併せて、講演会やパネル展等の開催
	現状と課題	「いのち支える 恵庭市自殺対策計画」(2019～2023)に基づく事業の推進 早期に自分自身や身近な人の変化・不調に気づき対応していただけるよう、ますますの啓発が大切。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民が心の健康を大切にし、早期に自分と身近な人の変化・不調に対応できるように、知識の普及を図り、心の健康や自殺予防の推進を図った。
課題	多くの市民にこころの健康づくりを周知し、自殺予防に寄与できるような働きかけが必要

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	◎事業名:こころの健康づくり普及啓発事業 事業費 85千円 実績 ○講演会1回 参加者78人 ○パネル展43日間
H30	◎事業名:こころの健康づくり普及啓発事業 事業費 50千円 実績 講演会1回 参加者47人 パネル展47日間
R1	事業費 100千円 実績: ○こころの健康づくり講演会:コロナウイルス感染予防のため中止 ○パネル展 3か所 47日間 ○ゲートキーパー養成講座 1回24人 ○出前講座等 4回 146人
R2	事業費:115千円 実績:○こころの健康づくり講演会・ゲートキーパー養成講座 コロナウイルス感染予防のため中止 ○商工会議所会員・市職員への普及啓発文書の配布・周知2回 ○パネル展 5か所 126日間 ○出前講座 3回 181人
R3	○事業費 115千円 ○こころの健康づくり講演会:1回34人 ○ゲートキーパー養成講座:0回(新型コロナウイルス感染予防のため中止) ○商工会議所会員・市職員への普及啓発文書の配布・周知:2回 ○パネル展 7か所 160日間 ○出前講座 3回 188人
R4	○事業費 117千円 ○こころの健康づくり講演会:1回24人 ○ゲートキーパー養成講座:1回19人 ○商工会議所会員・市職員への普及啓発文書の配布・周知:1回 ○パネル展 8か所 133日間 ○出前講座 1回 21人
R5 (実績・予定)	計画数: ○こころの健康づくり講演会:1回29人 ○ゲートキーパー養成講座の開催:2回38人 ○商工会議所会員・市職員への普及啓発文書の配布・周知:1回 ○パネル展 8か所 160日間 ○出前講座 2回 42人 ○事業費: 259千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	95

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	歯科口腔保健普及啓発事業
-----	--------------

事業概要	事業目的	歯科口腔保健・歯科疾患予防・機能向上の取り組みの普及啓発
	対象者	市民
	内容	歯科医師・歯科衛生士による健康教育
	現状と課題	口腔内の健康は生涯の健康維持に直結するため、今後も積極的な推進が大切

重点課題に対する成果と課題

成果	歯科疾患の予防や口腔機能の維持向上に組み関する普及啓発を行うことで、市民の歯科口腔保健の関心を高めることができた。
課題	口腔内の健康は生涯の健康維持に直結するため、今後も積極的な推進が大切であることから、手法や媒体などの工夫が必要

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業 実績 健口教室 4回 173人 事業費 115千円(高齢者分)
H30	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業 実績 健口教室 4回 149人 事業費 115千円(高齢者分)
R1	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業 実績 健口教室 4回 135人 事業費 83千円(高齢者分)
R2	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業 実績:健口教室 新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止 出前講座 2回 24人 事業費 95千円
R3	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業(高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業を含む) 実績:健口教室 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 出前講座 2回 48人 事業費 95千円(後期特会)
R4	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業(高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業を含む) 実績:健口教室 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 出前講座 2回 25人 事業費 95千円(後期特会)
R5 (実績・予定)	◎事業名:歯科口腔保健普及啓発事業(高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業を含む) 計画数:健口教室 4回 100人 事業費 95千円(後期特会)

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	96

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	歯周疾患検診
-----	--------

事業概要	事業目的	歯科疾患の予防及び歯の喪失防止と歯科保健意識の向上を図る
	対象者	40歳、50歳、60歳、70歳と妊婦
	内容	市内歯科医療機関にて個別受診 検診内容：口腔内観察 歯槽膿漏検査（CPITN法）ブラッシング指導 個別相談
	現状と課題	口腔内の健康は生涯の健康維持に直結するため、今後も積極的な推進が大切

重点課題に対する成果と課題

成果	生涯を通じた、想起からの、歯周疾患や歯の喪失の防止、医療費抑制 令和3年度より新規事業のため、評価は次年度以降
課題	令和3年度より受診者数は増加したが、受診率では妊婦が19.0%、節目健診では5.3%とまだ低いことが課題。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
R3	実績： 受診者数 247人（妊婦70人、節目年齢177名） 事業費：918,840円（委託料）
R4	実績： 受診者数 286人（妊婦80人、節目年齢206人） 事業費：1,063,920円（委託料）
R5 （実績・予定）	計画： 受診者数 280人（妊婦86人、節目年齢194人） 事業費：1,042,000円（委託料）

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	介護福祉課
事業番号	97

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-①妊娠・出産期、子育て期における健康づくりを支援します

事業名	高齢者訪問相談活動
-----	-----------

事業概要	事業目的	介護予防と健康寿命の延伸
	対象者	65歳以上の介護認定を受けていない市民
	内容	生活習慣改善、病気の早期発見と重症化予防、フレイルやロコモティブシンドローム予防、閉じこもり予防などを個別に訪問や面接などで保健指導する
	現状と課題	高齢期の健康課題改善と介護予防はその前の年代からの取組み改善が必要なため、各年代への支援と併せて実施することが重要。

重点課題に対する成果と課題

成果	生活習慣病やフレイル予防等の保健指導を個別に行うことで、高齢者の健康づくりの推進に寄与できた。
課題	高齢期の健康づくりと介護予防は、その前の年代からの取り組みも重要であるため、庁内連携等により、若年期や壮年期等の他のライフステージへの健康づくりと併せた支援の実施が課題。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	◎事業名：訪問相談活動 実績 641人 事業費 4,842千円
H29	◎事業名：訪問相談活動 実績 641人 事業費 4,810千円
H30	◎事業名：訪問相談活動 実績 850人 事業費 5,388千円
R1	◎事業名：訪問相談活動 実績 419人 事業費 5,273千円
R2	◎事業名：訪問相談活動 実績 237人 事業費 5,880千円
R3	◎事業名：訪問相談活動 実績 299人 事業費 6,272千円
R4	◎事業名：訪問相談活動 計画数 実人数 268人 事業費 6,490千円
R5 （実績・予定）	◎事業名：訪問相談活動 計画数 実人数 270人 事業費 5,892千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	98

* 1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	高齢者予防接種事業
-----	-----------

事業概要	事業目的	* 予防接種の実施により、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上と健康の保持に寄与することを目的とする。
	対象者	* 予防接種法等の法令で規定する対象者要件に該当する市民
	内容	* 高齢者肺炎球菌 自己負担額:2,500円(生活保護受給者は自己負担免除) * 高齢者等インフルエンザ 自己負担額:1,000円(生活保護受給者は自己負担免除)
	現状と課題	* 市広報、ホームページ、民間情報誌を活用し事業の周知を行っており、状況に応じ接種対象者にハガキによる個別勧奨を実施している。また、市外施設入所者等が接種機会を失うことがないよう、市外での接種にも対応しながら事業を進めている。 * 接種率40%以上の維持に向け、周知等を遺漏なく実施することが重要となる。

重点課題に対する成果と課題

成果	予防接種の実施により、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上と健康の保持に寄与している。
課題	接種率40%以上の維持に向け、周知等を遺漏なく実施することが重要となる。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	* 事業名: 予防接種助成事業費 * 実績 33, 871千円 * 予防接種数: 2種類 * 予防接種延人数: 10,458人(高齢者) 実績: 10,268人
H30	* 事業名: 予防接種助成事業費 * H30実績 33,811千円 * 予防接種数: 2種類 * 予防接種延人数: 10,433人(高齢者)
R1	* 事業名: 予防接種助成事業費 * R1事業費 29,632千円 * 予防接種数: 2種類 * 予防接種延人数: 9,780人(高齢者)
R2	* 事業名: 予防接種助成事業費 * R2事業費 37,302千円 * 予防接種数: 2種類 * 予防接種延人数: 12,050人(高齢者)
R3	* 事業名: 予防接種助成事業費 * R3事業費 31,275千円 * 予防接種数: 2種類 * 予防接種延人数: 10,208人(高齢者)
R4	* 事業名: 予防接種助成事業費 * R4事業費 34,192千円 * 予防接種数: 2種類 * 予防接種延人数: 11,083人(高齢者)
R5 (実績・予定)	* 事業名: 予防接種助成事業費 * R5事業費 34,838千円 * 予防接種数: 2種類

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	保健課
事業番号	99

* 1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	V生涯にわたる健康の支援
重点課題	V-2ライフステージに応じた健康づくりの推進
取り組み	V-2-②成人・高齢期における健康づくりを支援します

事業名	成人予防接種事業
-----	----------

事業概要	事業目的	* 国は平成31年2月に予防接種法施行令を改正し、これまで定期接種の機会がなかった年代の男性を対象に、風しん感染拡大防止のための追加的対策を実施することとした。これを受け、本市においても国の目標に向かい速やかに事業の取り組みを開始した。
	対象者	* 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
	内容	* 市より対象者へ無料クーポン券(風しん抗体検査・麻しん風しん混合ワクチン予防接種)を送付。対象者は医療機関等にて風しん抗体検査を受け、抗体がない者は予防接種を実施。※2019～2021年度の3ヵ年計画で段階的に取り組んでいたが、抗体検査の受診率が目標に届かなかったこと等により、2022年度～2024年度についても事業延長し合計6ヵ年計画で取り組む。
	現状と課題	* 恵庭市の指定医療機関に限らず、風しんの無料クーポン券事業に参加している全国の指定医療機関で利用できる。市広報、ホームページ等で周知済み。 * 現状の対象世代男性の抗体保有率80%を ①2020年7月までに、85%に引き上げる。②2021年度末までに、90%に引き上げる目標としていたが達成できなかったため、事業を延長し2024年度までに、引き続き抗体保有率90パーセントに引き上げることを目標にする。

重点課題に対する成果と課題

成果	抗体検査の結果、抗体をもたない対象者への予防接種の実施により、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上と健康の保持に寄与している。
課題	厚生労働省の指針に基づき、現状の対象世代男性の抗体保有率80%を ①2020年7月までに、85%に引き上げる。②2021年度末までに、90%に引き上げる目標としていたが達成できなかったことから、事業を延長し2024年度までに、引き続き抗体保有率90パーセントに引き上げることを目標にする。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	—
H30	—
R1	* 事業名: 風しん対策事業費 * R1事業費 11,446千円 * 風しん抗体検査 * 抗体検査及び接種人数/962人
R2	* 事業名: 風しん対策事業費 * R2事業費 6,674千円 * 風しん抗体検査 * 抗体検査及び接種人数/1,106人
R3	* 事業名: 風しん対策事業費 * R3事業費 3,547千円 * 風しん抗体検査 * 抗体検査及び接種人数/ 423人
R4	* 事業名: 風しん対策事業費 * R4事業費 3,367千円 * 風しん抗体検査 * 抗体検査及び接種人数/219人
R5 (実績・予定)	* 事業名: 風しん対策事業費 * R5予算費 2,941千円 * 風しん抗体検査 * 風しん予防接種

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	企画課
事業番号	100

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	VI男女共同参画の視点に基づいた国際交流・協力の推進
重点課題	VI-1国際交流と国際協力への参画推進
取り組み	VI-1-①在住外国人への支援をします

事業名	生活情報等の多言語化の推進
-----	---------------

事業概要	事業目的	日本語を母語としない住民にとっても、安心・安全に生活できるよう生活情報等のやさしい日本語及び多言語を男女共同参画の視点に基づいた情報発信を推進する
	対象者	日本語を母語としない在住外国人
	内容	生活情報等の多言語化
	現状と課題	現在、恵庭市には約500人の外国籍の住民が生活している。その内訳は、2017年までは大学・専門学校の留学生と外国人配偶者が大半を占めていたが、近年は就労を目的とした外国人の割合も増えてきており、そのほとんどの人が日本語での読み書きが難しいため、必要な情報の入手が出来ず社会的に孤立する傾向にある。

重点課題に対する成果と課題

成果	多言語マップの活用。 市内各施設等の統一した英語翻訳について整理。 各所管部において、必要に応じて生活情報の多言語化を実施。
課題	在住外国人にとって、必要な生活情報は多方面にわたっており、特に必要としている情報等の整理及び多言語化する情報の優先順位をしていく必要がある。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	【多言語マップの作成】 作成にあたっては、市内国際交流活動団体の代表による「多文化共生のまちづくり委員会」を設置。男女両方の委員から、それぞれの視点に基づいた協議によるマップを作成した。 ・生活情報マップ(やさしい日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字)各500枚 ・医療マップ(やさしい日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字)各500枚 ・エコバスマップ・時刻表(やさしい日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字)各200枚
H29	市内各施設等の統一した多言語翻訳等について整理した。(庁内、市民会館)
H30	引き続き、市内各施設等の統一した多言語翻訳等について整理すると同時に、生活をするにあたり市内在住の外国人が必要としていることについて調査を行う。
R1	各窓口での多言語対応するため、自動翻訳機「ポケット」を1台導入。窓口で多言語対応が必要な時の補助機械として活用。 ＜事業費＞44千円

R2	各窓口での多言語対応するため、自動翻訳機「ポケット」1台をリース。また、生活をするにあたり市内在住の外国人が必要としている支援や情報発信のあり方について整理した。 ＜事業費＞27千円
R3	各窓口での多言語対応するため、自動翻訳機「ポケット」1台をリース。 ＜事業費＞27千円
R4	各窓口での多言語対応するため、自動翻訳機「ポケット」1台をリース＜事業費＞27千円 市ホームページの多言語化及び外国人目録での利便性の改善 ＜事業費＞627千円
R5 (実績・予定)	各窓口での多言語対応するため、自動翻訳機「ポケット」1台をリース＜事業費＞27千円 市ホームページの外国人向けページの随時更新 生活スタートブックの活用

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	企画課
事業番号	101

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	VI男女共同参画の視点に基づいた国際交流・協力の推進
重点課題	VI-1国際交流と国際協力への参画推進
取り組み	VI-1-②国際交流活動を進めます

事業名	国際交流活動の推進
-----	-----------

事業概要	事業目的	外国人住民と地域住民とが性別・国籍を超えた親睦交流等を行うことにより、文化や生活習慣の違いの相互理解を促進する。
	対象者	地域住民及び在住外国人
	内容	市民ボランティア等による親睦交流会等の開催支援
	現状と課題	各市民ボランティアによる親睦交流活動が開催されており、日常的に外国人住民と地域住民の交流が行われていることから、文化や生活習慣の違いによる大きなトラブルは見受けられない。今後は、年々増加傾向にある日本語がほとんど話せない外国人住民と地域住民との交流やイベント周知方法等が課題。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民ボランティア等の団体による国際交流活動が推進された。
課題	在住外国人へのイベント周知方法。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	恵庭国際交流プラザとのまちづくりチャレンジ協働事業の実施により、地域住民と在住外国人との親睦交流会を開催。 「異文化交流を楽しむ会」(平成28年7月10日開催) 「メキシコ料理を楽しむ会」(平成28年8月28日開催) 「ハロウィーンを楽しむ会」(平成28年10月23日開催) 「ニュー・イヤーズ・パーティー」(平成29年1月15日開催)
H29	恵庭国際交流プラザとのまちづくりチャレンジ協働事業の実施により、地域住民と在住外国人との親睦交流会を開催。 「ジャマイカ料理を楽しむ会」(平成29年5月20日開催) 「英語であそぼう会」(平成29年11月12日開催) 「ハロウィーンを楽しむ会」(平成29年10月14日開催) 「ニュー・イヤーズ・パーティー」(平成30年1月21日開催)
H30	恵庭国際交流プラザとのまちづくりチャレンジ協働事業の実施により、地域住民と在住外国人との親睦交流会を開催。 スロベキア料理を楽しむ会(6月開催24名参加)、異文化交流を楽しむ会(7月開催37名参加)、異文化交流を楽しむ会(10月開催63名参加)、英語であそぼう(11月開催、39名参加)、ニュー・イヤーズ・パーティー(1月開催、57名参加)
R1	恵庭国際交流プラザとのまちづくりチャレンジ協働事業の実施により、地域住民と在住外国人との親睦交流会を開催。 ベトナム料理を楽しむ会(7月開催32名参加)、ハロウィンを楽しむ会(10月開催46名参加)、外国語であそぼう(12月開催42名参加)、ニュー・イヤーズ・パーティー(1月開催、35名参加)
R2	新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民ボランティア等による親睦交流事業等は実施されず。
R3	えにわ外国人サポートクラブ(日本語学習支援ボランティア)により、市民ボランティア及び在住外国人による「かまぼちゃんランタンづくり」を実施(10月24日実施、20名参加)
R4	・えにわ外国人サポートクラブにより、市民ボランティア及び在住外国人による花植えイベントを実施(※ガーデンフェスタ北海道2022の「市民花壇」への参加。6月12日実施、42名参加) ・えにわ外国人サポートクラブ(日本語学習支援ボランティア)により、市民ボランティア及び在住外国人による「かまぼちゃんランタンづくり」を実施(10月22・26日実施、26名参加)
R5 (実績・予定)	・えにわ外国人サポートクラブ(日本語学習支援ボランティア)により、市民ボランティア及び在住外国人による「かまぼちゃんランタンづくり」を実施予定 ・多文化交流フェスタの開催を計画

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	企画課
事業番号	102

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	VI男女共同参画の視点に基づいた国際交流・協力の推進
重点課題	VI-1国際交流と国際協力への参画推進
取り組み	VI-1-②国際交流活動を進めます

事業名	海外都市との交流促進
-----	------------

事業概要	事業目的	男女共同参画の視点に基づいた海外都市との多様な交流を通して、海外都市との相互理解を深め、さらに相互に国際的視野を広げることにより、地域振興へとつなげていく。
	対象者	海外都市との交流に興味関心のある市民
	内容	海外姉妹都市ニューージーランド・ティマル市、長年市民間交流のある中国・貴陽市との教育・文化交流等
	現状と課題	ティマル市とは、恵庭ニューージーランド協会を中心に青少年の派遣受入事業や図書館同士の交流等継続的な交流が実施されている。貴陽市とは、交流の中心となっている恵庭日中友好協会の会員の高齢化により、年々交流が難しくなっている。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民活動団体を中心に海外都市との交流事業等が実施され、累計で多くの市民が参加している。
課題	海外姉妹都市ニューージーランドティマル市との交流は、恵庭ニューージーランド協会を中心に様々な交流が継続しているが、市民交流をしている中国貴陽市との交流については、中心となっている恵庭日中友好協会の会員の高齢化等により、現地との交流が難しくなっている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業への補助交付。(恵庭ニューージーランド協会:事業実施団体へ20万円) ・ティマル市の恵庭市の市立図書館同士による図書交流の実施。 ・美しいまちづくりネットワークとのまちづくりチャレンジ事業により、市内小学生の絵画をティマル市立図書館へ贈呈。
H29	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業への補助交付。(恵庭ニューージーランド協会:事業実施団体へ20万円) ・ティマル市の恵庭市の市立図書館同士による図書交流の実施。 ・美しいまちづくりネットワークとのまちづくりチャレンジ事業により、市内小学生の絵画をティマル市立図書館へ贈呈。 ・ティマル市との10周年記念事業を実施。(H30.2.17～22 ティマル市にて)
H30	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業への補助交付予定。(恵庭ニューージーランド協会:事業実施団体へ20万円) ・ティマル市の恵庭市の市立図書館同士による図書交流の実施予定。 ・美しいまちづくりネットワークとのまちづくりチャレンジ事業により、市内小学生の絵画をティマル市立図書館へ贈呈予定。 ・ティマル市との10周年記念式典等を実施。(H30.7.1～5 恵庭市にて)

R1	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業の補助交付を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。 ・ティマル市の恵庭市の市立図書館同士による図書交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。 ・美しいまちづくりネットワークとのまちづくりチャレンジ事業により、市内小学生の絵画をティマル市立図書館へ贈呈。
R2	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業の補助交付を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。 ・ティマル市の恵庭市の市立図書館同士による図書交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。
R3	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業の補助交付を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。 ・ティマル市と恵庭市の図書交流を実施（絵本等4冊）をティマル市役所に送付
R4	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業について、恵庭ニュージーランド協会が2023年3月3名を派遣。 ・ティマル市と恵庭市の図書交流を実施（絵本等4冊）をティマル市役所に送付
R5 (実績・予定)	・ティマル市への青少年国際交流派遣事業について、恵庭ニュージーランド協会が2023年6月3名のティマル学生を受け入れ。 ・ティマル市と恵庭市の図書交流を予定。

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	商工労働課
事業番号	103

※1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅶ女性の職業生活における活躍の推進
重点課題	Ⅶ-1雇用に関する女性登用の推進
取り組み	Ⅶ-1-①情報の収集と提供を行います

事業名	地域職業相談室事業
-----	-----------

事業概要	事業目的	求職者に対する求人情報の提供
	対象者	求職者
	内容	恵庭市内に公共職業安定所がないことから、千歳公共職業安定所と協働で職業紹介サービスを行う地域職業相談室を開設した。当相談室には千歳公共職業安定所の職員が常駐し、職業の相談や紹介、求人検索パソコンで求人情報を提供するとともに市の相談員も常駐しており相談業務を行っている。
	現状と課題	市内求職者が相談室を利用することにより、求職活動を円滑に行うことができているが、より利用しやすい環境の整備及び周知が必要である。

重点課題に対する成果と課題

成果	市内求職者の求職活動が円滑にできている。
課題	より多くの人に利用してもらえるような周知が必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 ※事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	H29年度(H30.3月末現在)職業相談室利用状況 HW分： ○来場者数 14,653名 ○相談件数 5,354件 ○就職件数 480件 労働相談分： ○窓口相談2件 ○電話相談0件
H30	相談件数4,821、新規求職者数1,353、紹介件数1,481、就職件数459
R1	相談件数4,410、新規求職者数1,111、紹介件数1,113、就職件数355
R2	相談件数4,054、新規求職者数674、紹介件数1,098、就職件数329
R3	相談件数4,229、新規求職者数712、紹介件数1,091、就職件数317
R4	相談件数3,819、新規求職者数622、紹介件数1,090、就職件数354
R5 (実績・予定)	相談件数1,739、新規求職者数284、照会件数486、就職件数154（令和5年9月末現在）

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	商工労働課
事業番号	104

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅶ女性の職業生活における活躍の推進
重点課題	Ⅶ-1雇用に関する女性登用の推進
取り組み	Ⅶ-1-②就労環境づくりを進めます

事業名	就職促進事業
-----	--------

事業概要	事業目的	市内企業の求人業務の効率化と求職者に幅広い職種選択の機会を提供し、潜在的な労働力の発掘を行う。
	対象者	市民、市内企業
	内容	合同企業就職説明会、女性・高齢者に特化（パート・アルバイト）した合同企業説明会
	現状と課題	有効求人倍率は下降傾向にあるが、建設業など一部職種は人材不足続いており、より就職意欲を高めるような事業や企業側の採用スキルの向上が必要。

重点課題に対する成果と課題

成果	市内企業を知ってもらうきっかけとなっており、市内求職者の就職支援に繋がっている。
課題	人材不足の職種（業種）と求職者とのミスマッチにより参加者は減少しているため、より多くの求職者が参加しやすような開催方法や周知方法の工夫が必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	①職業相談（H29.9～H29.12 月1回）相談件数11回（相談者数 実9名）、就職決定者1名 ②高校生向けセミナー（H29.7.25（火）～H29.7.26（水）10:00～16:00）受講者44名、就職決定者34名 ③女性向け就職支援セミナー（H29.8.29（火）～H29.9.1（金） 10:00～12:00 ※土日除く）受講者16名、就職決定者6名 ④合同企業就職説明会（H29.9.30（土）10:00～14:00）来場者72名、就職決定者22名
H30	①高校生向けセミナー H30.7.25（水）、H30.7.26（木）参加人数 1日目：46名、2日目：42名 ②企業採用担当者向けセミナー 9月27日（木）参加人数20名 ③合同企業就職説明会 H30.10.6（土）参加企業：36社、参加人数：50名 事業決算額：3,935,200円
R1	合同企業説明会（通常）：R01.9.29（日） 合同企業説明会（特化型）：R01.11.13（日） 事業予算額：4,000,000円 参加人数55人
R2	オンラインお仕事説明会：10月30日（金） 第1部パート・アルバイト（主婦・高齢者）向け 第2部：正社員向け 事業決算額：4,000千円（就職促進・人材確保事業委託） 参加人数27人
R3	合同企業説明会（パート・アルバイト向け）：10月25日（月） オンライン合同企業説明会（正社員向け）：10月28日（木） 事業決算額：4,000千円（就職促進・人材確保事業委託） 参加人数76人
R4	合同企業説明会（パート・アルバイト向け）：10月25日（月） 事業決算額：3,758千円（就職促進・人材確保事業委託） 参加人数 97人
R5 （実績・予定）	合同企業説明会（正社員・パート・アルバイト向け）：10月27日（金） 事業予算額：3,758千円（就職促進・人材確保事業委託）

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	商工労働課
事業番号	105

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅶ女性の職業生活における活躍の推進
重点課題	Ⅶ-2自営業等における女性活躍の推進
取り組み	Ⅶ-2-①女性の経営への参画が進むよう啓発を行います

事業名	起業家支援
-----	-------

事業概要	事業目的	市内での起業について、相談受付から創業後のフォローアップまで様々な方法で支援する。
	対象者	市民
	内容	起業支援事業補助金、恵庭起業塾、中小企業診断士による個別相談会、起業ネットワーク恵庭（団体）への補助金などを通して支援をしている。
	現状と課題	市内外からの起業希望者・相談者や、起業者が増加している。

重点課題に対する成果と課題

成果	男女問わず起業相談がある中、女性の起業相談および、起業家も増加している。
課題	市独自の女性に特化した取り組みは無く、道や国の女性起業家支援事業の周知をしている。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H29	①起業支援事業補助金 利用者9名 補助総額4,277千円 ②起業塾 受講者31名 ※事業費は起業ネットワーク恵庭補助金に含まれる。 ③個別相談会 参加者23名 相談件数28件 ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額600千円
H30	①起業支援事業補助金 利用者15名 補助総額6,209千円 ②起業塾 受講者46名 RBP㈱への委託料486千円 ③個別相談会 参加者16名 相談件数33件 ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額100千円
R1	①起業支援事業補助金 利用者13名 補助総額5,760千円 ②起業塾 受講者31名 RBP㈱への委託料600千円（559,500円） ③個別相談会 参加者19名 相談件数26件 ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額327千円
R2	①起業支援事業補助金 利用者19名 補助総額7,467千円 ②起業塾 受講者23名 RBP㈱への委託料900千円 ③個別相談会 参加者24名 相談件数34件 ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額259千円
R3	①起業支援事業補助金 利用者16名 補助総額7,098千円 ②起業塾 受講者17名 RBP㈱への委託料900千円 ③個別相談会 参加者14名 相談件数20件 ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額204千円（204,040円）
R4	①起業支援事業補助金 利用者15名 補助総額6,951千円 ②起業塾 受講者17名 RBP㈱への委託料900千円 ③個別相談会 参加者17名 相談件数19件 ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額115千円（114,258円）
R5 （実績・予定）	①起業支援事業補助金 11月12日現在 利用者45名 補助総額2,500千円（予算上14名 7,000千円） ②起業塾 受講者39名（予定） RBP㈱への委託料979千円 ③個別相談会 11月12日時点 相談件数412件（予算上42件） ④起業ネットワーク恵庭補助金 補助額405千円（予算額）

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	農政課
事業番号	106

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	VII女性の職業生活における活躍の推進
重点課題	VII-2自営業等における女性活躍の推進
取り組み	VII-2-①女性の経営への参画が進むよう啓発を行います

事業名	農業後継者等研修事業
-----	------------

事業概要	事業目的	JA道央青年部・女性部の農業研修派遣の実施に係る費用の一部負担。
	対象者	JA道央青年部・女性部
	内容	後継者の育成をはじめとする地域農業が抱える問題に対して、先進地等の取組を学び、当該地域農業へ還元する。JA道央の事業であり、研修が実施された際に、農業振興基金から青年部・女性部合わせて最大600,000円を交付している。
	現状と課題	農業への主体的な取り組みを行うことができるが、若年層への参加が期待される。

重点課題に対する成果と課題

成果	農業者が知見を広げ、自らが情報発信者となることで、主体的に農業が抱える問題に取り組むことができる。
課題	若年層の参加

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	以下、女性部の取組 H28.11.24～H28.11.25 研修先:青森 道の駅 参加人数:14名
H29	①H29.6.12 研修先:札幌 札幌ホクレン青果㈱ 参加人数:18名 ②H29.11.27～H29.11.30 研修先:熊本・長崎 JA菊池 他2件 参加人数:3名
H30	H30.11.26～H30.11.28 研修先:静岡 JA大井川 参加人数:18名
R1	R1.6.4 研修先:右狩方面 ホクレンパールライス工場 他2件 参加人数:14名
R2	コロナウィルス感染症の影響により中止
R3	コロナウィルス感染症の影響により中止
R4	R4.11.28～R4.11.30 研修先:広島県、山口県美祢市・和木町 参加人数:15名
R5 (実績・予定)	R5.6.10 研修先:江別市 参加人数:15名 R5.11月頃3日間程度を予定 研修先:東北または三重方面 参加人数:7名

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	107

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	VIII推進体制の確立
重点課題	VIII-1庁内推進体制の強化
取り組み	VIII-1-①推進本部と実行組織を整えます

事業名	男女共同参画対策本部の設置
-----	---------------

事業概要	事業目的	男女共同参画社会の形成を目指し、市の男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進を図ります
	対象者	市職員
	内容	市の男女共同参画に関する事業について、対策本部及び実行組織(幹事会)を開催し施策を審議及び推進を図る
	現状と課題	活発に意見を交わせるような対策本部の体制づくりが課題となっています

重点課題に対する成果と課題

成果	対策本部及び幹事会で出た意見を市の事業実施に反映することが出来た。
課題	活発に意見が交わせるような体制づくりが必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/平成29年1月11日
H29	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/平成30年2月23日
H30	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/平成30年8月7日
R1	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/令和元年12月24日
R2	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/令和2年12月25日
R3	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/令和4年1月24日
R4	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/令和4年12月14日
R5 (実績・予定)	●第1回男女共同参画推進本部 幹事会 開催日/令和5年12月頃予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	108

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅷ推進体制の確立
重点課題	Ⅷ-2推進管理体制の確立
取り組み	Ⅷ-2-①実行組織がそれぞれ自己検証を行います

事業名	事業実施概要書の作成
-----	------------

事業概要	事業目的	前年度に実施した男女共同参画に関する事業結果を推進及び進行管理を行う
	対象者	市職員
	内容	男女共同参画基本計画に基づく事業実施概要書の作成
	現状と課題	各所管の事業についての課題等を分析する必要がある。

重点課題に対する成果と課題

成果	各所管で実施した成果について、事業管理シートを取りまとめ、市ホームページに掲載し検証している。
課題	新たな事業など行った際の他部署との連携が必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	○平成27年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
H29	○平成28年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
H30	○平成29年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
R1	○平成30年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
R2	○令和元年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
R3	○令和2年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
R4	○令和3年度事業実施概要書 市ホームページに掲載
R5 (実績・予定)	○令和4年度事業実施概要書 市ホームページに掲載 R6.1月頃掲載予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	109

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅷ推進体制の確立
重点課題	Ⅷ-2推進管理体制の確立
取り組み	Ⅷ-2-②男女共同参画審議会による検証を行います

事業名	男女共同参画審議会の開催
-----	--------------

事業概要	事業目的	男女共同参画社会を実現するための計画や市主催事業へ、市民意見を反映します。
	対象者	市民
	内容	【審議会が行う内容】 ①市長から男女共同参画を進めることについての意見を求められたとき、調査や検討をし、意見を言うこと。 ②基本計画や実行する計画がどの程度行われたかについて報告を受け、それについて意見を言うこと。 ③男女共同参画を進めるうえで必要があることについて市長に報告を求め、積極的に意見を言うこと。 【関連条例等】 恵庭市の男女が平等に暮らすために共に歩む条例 第29条 恵庭市男女共同参画推進本部設置規程 第3条及び第6条 恵庭市男女共同参画推進本部幹事会設置要綱 第4条
	現状と課題	審議会は、教育や労働、農業といった各種団体からの推せん及び公募による委員で構成されているが、より活発に意見を交わせるような審議会の体制づくりが課題となっています。

重点課題に対する成果と課題

成果	審議会が出た意見を市の委員会で報告した内容が市の計画見直し時に反映されるなど、市の事業実施に反映することが出来た。
課題	様々な立場から推薦された委員がより活発に意見が交わるような体制づくりが必要である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	男女共同参画審議会 <構成委員 会長1人 副会長1人 委員8人> ●第1回審議会 開催日/平成28年5月30日 出席者/委員8人 事務局(市職員)6人参加 議事/委員の委嘱状交付、第2次恵庭市男女共同参画基本計画の説明、平成28年度啓発事業について報告 ●第2回審議会 開催日/平成29年1月24日 出席者/委員7人 事務局(市職員)6人参加 議事/市附属機関の女性登用率の報告、平成27年度実施事業概要書の説明、総務課実施事業の報告 他
H29	男女共同参画審議会 <構成委員 会長1人 副会長1人 委員8人> 年2回開催予定
H30	男女共同参画審議会 <構成委員 会長1人 副会長1人 委員8人> ●第1回審議会 開催日/平成30年8月23日 出席者/委員8人 事務局(市職員)5人参加 議事/市附属機関の女性登用率の報告、平成29年度実施事業概要書の説明、総務課実施事業の報告 他
R1	<決算額>31千円<開催回数>1回<参加人数>8名 市附属機関の女性登用率の報告、平成30年度実施事業概要書の説明、総務課実施事業の報告
R2	<決算額>30千円<開催回数>1回<参加人数>8名 市附属機関の女性登用率の報告、令和元年度実施事業概要書の説明、恵庭市男女共同参画基本計画中間見直し
R3	<決算額>18千円<開催回数>1回<審議会開催 参加人数>7名 市附属機関の女性登用率の報告、令和2年度実施事業概要書の説明、総務課実施事業の報告
R4	<決算額>42千円<開催回数>1回 市附属機関の女性登用率の報告、令和3年度実施事業概要書の説明、総務課実施事業の報告
R5 (実績・予定)	<予算額>60千円<開催回数>1回 市附属機関の女性登用率の報告、令和4年度実施事業概要書の説明、総務課実施事業の報告予定

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	110

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅷ推進体制の確立
重点課題	Ⅷ-3市民との連携と協力
取り組み	Ⅷ-3-①市民と行政、市民相互の連携と充実を図ります
	Ⅷ-3-②男女共同参画を推進するネットワークを構築します

事業名	恵庭市男女共同参画推進協議会への活動支援
-----	----------------------

事業概要	事業目的	市民団体が中心となり、男女共同参画の推進・啓発を行う
	対象者	市民、市内企業
	内容	市内の女性団体・市内企業が中心となり、男女共同参画を推進する「恵庭市男女共同参画推進協議会」の活動支援を行う
	現状と課題	市内の女性団体が中心となり、活動を推進していくことから、行政としての関わり、支援の方法について検討が必要である。

重点課題に対する成果と課題

成果	市民が主体となり、様々な活動を通し、男女共同参画社会実現への機運の醸成に繋がった。
課題	設立して間もないため、事業内容等について検討が必要。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	○H30.6 女性団体及び市内企業が中心となり恵庭市男女共同参画推進協議会設立準備会を設立 準備会開催回数 7回
R1	○会員数 50(団体:44、個人:6) ○R1.6.4 設立総会及び記念講演会開催 241千円 64名参加 ○R2.2.4 男女共同参画講演会開催 239千円 101名参加 ※設立にあたり、講師派遣に係る費用を市で負担し、活動支援を行った。 ○協議会負担金 3千円
R2	○会員数 52(団体:46、個人:6) ○協議会負担金 3千円
R3	○会員数 52(団体:46、個人:6) ○R4.3 男女共同参画情報誌「Diverse(ディバース)」発行 1,000部 ○協議会負担金 3千円
R4	○会員数 52(団体:46、個人:6) ○R4.6.8 男女共同参画総会・講演会開催 37名参加 ○協議会負担金 3千円
R5 (実績・予定)	○会員数 54(団体:46、個人:8) ○R5.6.2 男女共同参画総会開催 31名参加 ○協議会負担金 3千円

事業管理シート【中間事業評価】

担当課	総務課
事業番号	111

*1事業1つのシートで作成下さい

基本目標	Ⅷ推進体制の確立
重点課題	Ⅷ-3市民との連携と協力
取り組み	Ⅷ-3-①市民と行政、市民相互の連携と充実を図ります

事業名	つながりサポート女性支援事業
-----	----------------

事業概要	事業目的	コロナ禍における女性支援
	対象者	市民
	内容	①経済的な理由等で生理用品の購入が困難な方への支援 ②就労や女性差別、ハラスメントやDVなど様々な不安を抱える女性への相談 ③不安を抱える女性に対し、絆・つながりを回復できるようにするための居場所の提供 ④悩みや不安などを抱える女性に寄り添った相談に対応できる人材の育成
	現状と課題	市内のNPO法人「おはな」が活動を実施していくことから、より多くの市民へ周知を図り、生理用品の配布方法や市民の相談場所の提供など連携を図る。

重点課題に対する成果と課題

成果	経済的な理由により生理用品の購入が困難とする方への配布はなかったが、相談や居場所の提供により、様々な不安を抱える方の不安の解消や軽減に寄与することができた。
課題	市と団体等が連携を図りながら、様々な不安を抱える女性に対してきめ細かな相談や助言など必要な支援である。

事業実績・事業予定

年度	事業実績 *事業名・回数・参加人数・事業費等を記入してください。
H28	—
H29	—
H30	—
R1	—
R2	—
R3	事業費／1,872千円 期間／令和3年7月1日から令和4年3月15日まで 生理用品の配布／生理用品配布場所(市、法人事務所など)の他、小・中・高校などのトイレに「相談・生理用品配布カード」を設置し、保健室等で提示 様々な不安を抱える女性への居場所の提供・相談事業
R4	期間／令和4年4月1日から令和5年3月31日まで 様々な不安を抱える女性への居場所の提供・相談事業は継続
R5 (実績・予定)	事業費／2,457千円 期間／令和5年4月1日から令和6年3月15日まで 生理用品の配布／生理用品配布場所(市、法人事務所など) 様々な不安を抱える女性への居場所の提供・相談事業は継続